

第3次あわらし市総合計画策定のための アンケート調査 結果報告書

令和7年5月
あわらし市

目 次

I	アンケート調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査概要	1
3	報告書の見方	1
II	市民アンケート調査結果	2
1	回答者のことについて	2
2	あわら市の取組について	24
3	子育てしやすいまちづくりについて	53
4	あわら市ならではのまちづくりについて	57
5	安全・安心なまちづくりについて	67
6	市からの情報や市民参加について	73
7	あわら市のまちづくりの方向性について	79
III	小・中学生アンケート調査結果	83
1	回答者のことについて	83
2	あわら市のまちづくりについて	103

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、あわら市をより住みやすく魅力的なまちにするため、あわら市の政策やまちづくりについて、市民のみなさまからご意見をうかがい、これからのまちづくりの方向を定めるための貴重な資料とさせていただくことを目的として実施しました。

2 調査概要

項目	市民アンケート調査	小・中学生アンケート調査
調査対象者	市内在住の18歳以上の方 2,000人 (無作為抽出)	市内の小・中学校の在校生
調査期間	令和6年12月2日(月) ～令和7年1月6日(月)	令和6年12月2日(月) ～12月31日(火)
調査方法	郵送配布、郵送回収またはWEB回答 による本人記入方式	校内配布・回収による本人記入方式
配布数	2,000件	1,031件
有効回収数	830件	875件
有効回収率	41.5%	84.9%

3 報告書の見方

◇回答結果の割合「％」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いものを**第1位**に網掛けをしています。

◇集計対象者数（n値）が少ない（10件未満）クロス集計について、コメント対象外としています。

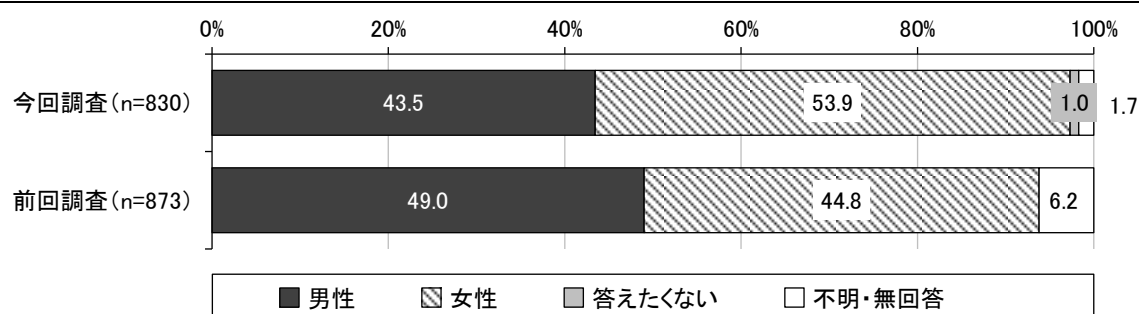
◇本文中の「前回調査」は総合戦略策定時アンケート（平成27年度）を示しています。

Ⅱ 市民アンケート調査結果

1 回答者のことについて

問1 あなたが自認する性別を教えてください。(ひとつだけ選択)

「女性」が53.9%と最も高く、次いで「男性」が43.5%、「答えたくない」が1.0%となっています。
前回調査と比較すると、「女性」が9.1ポイント高く、「男性」が5.5ポイント低くなっています。



※「答えたくない」は今回調査のみの選択肢。

●クロス集計

年代別にみると、〔70歳以上〕では「男性」、その他の区分では「女性」が最も高くなっています。

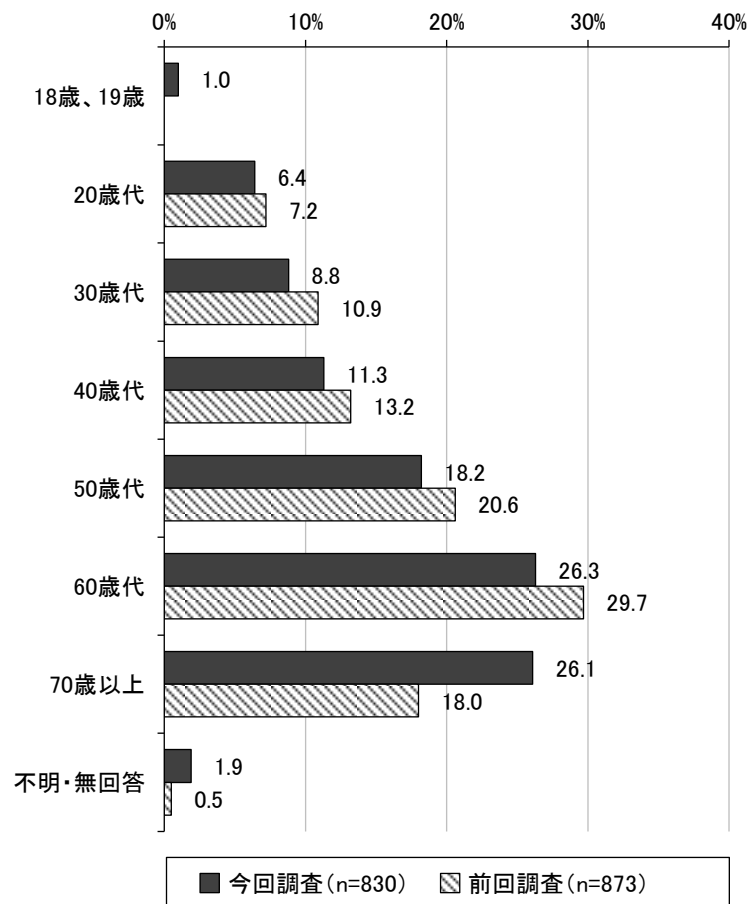
地区別にみると、〔伊井地区〕〔劔岳地区〕では「男性」、〔吉崎地区〕では「男性」「女性」、その他の区分では「女性」が最も高くなっています。

単位: %		男性	女性	答えた たくない	不明・ 無回答
全体 (n=830)		43.5	53.9	1.0	1.7
年代別	18～29歳 (n=61)	41.0	55.7	3.3	0.0
	30～40歳代 (n=167)	41.3	56.9	1.8	0.0
	50～60歳代 (n=369)	40.9	58.5	0.3	0.3
	70歳以上 (n=217)	53.5	45.6	0.9	0.0
地区別	温泉地区 (n=91)	44.0	54.9	1.1	0.0
	山方・里方地区 (n=70)	42.9	54.3	1.4	1.4
	本荘地区 (n=66)	45.5	53.0	1.5	0.0
	新郷地区 (n=26)	38.5	61.5	0.0	0.0
	北潟地区 (n=31)	41.9	54.8	3.2	0.0
	波松地区 (n=16)	43.8	56.3	0.0	0.0
	金津地区 (n=286)	43.0	56.3	0.3	0.3
	伊井地区 (n=57)	50.9	47.4	1.8	0.0
	坪江地区 (n=61)	44.3	54.1	1.6	0.0
	劔岳地区 (n=24)	54.2	41.7	4.2	0.0
	細呂木地区 (n=73)	43.8	56.2	0.0	0.0
	吉崎地区 (n=12)	50.0	50.0	0.0	0.0

問2 あなたの年齢を教えてください。(ひとつだけ選択) ※令和6年12月1日時点

「60歳代」が26.3%と最も高く、次いで「70歳以上」が26.1%、「50歳代」が18.2%となっています。

前回調査と比較すると、「70歳以上」が8.1ポイント高くなっています。



※「18歳、19歳」は今回調査のみの選択肢。

●クロス集計

性別にみると、男性では「70 歳以上」、女性では「60 歳代」が最も高くなっています。

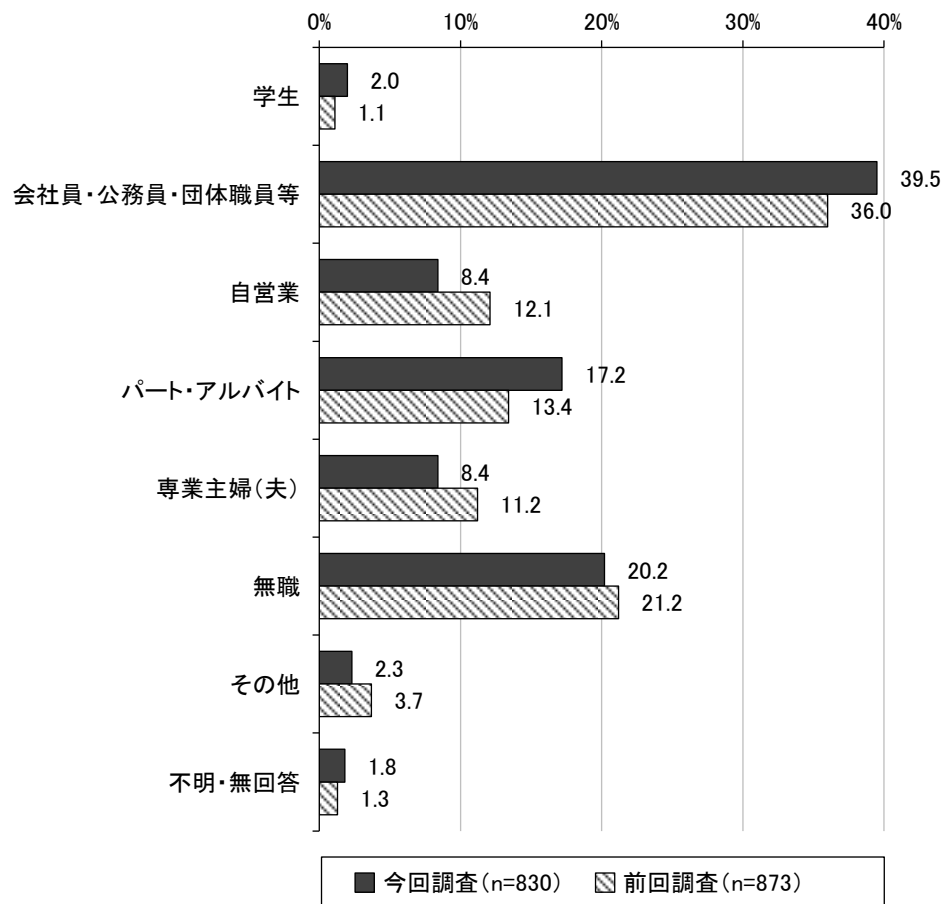
地区別にみると、〔温泉地区〕〔本荘地区〕〔伊井地区〕〔坪江地区〕〔吉崎地区〕では「60 歳代」、〔新郷地区〕では「60 歳代」「70 歳以上」、〔波松地区〕では「50 歳代」「60 歳代」「70 歳以上」、その他の区分では「70 歳以上」が最も高くなっています。

単位: %		1 8 歳、 1 9 歳	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 以上	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=830)		1.0	6.4	8.8	11.3	18.2	26.3	26.1	1.9
性 別	男性 (n=361)	0.8	6.1	8.9	10.2	16.6	25.2	32.1	0.0
	女性 (n=447)	0.9	6.7	9.2	12.1	20.1	28.2	22.1	0.7
地 区 別	温泉地区 (n=91)	0.0	12.1	11.0	11.0	17.6	25.3	23.1	0.0
	山方・里方地区 (n=70)	0.0	2.9	5.7	10.0	15.7	30.0	34.3	1.4
	本荘地区 (n=66)	0.0	1.5	13.6	13.6	22.7	25.8	21.2	1.5
	新郷地区 (n=26)	0.0	11.5	11.5	15.4	7.7	26.9	26.9	0.0
	北潟地区 (n=31)	0.0	0.0	9.7	12.9	16.1	25.8	35.5	0.0
	波松地区 (n=16)	6.3	0.0	6.3	12.5	25.0	25.0	25.0	0.0
	金津地区 (n=286)	1.7	7.7	9.8	10.8	16.8	26.2	26.6	0.3
	伊井地区 (n=57)	0.0	8.8	7.0	14.0	17.5	28.1	24.6	0.0
	坪江地区 (n=61)	1.6	4.9	3.3	8.2	19.7	34.4	27.9	0.0
	劔岳地区 (n=24)	0.0	8.3	8.3	16.7	20.8	16.7	29.2	0.0
	細呂木地区 (n=73)	0.0	4.1	5.5	12.3	27.4	20.5	28.8	1.4
	吉崎地区 (n=12)	8.3	8.3	16.7	8.3	8.3	41.7	8.3	0.0

問3 あなたの職業を教えてください。(ひとつだけ選択)

「会社員・公務員・団体職員等」が39.5%と最も高く、次いで「無職」が20.2%、「パート・アルバイト」が17.2%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はありません。



●クロス集計

性別にみると、男女ともに「会社員・公務員・団体職員等」が最も高くなっています。

年代別にみると、〔70歳以上〕では「無職」、その他の区分では「会社員・公務員・団体職員等」が最も高くなっています。

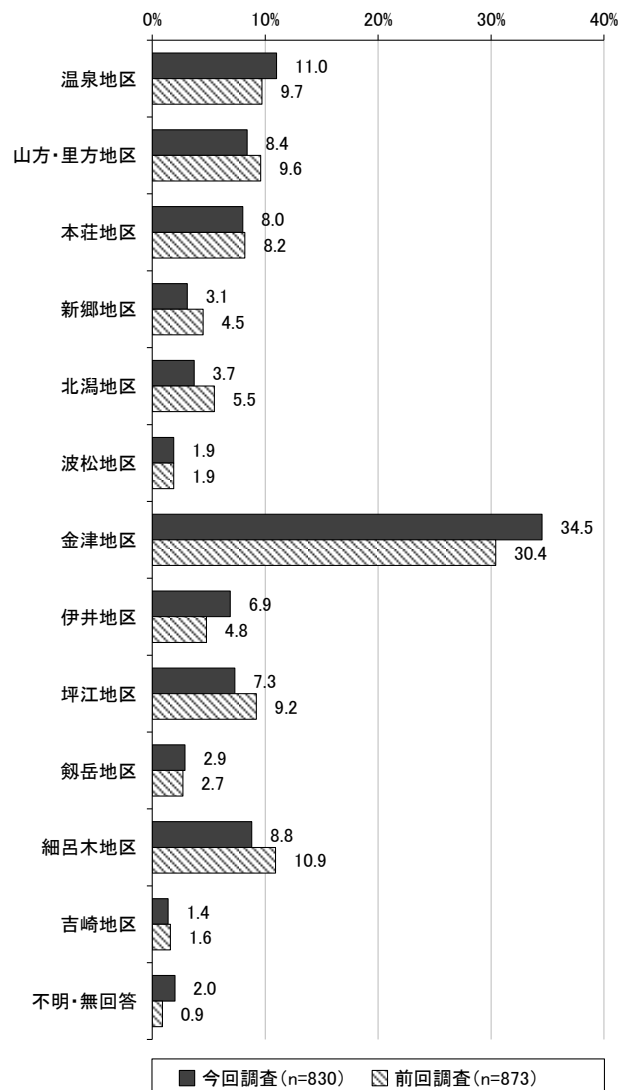
地区別にみると、〔波松地区〕では「自営業」、その他の区分では「会社員・公務員・団体職員等」が最も高くなっています。

単位：%		学 生	会 社 員 ・ 公 務 員 ・ 団 体 職 員 等	自 営 業	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	専 業 主 婦 （ 夫 ）	無 職	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=830)		2.0	39.5	8.4	17.2	8.4	20.2	2.3	1.8
性 別	男性 (n=361)	2.5	46.3	12.5	10.8	0.0	24.7	3.0	0.3
	女性 (n=447)	1.6	35.1	5.6	23.3	15.7	16.8	1.6	0.4
年 代 別	18～29歳 (n=61)	27.9	60.7	1.6	3.3	0.0	4.9	1.6	0.0
	30～40歳代 (n=167)	0.0	65.3	7.2	21.0	1.8	4.2	0.6	0.0
	50～60歳代 (n=369)	0.0	45.3	8.9	19.2	10.3	13.8	1.9	0.5
	70歳以上 (n=217)	0.0	6.0	11.1	15.2	13.4	49.3	4.6	0.5
地 区 別	温泉地区 (n=91)	2.2	41.8	12.1	14.3	12.1	15.4	1.1	1.1
	山方・里方地区 (n=70)	0.0	38.6	11.4	8.6	14.3	21.4	2.9	2.9
	本荘地区 (n=66)	0.0	43.9	7.6	21.2	9.1	15.2	3.0	0.0
	新郷地区 (n=26)	0.0	50.0	3.8	19.2	7.7	15.4	3.8	0.0
	北潟地区 (n=31)	0.0	35.5	0.0	29.0	6.5	25.8	3.2	0.0
	波松地区 (n=16)	6.3	25.0	50.0	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0
	金津地区 (n=286)	3.1	40.6	8.0	17.5	8.0	21.3	1.4	0.0
	伊井地区 (n=57)	0.0	31.6	5.3	24.6	8.8	24.6	5.3	0.0
	坪江地区 (n=61)	3.3	34.4	6.6	14.8	8.2	27.9	4.9	0.0
	劔岳地区 (n=24)	4.2	54.2	4.2	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0
	細呂木地区 (n=73)	1.4	38.4	8.2	24.7	5.5	19.2	2.7	0.0
	吉崎地区 (n=12)	8.3	58.3	0.0	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0

問4 あなたのお住まいの地区を教えてください。(ひとつだけ選択)

「金津地区」が34.5%と最も高く、次いで「温泉地区」が11.0%、「細呂木地区」が8.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はありません。



※今回調査の選択肢「北潟地区」は、前回調査では「北潟・浜坂地区」。

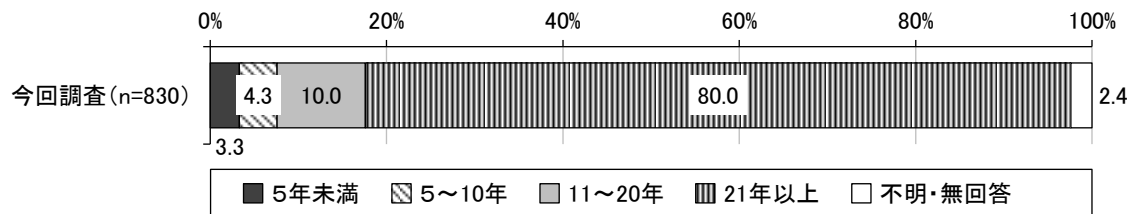
●クロス集計

性別・年代別にみると、すべての区分で「金津地区」が最も高くなっています。

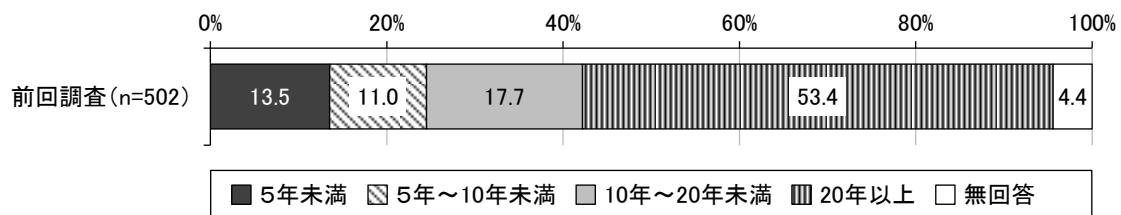
単位: %		温泉地区	山方・里方地区	本荘地区	新郷地区	北潟地区	波松地区	金津地区	伊井地区	坪江地区	剱岳地区	細呂木地区	吉崎地区	不明・無回答
全体 (n=830)		11.0	8.4	8.0	3.1	3.7	1.9	34.5	6.9	7.3	2.9	8.8	1.4	2.0
性別	男性 (n=361)	11.1	8.3	8.3	2.8	3.6	1.9	34.1	8.0	7.5	3.6	8.9	1.7	0.3
	女性 (n=447)	11.2	8.5	7.8	3.6	3.8	2.0	36.0	6.0	7.4	2.2	9.2	1.3	0.9
年代別	18～29歳 (n=61)	18.0	3.3	1.6	4.9	0.0	1.6	44.3	8.2	6.6	3.3	4.9	3.3	0.0
	30～40歳代 (n=167)	12.0	6.6	10.8	4.2	4.2	1.8	35.3	7.2	4.2	3.6	7.8	1.8	0.6
	50～60歳代 (n=369)	10.6	8.7	8.7	2.4	3.5	2.2	33.3	7.0	8.9	2.4	9.5	1.6	1.1
	70歳以上 (n=217)	9.7	11.1	6.5	3.2	5.1	1.8	35.0	6.5	7.8	3.2	9.7	0.5	0.0

問5 あなたは、あわら市に何年住んでおられますか。(ひとつだけ選択)

「21年以上」が80.0%と最も高く、次いで「11～20年」が10.0%、「5～10年」が4.3%となっています。



【参考】



●クロス集計

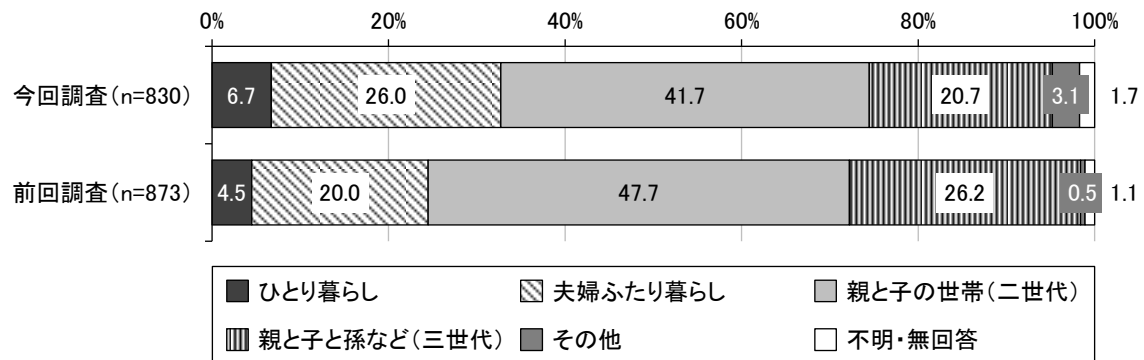
性別・年代別・地区別にみると、すべての区分で「21年以上」が最も高くなっています。

単位: %		5年未満	5～10年	11～20年	21年以上	不明・無回答
全体 (n=830)		3.3	4.3	10.0	80.0	2.4
性別	男性 (n=361)	3.6	3.0	8.9	83.9	0.6
	女性 (n=447)	3.1	5.6	11.0	79.2	1.1
年代別	18～29歳 (n=61)	13.1	3.3	29.5	54.1	0.0
	30～40歳代 (n=167)	7.8	13.2	19.8	58.1	1.2
	50～60歳代 (n=369)	1.4	2.4	5.4	90.2	0.5
	70歳以上 (n=217)	0.5	1.4	5.1	91.2	1.8
地区別	温泉地区 (n=91)	7.7	8.8	13.2	70.3	0.0
	山方・里方地区 (n=70)	2.9	2.9	8.6	85.7	0.0
	本荘地区 (n=66)	3.0	7.6	9.1	78.8	1.5
	新郷地区 (n=26)	0.0	15.4	3.8	80.8	0.0
	北潟地区 (n=31)	3.2	0.0	6.5	87.1	3.2
	波松地区 (n=16)	0.0	6.3	12.5	81.3	0.0
	金津地区 (n=286)	3.8	4.5	10.8	80.1	0.7
	伊井地区 (n=57)	3.5	0.0	10.5	86.0	0.0
	坪江地区 (n=61)	1.6	0.0	6.6	90.2	1.6
	劔岳地区 (n=24)	0.0	0.0	12.5	83.3	4.2
	細呂木地区 (n=73)	1.4	2.7	9.6	84.9	1.4
	吉崎地区 (n=12)	0.0	0.0	16.7	75.0	8.3

問6 あなたのご家族構成を教えてください。(ひとつだけ選択)

「親と子の世帯（二世代）」が41.7%と最も高く、次いで「夫婦ふたり暮らし」が26.0%、「親と子と孫など（三世代）」が20.7%となっています。

前回調査と比較すると、「夫婦ふたり暮らし」が6.0ポイント高く、「親と子の世帯（二世代）」が6.0ポイント、「親と子と孫など（三世代）」が5.5ポイント低くなっています。



●クロス集計

性別にみると、男女ともに「親と子の世帯（二世代）」が最も高くなっています。

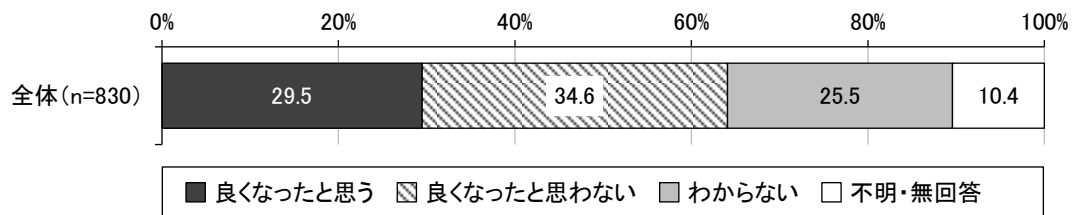
年代別にみると、〔70歳以上〕では「夫婦ふたり暮らし」、その他の区分では「親と子の世帯（二世代）」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔山方・里方地区〕では「親と子と孫など（三世代）」、〔吉崎地区〕では「夫婦ふたり暮らし」、その他の区分では「親と子の世帯（二世代）」が最も高くなっています。

単位: %		ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし	親と子の世帯（二世代）	親と子と孫など（三世代）	その他	不明・無回答
全体(n=830)		6.7	26.0	41.7	20.7	3.1	1.7
性別	男性(n=361)	8.3	26.9	42.4	18.8	3.6	0.0
	女性(n=447)	5.6	26.6	42.5	21.9	2.9	0.4
年代別	18～29歳(n=61)	4.9	3.3	52.5	36.1	3.3	0.0
	30～40歳代(n=167)	3.0	5.4	62.9	25.1	3.0	0.6
	50～60歳代(n=369)	6.0	32.0	39.3	19.8	3.0	0.0
	70歳以上(n=217)	12.0	39.6	29.0	15.2	3.7	0.5
地区別	温泉地区(n=91)	15.4	22.0	51.6	8.8	2.2	0.0
	山方・里方地区(n=70)	1.4	25.7	28.6	37.1	7.1	0.0
	本荘地区(n=66)	9.1	16.7	42.4	27.3	4.5	0.0
	新郷地区(n=26)	0.0	34.6	53.8	11.5	0.0	0.0
	北潟地区(n=31)	9.7	16.1	35.5	32.3	6.5	0.0
	波松地区(n=16)	0.0	18.8	56.3	25.0	0.0	0.0
	金津地区(n=286)	7.7	31.8	42.7	15.0	2.4	0.3
	伊井地区(n=57)	5.3	21.1	38.6	33.3	0.0	1.8
	坪江地区(n=61)	6.6	24.6	39.3	24.6	4.9	0.0
	剣岳地区(n=24)	4.2	25.0	41.7	25.0	4.2	0.0
	細呂木地区(n=73)	1.4	27.4	42.5	24.7	4.1	0.0
	吉崎地区(n=12)	8.3	41.7	33.3	16.7	0.0	0.0

問7 10 年前(あわら市に住み始めて 10 年未満の方は、住み始めてから)と比べ、あなたは、あわら市が良くなったと思いますか。(ひとつだけ選択)

「良くなったと思わない」が 34.6%と最も高く、次いで「良くなったと思う」が 29.5%、「わからない」が 25.5%となっています。



●クロス集計

性別にみると、男女ともに「良くなったと思わない」が最も高くなっています。

年代別にみると、〔18～29 歳〕では「わからない」、〔30～40 歳代〕では「良くなったと思う」、その他の区分では「良くなったと思わない」が最も高くなっています。

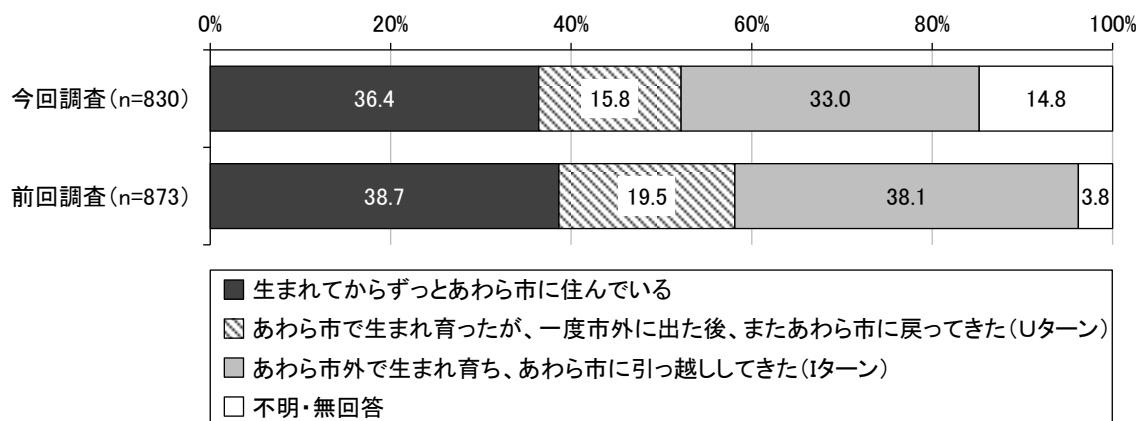
地区別にみると、〔新郷地区〕では「わからない」、〔北潟地区〕では「良くなったと思う」「良くなったと思わない」、〔金津地区〕〔伊井地区〕では「良くなったと思う」、〔吉崎地区〕では「良くなったと思わない」「わからない」、その他の区分では「良くなったと思わない」が最も高くなっています。

単位: %		良 く な っ た と 思 う	良 く な っ た と 思 わ ない	わ か ら ない	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=830)		29.5	34.6	25.5	10.4
性 別	男性 (n=361)	29.9	38.8	23.0	8.3
	女性 (n=447)	30.4	31.5	28.4	9.6
年 代 別	18～29 歳 (n=61)	27.9	23.0	45.9	3.3
	30～40 歳代 (n=167)	34.7	32.3	29.3	3.6
	50～60 歳代 (n=369)	27.4	36.6	25.7	10.3
	70 歳以上 (n=217)	31.8	37.3	18.0	12.9
地 区 別	温泉地区 (n=91)	26.4	33.0	31.9	8.8
	山方・里方地区 (n=70)	28.6	34.3	24.3	12.9
	本荘地区 (n=66)	25.8	36.4	30.3	7.6
	新郷地区 (n=26)	15.4	30.8	50.0	3.8
	北潟地区 (n=31)	38.7	38.7	9.7	12.9
	波松地区 (n=16)	25.0	56.3	6.3	12.5
	金津地区 (n=286)	34.3	31.1	25.2	9.4
	伊井地区 (n=57)	40.4	19.3	33.3	7.0
	坪江地区 (n=61)	34.4	44.3	11.5	9.8
	劔岳地区 (n=24)	8.3	62.5	16.7	12.5
	細呂木地区 (n=73)	23.3	41.1	30.1	5.5
	吉崎地区 (n=12)	16.7	41.7	41.7	0.0

問8 あなたがあわら市にお住まいの経緯はどれに該当しますか。(ひとつだけ選択)

「生まれてからずっとあわら市に住んでいる」が36.4%と最も高く、次いで「あわら市外で生まれ育ち、あわら市に引っ越ししてきた（Iターン）」が33.0%、「あわら市で生まれ育ったが、一度市外に出た後、またあわら市に戻ってきた（Uターン）」が15.8%となっています。

前回調査と比較すると、「あわら市外で生まれ育ち、あわら市に引っ越ししてきた（Iターン）」が5.1ポイント低くなっています。



●クロス集計

性別にみると、男性では「生まれてからずっとあわら市に住んでいる」、女性では「あわら市外で生まれ育ち、あわら市に引っ越ししてきた（Ｉターン）」が最も高くなっています。

年代別にみると、〔18～29歳〕〔70歳以上〕では「生まれてからずっとあわら市に住んでいる」、その他の区分では「あわら市外で生まれ育ち、あわら市に引っ越ししてきた（Ｉターン）」が最も高くなっています。

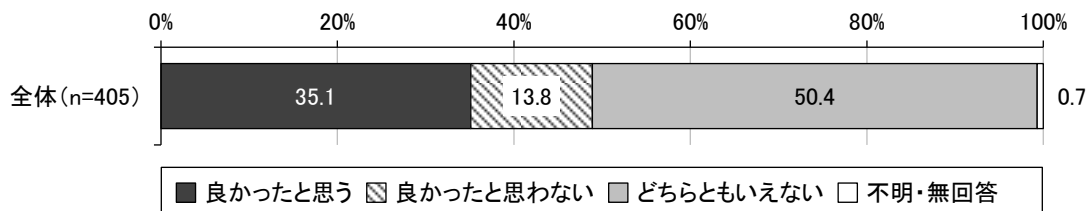
地区別にみると、〔温泉地区〕〔新郷地区〕〔劔岳地区〕〔吉崎地区〕では「あわら市外で生まれ育ち、あわら市に引っ越ししてきた（Ｉターン）」、その他の区分では「生まれてからずっとあわら市に住んでいる」が最も高くなっています。

単位：％		生まれてからずっとあわら市に住んでいる	あわら市外で生まれ育ち、あわら市に引っ越ししてきた（Ｉターン）	あわら市外で生まれ育ち、あわら市に引っ越ししてきた（Ｉターン）	不明・無回答
全体(n=830)		36.4	15.8	33.0	14.8
性別	男性(n=361)	43.2	19.9	25.2	11.6
	女性(n=447)	31.5	12.5	40.5	15.4
年代別	18～29歳(n=61)	54.1	18.0	18.0	9.8
	30～40歳代(n=167)	29.9	22.2	34.7	13.2
	50～60歳代(n=369)	34.7	12.7	35.5	17.1
	70歳以上(n=217)	41.0	16.1	33.6	9.2
地区別	温泉地区(n=91)	25.3	15.4	40.7	18.7
	山方・里方地区(n=70)	41.4	14.3	32.9	11.4
	本荘地区(n=66)	34.8	21.2	31.8	12.1
	新郷地区(n=26)	38.5	7.7	46.2	7.7
	北潟地区(n=31)	35.5	19.4	25.8	19.4
	波松地区(n=16)	50.0	12.5	12.5	25.0
	金津地区(n=286)	37.8	14.7	34.3	13.3
	伊井地区(n=57)	50.9	10.5	26.3	12.3
	坪江地区(n=61)	37.7	21.3	26.2	14.8
	劔岳地区(n=24)	29.2	25.0	33.3	12.5
	細呂木地区(n=73)	38.4	17.8	35.6	8.2
	吉崎地区(n=12)	16.7	25.0	41.7	16.7

問8で「あわら市で生まれ育ったが、一度市外に出た後、またあわら市に戻ってきた(Uターン)」または「あわら市外で生まれ育ち、あわら市に引っ越ししてきた(Iターン)」と回答した方

問8-1 あなたは、あわら市に転入してきて良かったと思いますか。(ひとつだけ選択)

「どちらともいえない」が50.4%と最も高く、次いで「良かったと思う」が35.1%、「良かったと思わない」が13.8%となっています。



●クロス集計

性別にみると、男女ともに「どちらともいえない」が最も高くなっています。

年代別にみると、〔30～40 歳代〕では「良かったと思う」「どちらともいえない」、その他の区分では「どちらともいえない」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔山方・里方地区〕では「良かったと思う」、その他の区分では「どちらともいえない」が最も高くなっています。

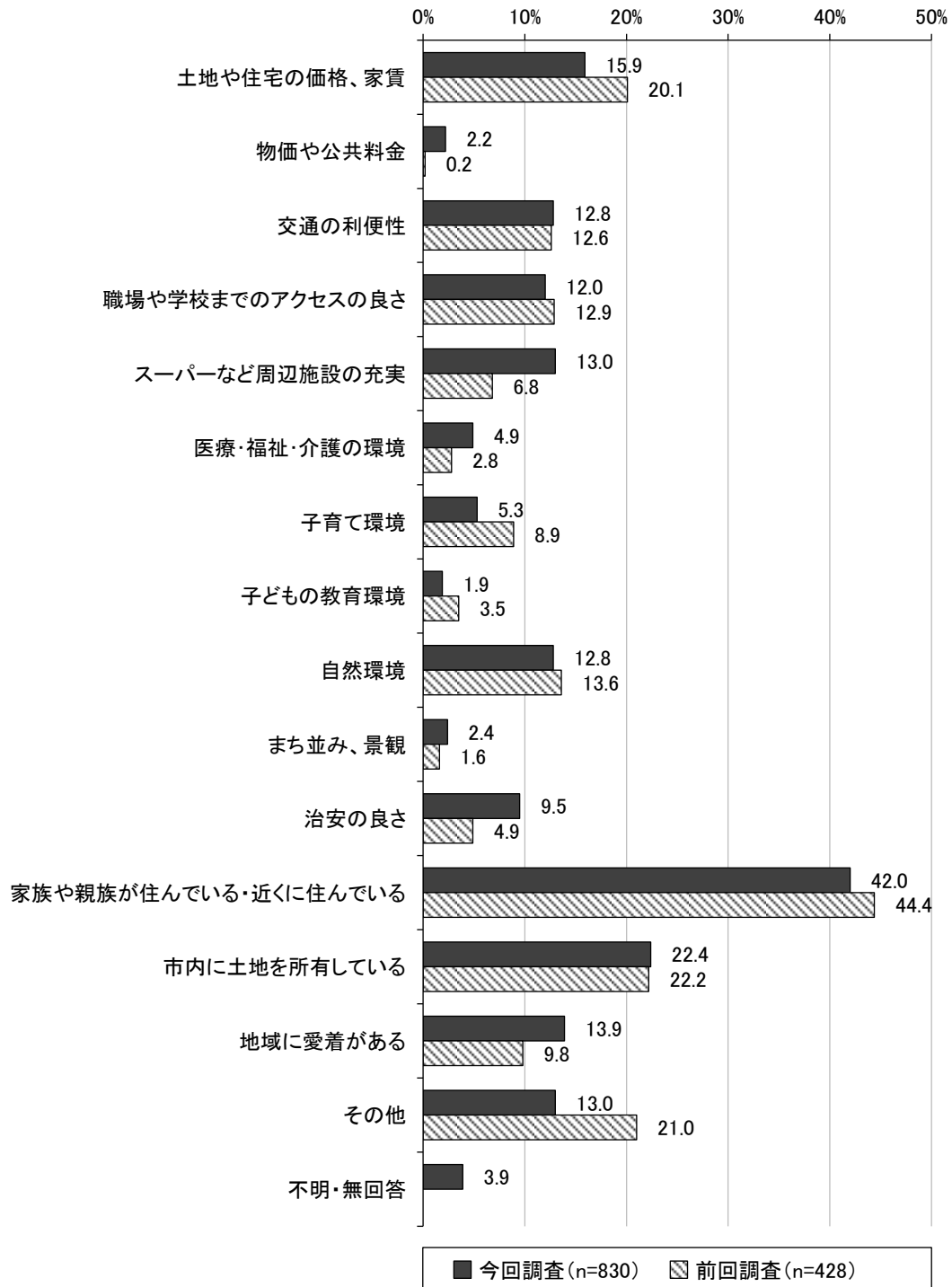
単位: %		良かったと思う	良かったと思わない	どちらともいえない	不明・無回答
全体(n=405)		35.1	13.8	50.4	0.7
性別	男性(n=163)	42.3	12.9	44.2	0.6
	女性(n=237)	30.8	13.9	54.4	0.8
年代別	18～29歳(n=22)	36.4	9.1	54.5	0.0
	30～40歳代(n=95)	43.2	12.6	43.2	1.1
	50～60歳代(n=178)	32.0	15.7	51.7	0.6
	70歳以上(n=108)	32.4	13.0	53.7	0.9
地区別	温泉地区(n=51)	41.2	7.8	49.0	2.0
	山方・里方地区(n=33)	45.5	21.2	33.3	0.0
	本荘地区(n=35)	34.3	8.6	54.3	2.9
	新郷地区(n=14)	21.4	14.3	64.3	0.0
	北潟地区(n=14)	21.4	21.4	57.1	0.0
	波松地区(n=4)	25.0	25.0	25.0	25.0
	金津地区(n=140)	38.6	7.9	53.6	0.0
	伊井地区(n=21)	33.3	23.8	42.9	0.0
	坪江地区(n=29)	24.1	17.2	58.6	0.0
	劔岳地区(n=14)	28.6	28.6	42.9	0.0
	細呂木地区(n=39)	35.9	20.5	43.6	0.0
	吉崎地区(n=8)	0.0	12.5	87.5	0.0

問9 あなたは、現在お住まいの場所を選ぶにあたり、どのような点を重視しましたか。

(選択は3つまで)

「家族や親族が住んでいる・近くに住んでいる」が42.0%と最も高く、次いで「市内に土地を所有している」が22.4%、「土地や住宅の価格、家賃」が15.9%となっています。

前回調査と比較すると、「スーパーなど周辺施設の充実」が6.2ポイント高くなっています。



※今回調査の選択肢「家族や親族が住んでいる・近くに住んでいる」は、前回調査では「家族や親族が近くに住んでいる」。

※前回調査報告書において「不明・無回答」は記載がないため、省略しています。

●クロス集計

性別にみると、男女ともに「家族や親族が住んでいる・近くに住んでいる」が最も高くなっています。

年代別・地区別にみると、すべての区分で「家族や親族が住んでいる・近くに住んでいる」が最も高くなっています。

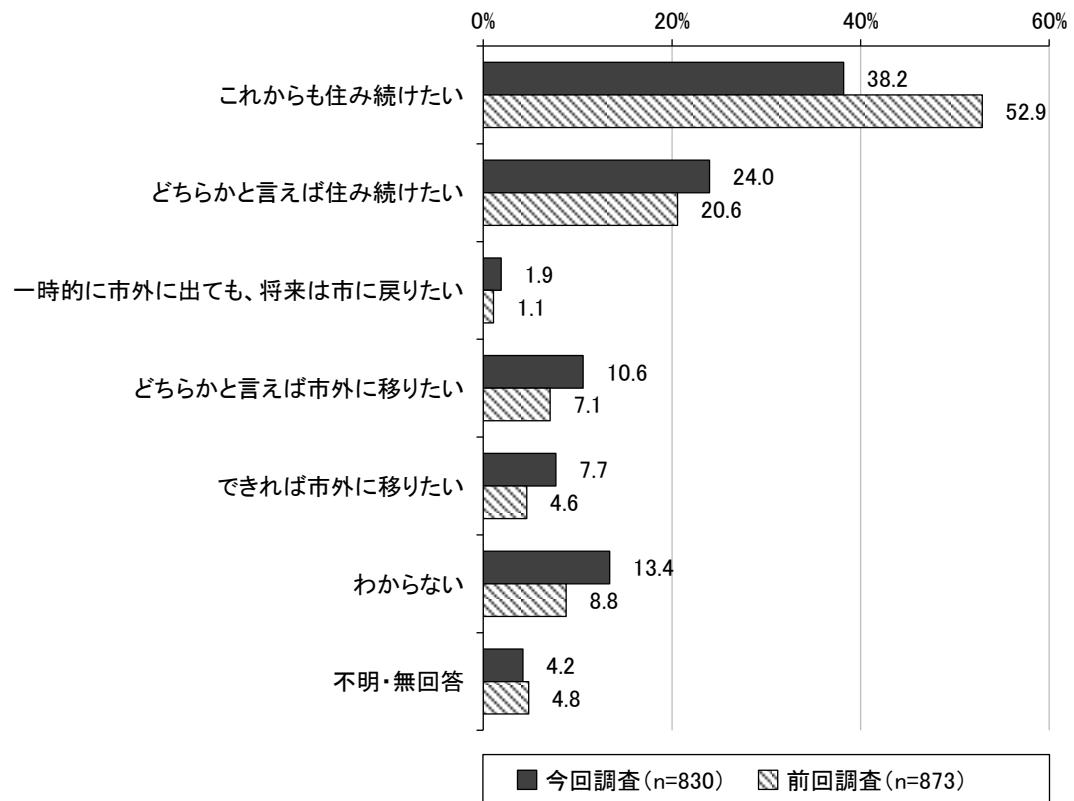
単位：％		土地や住宅の価格、家賃	物価や公共料金	交通の利便性	職場や学校までのアクセスの良さ	充実の施設	医療・福祉・介護の環境	子育て環境	子どもの教育環境	自然環境	まち並み、景観	治安の良さ	・家族や親族が住んでいる・近くに住んでいる
全体 (n=830)		15.9	2.2	12.8	12.0	13.0	4.9	5.3	1.9	12.8	2.4	9.5	42.0
性別	男性 (n=361)	15.5	2.5	12.7	11.1	14.1	7.2	5.0	1.9	13.0	2.5	9.7	38.8
	女性 (n=447)	16.8	2.0	13.2	13.2	12.5	3.1	5.6	2.0	12.8	2.2	9.6	45.6
年代別	18～29歳 (n=61)	18.0	1.6	13.1	14.8	14.8	0.0	3.3	0.0	4.9	0.0	16.4	52.5
	30～40歳代 (n=167)	19.2	1.8	9.6	15.0	10.8	3.0	8.4	2.4	8.4	3.6	9.0	58.1
	50～60歳代 (n=369)	14.9	1.9	9.5	10.3	12.5	4.6	5.7	2.2	11.7	1.6	7.3	42.0
	70歳以上 (n=217)	15.7	3.2	21.2	12.9	15.7	8.3	3.2	1.8	21.2	3.7	12.4	29.0
地区別	温泉地区 (n=91)	28.6	2.2	12.1	22.0	11.0	5.5	3.3	0.0	3.3	1.1	9.9	36.3
	山方・里方地区 (n=70)	8.6	5.7	5.7	8.6	11.4	2.9	1.4	1.4	17.1	4.3	8.6	38.6
	本荘地区 (n=66)	15.2	1.5	9.1	10.6	6.1	1.5	4.5	1.5	9.1	1.5	4.5	42.4
	新郷地区 (n=26)	26.9	0.0	0.0	11.5	11.5	0.0	7.7	3.8	15.4	0.0	7.7	50.0
	北潟地区 (n=31)	3.2	0.0	6.5	0.0	0.0	3.2	6.5	3.2	22.6	3.2	12.9	41.9
	波松地区 (n=16)	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	18.8	6.3	12.5	37.5
	金津地区 (n=286)	20.3	2.1	21.0	16.1	23.4	7.0	6.3	2.4	9.4	2.8	9.8	41.6
	伊井地区 (n=57)	5.3	0.0	7.0	8.8	3.5	5.3	7.0	0.0	14.0	0.0	14.0	50.9
	坪江地区 (n=61)	16.4	1.6	6.6	4.9	3.3	1.6	6.6	6.6	32.8	1.6	9.8	42.6
	劔岳地区 (n=24)	12.5	8.3	16.7	12.5	12.5	12.5	8.3	0.0	12.5	8.3	12.5	41.7
	細呂木地区 (n=73)	8.2	1.4	11.0	9.6	9.6	5.5	5.5	1.4	16.4	1.4	9.6	49.3
	吉崎地区 (n=12)	0.0	8.3	16.7	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	41.7

単位：％		市内に土地を所有して	地域に愛着がある	その他	不明・無回答
全体 (n=830)		22.4	13.9	13.0	3.9
性別	男性 (n=361)	25.5	21.1	12.7	1.4
	女性 (n=447)	20.4	8.7	13.6	3.4
年代別	18～29歳 (n=61)	6.6	8.2	11.5	1.6
	30～40歳代 (n=167)	18.6	9.0	9.0	1.2
	50～60歳代 (n=369)	26.3	13.3	15.4	2.7
	70歳以上 (n=217)	24.9	21.2	12.9	3.2
地区別	温泉地区 (n=91)	15.4	9.9	13.2	2.2
	山方・里方地区 (n=70)	34.3	18.6	15.7	5.7
	本荘地区 (n=66)	21.2	18.2	13.6	6.1
	新郷地区 (n=26)	23.1	15.4	11.5	0.0
	北潟地区 (n=31)	16.1	22.6	19.4	3.2
	波松地区 (n=16)	31.3	12.5	12.5	12.5
	金津地区 (n=286)	19.9	10.5	10.5	1.4
	伊井地区 (n=57)	40.4	10.5	15.8	1.8
	坪江地区 (n=61)	29.5	21.3	14.8	0.0
	劔岳地区 (n=24)	12.5	20.8	8.3	0.0
	細呂木地区 (n=73)	17.8	17.8	17.8	0.0
	吉崎地区 (n=12)	16.7	8.3	16.7	16.7

問 10 あなたは、将来にわたりあわら市に住み続けたいと思いますか。(ひとつだけ選択)

「これからも住み続けたい」が38.2%と最も高く、次いで「どちらかと言えば住み続けたい」が24.0%、「わからない」が13.4%となっています。

前回調査と比較すると、「これからも住み続けたい」が14.7ポイント低くなっています。



●クロス集計

性別にみると、男女ともに「これからも住み続けたい」が最も高くなっています。

年代別にみると、〔18～29 歳〕では「わからない」、〔30～40 歳代〕では「どちらかと言えば住み続けたい」、その他の区分では「これからも住み続けたい」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔新郷地区〕では「これからも住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」、〔波松地区〕では「どちらかと言えば住み続けたい」、〔劔岳地区〕では「どちらかと言えば住み続けたい」「どちらかと言えば市外に移りたい」「わからない」、〔吉崎地区〕では「どちらかと言えば住み続けたい」「どちらかと言えば市外に移りたい」、その他の区分では「これからも住み続けたい」が最も高くなっています。

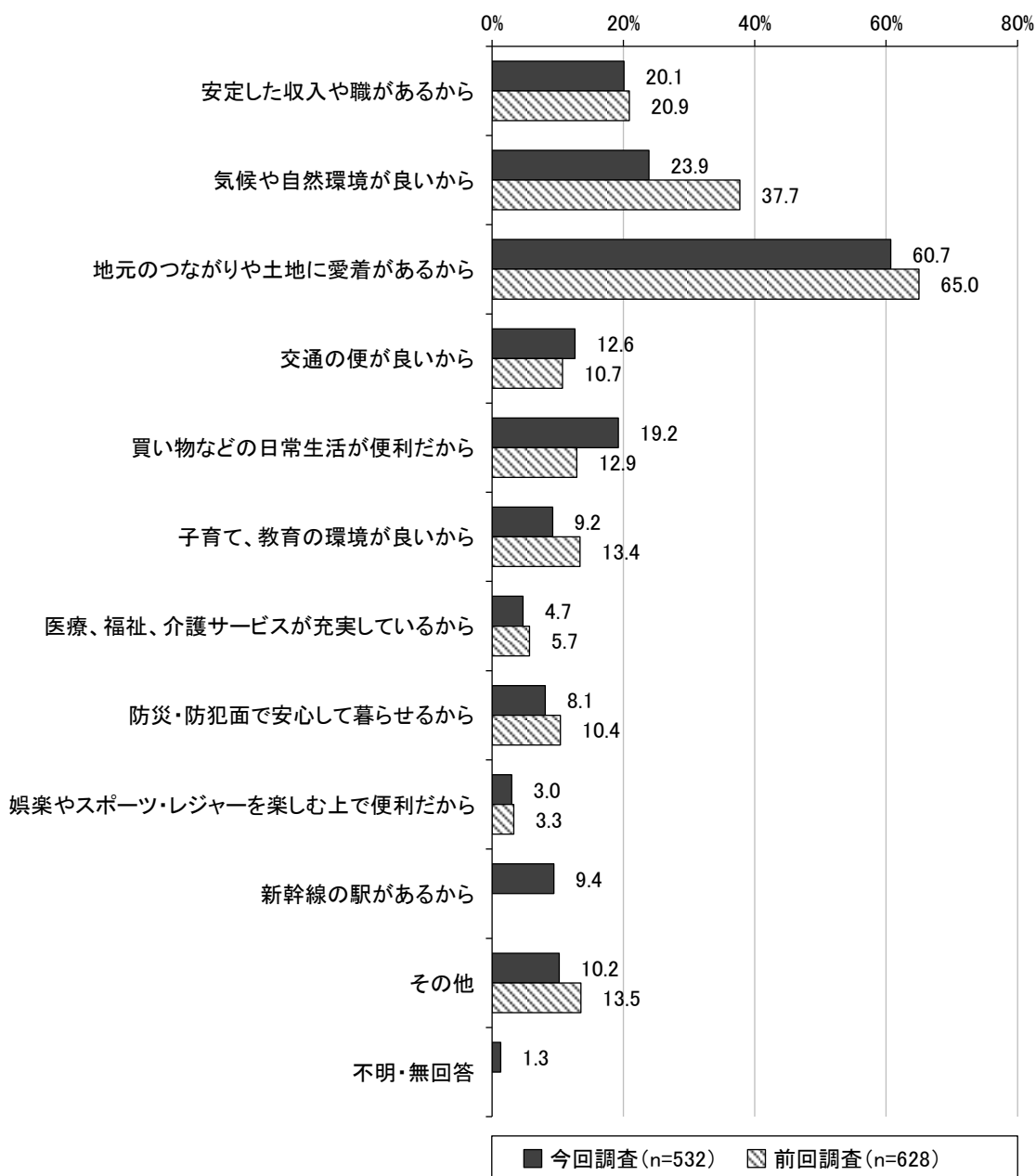
単位: %		これからも住み続けたい	どちらかと言えば住み続けたい	将来的に市外に出ても、 将来は市に戻りたい	どちらかと言えば市外に移りたい	できれば市外に移りたい	わからない	不明・無回答
全体 (n=830)		38.2	24.0	1.9	10.6	7.7	13.4	4.2
性別	男性 (n=361)	42.4	25.5	2.2	9.1	7.2	11.4	2.2
	女性 (n=447)	36.7	23.5	1.6	12.1	8.1	14.8	3.4
年代別	18～29歳 (n=61)	3.3	23.0	9.8	19.7	16.4	27.9	0.0
	30～40歳代 (n=167)	24.6	26.9	4.2	15.6	10.2	16.8	1.8
	50～60歳代 (n=369)	41.2	23.8	0.5	10.6	7.0	12.7	4.1
	70歳以上 (n=217)	55.8	23.5	0.0	5.1	5.1	8.3	2.3
地区別	温泉地区 (n=91)	37.4	28.6	0.0	7.7	7.7	16.5	2.2
	山方・里方地区 (n=70)	54.3	24.3	1.4	8.6	4.3	7.1	0.0
	本荘地区 (n=66)	33.3	21.2	1.5	6.1	9.1	22.7	6.1
	新郷地区 (n=26)	34.6	34.6	3.8	11.5	0.0	15.4	0.0
	北潟地区 (n=31)	35.5	19.4	3.2	9.7	22.6	3.2	6.5
	波松地区 (n=16)	25.0	31.3	6.3	6.3	12.5	12.5	6.3
	金津地区 (n=286)	39.5	23.8	2.8	10.1	5.6	14.0	4.2
	伊井地区 (n=57)	42.1	28.1	0.0	14.0	1.8	14.0	0.0
	坪江地区 (n=61)	44.3	18.0	0.0	13.1	13.1	11.5	0.0
	劔岳地区 (n=24)	12.5	25.0	0.0	25.0	12.5	25.0	0.0
	細呂木地区 (n=73)	42.5	23.3	2.7	9.6	9.6	11.0	1.4
	吉崎地区 (n=12)	0.0	33.3	8.3	33.3	16.7	0.0	8.3

問 10 で「これからも住みたい」「どちらかと言えば住みたい」「一時的に市外に出ても、将来は市に戻りたい」のいずれかを回答した方

問 10-1 あわら市に住みたい(戻りたい)と思う理由は何ですか。(選択は3つまで)

「地元のつながりや土地に愛着があるから」が60.7%と最も高く、次いで「気候や自然環境が良いから」が23.9%、「安定した収入や職があるから」が20.1%となっています。

前回調査と比較すると、「買い物などの日常生活が便利だから」が6.3ポイント高く、「気候や自然環境が良いから」が13.8ポイント低くなっています。



※「新幹線の駅があるから」は今回調査のみの選択肢。

※前回調査報告書において「不明・無回答」は記載がないため、省略しています。

●クロス集計

性別・年代別・地区別にみると、すべての区分で「地元のつながりや土地に愛着があるから」が最も高くなっています。

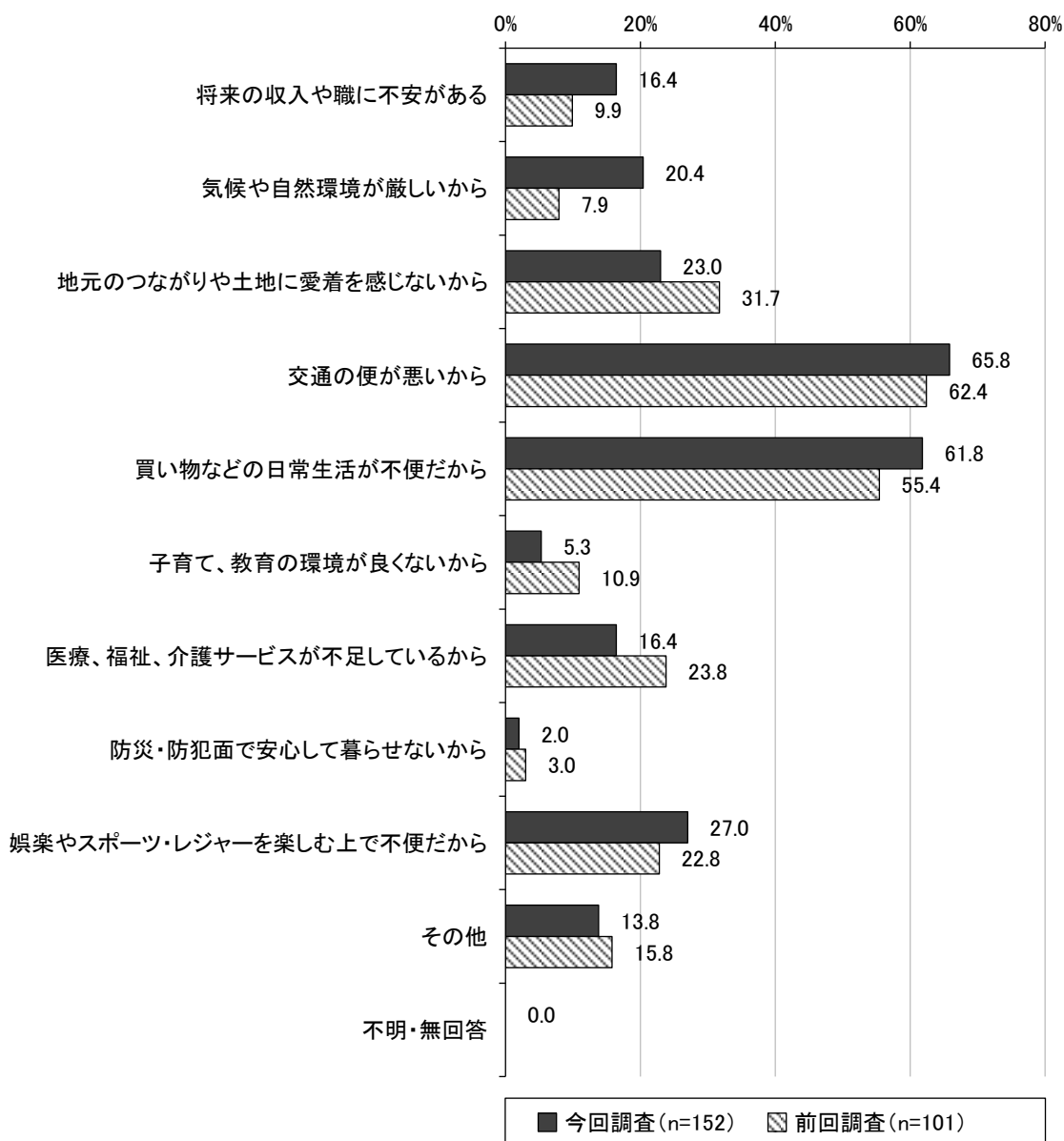
単位：%		安定した収入や職があるから	気候や自然環境が良いから	地元のつながりや土地に愛着があるから	交通の便が良いから	買い物などの日常生活が便利だから	子育て、教育の環境が良いから	医療、福祉、介護サービスが充実しているから	防災・防犯面で安心して暮らせるから	娯楽やスポーツ・レジャーを楽しむ上で便利だから	新幹線の駅があるから	その他	不明・無回答
全体(n=532)		20.1	23.9	60.7	12.6	19.2	9.2	4.7	8.1	3.0	9.4	10.2	1.3
性別	男性(n=253)	20.2	24.1	64.4	12.6	14.6	8.3	4.3	7.5	5.1	9.9	9.9	1.2
	女性(n=276)	20.3	23.9	57.2	12.7	23.2	10.1	4.7	8.3	0.7	9.1	10.5	1.4
年代別	18～29歳(n=22)	18.2	13.6	40.9	13.6	13.6	9.1	4.5	4.5	9.1	22.7	13.6	0.0
	30～40歳代(n=93)	23.7	26.9	50.5	3.2	10.8	28.0	4.3	9.7	1.1	7.5	8.6	1.1
	50～60歳代(n=242)	23.1	22.3	60.7	11.6	18.6	5.4	2.5	8.7	3.7	9.9	12.4	0.8
	70歳以上(n=172)	14.0	25.6	69.2	19.2	25.0	4.7	8.1	7.0	1.7	8.1	7.6	2.3
地区別	温泉地区(n=60)	26.7	18.3	48.3	13.3	21.7	8.3	6.7	8.3	10.0	10.0	11.7	1.7
	山方・里方地区(n=56)	21.4	32.1	71.4	8.9	17.9	5.4	3.6	7.1	7.1	7.1	8.9	1.8
	本荘地区(n=37)	32.4	16.2	62.2	5.4	13.5	10.8	5.4	10.8	0.0	5.4	16.2	2.7
	新郷地区(n=19)	21.1	15.8	36.8	0.0	10.5	0.0	5.3	10.5	0.0	10.5	10.5	5.3
	北潟地区(n=18)	33.3	33.3	72.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
	波松地区(n=10)	10.0	40.0	70.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	金津地区(n=189)	16.4	20.1	58.2	23.3	34.9	11.1	5.8	6.3	1.6	14.3	7.9	0.5
	伊井地区(n=40)	20.0	30.0	75.0	2.5	2.5	17.5	10.0	10.0	2.5	5.0	7.5	0.0
	坪江地区(n=38)	15.8	39.5	76.3	2.6	5.3	7.9	0.0	18.4	0.0	7.9	2.6	5.3
	劔岳地区(n=9)	33.3	33.3	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
	細呂木地区(n=50)	14.0	22.0	56.0	12.0	6.0	4.0	2.0	8.0	4.0	6.0	20.0	0.0
	吉崎地区(n=5)	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0

問 10 で「どちらかと言えば市外に移りたい」または「できれば市外に移りたい」と回答した方

問 10-2 あわら市外に移りたい理由は何ですか。(選択は3つまで)

「交通の便が悪いから」が65.8%と最も高く、次いで「買い物などの日常生活が不便だから」が61.8%、「娯楽やスポーツ・レジャーを楽しむ上で不便だから」が27.0%となっています。

前回調査と比較すると、「気候や自然環境が厳しいから」が12.5ポイント、「将来の収入や職に不安がある」が6.5ポイント高く、「買い物などの日常生活が不便だから」が6.4ポイント、「地元のつながりや土地に愛着を感じないから」が8.7ポイント、「医療、福祉、介護サービスが不足しているから」が7.4ポイント、「子育て、教育の環境が良くないから」が5.6ポイント低くなっています。



※今回調査の選択肢「将来の収入や職に不安がある」は、前回調査では「将来の収入や職に不安がある等」。

※前回調査報告書において「不明・無回答」は記載がないため、省略しています。

●クロス集計

性別にみると、男性では「買い物などの日常生活が不便だから」、女性では「交通の便が悪いから」が最も高くなっています。

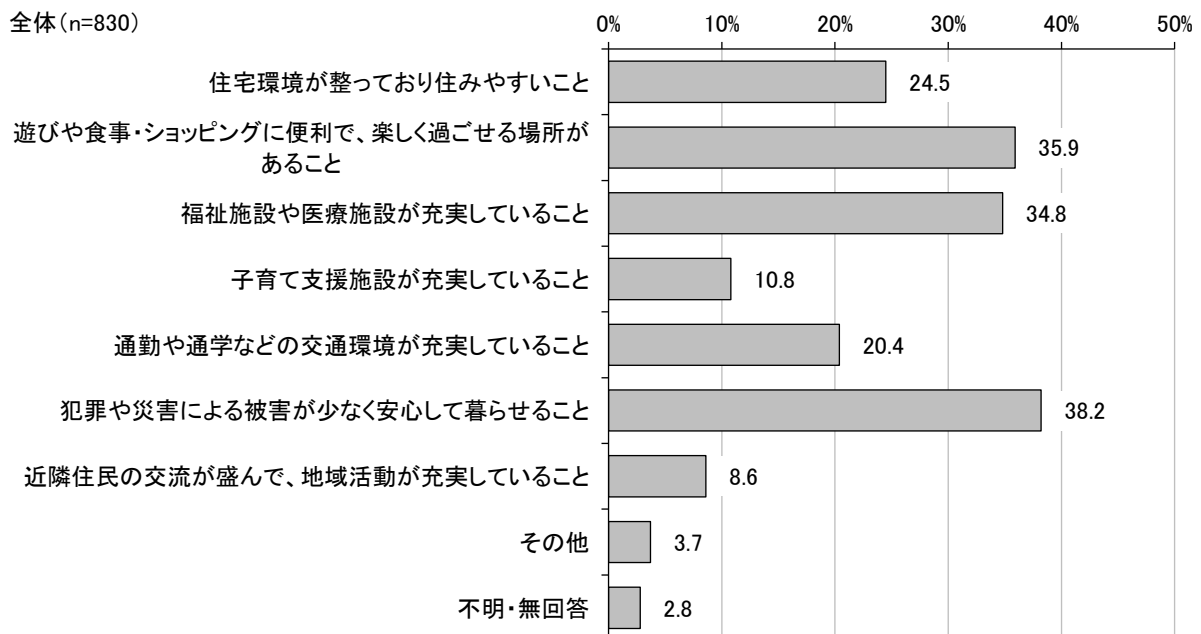
年代別にみると、〔18～29歳〕では「交通の便が悪いから」「買い物などの日常生活が不便だから」「娯楽やスポーツ・レジャーを楽しむ上で不便だから」、〔70歳以上〕では「買い物などの日常生活が不便だから」、その他の区分では「交通の便が悪いから」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔温泉地区〕〔本荘地区〕〔金津地区〕では「交通の便が悪いから」、〔北潟地区〕〔坪江地区〕〔細呂木地区〕では「交通の便が悪いから」「買い物などの日常生活が不便だから」が最も高くなっています。

単位：%		将来の収入や職に不安がある	気候や自然環境が厳しいから	地元のつながりや土地に愛着を感じないから	交通の便が悪いから	買い物などの日常生活が不便だから	子育て、教育の環境が良くないから	医療、福祉、介護サービスが不足しているから	防災・防犯面で安心して暮らせないから	娯楽やスポーツ・レジャーを楽しむ上で不便だから	その他	不明・無回答
全体 (n=152)		16.4	20.4	23.0	65.8	61.8	5.3	16.4	2.0	27.0	13.8	0.0
性別	男性 (n=59)	16.9	18.6	23.7	57.6	67.8	1.7	22.0	1.7	25.4	15.3	0.0
	女性 (n=90)	16.7	22.2	22.2	71.1	57.8	7.8	13.3	2.2	27.8	12.2	0.0
年代別	18～29歳 (n=22)	27.3	18.2	18.2	54.5	54.5	4.5	0.0	0.0	54.5	18.2	0.0
	30～40歳代 (n=43)	20.9	16.3	16.3	65.1	62.8	9.3	11.6	0.0	30.2	23.3	0.0
	50～60歳代 (n=65)	12.3	24.6	32.3	66.2	56.9	4.6	23.1	4.6	20.0	7.7	0.0
	70歳以上 (n=22)	9.1	18.2	13.6	77.3	81.8	0.0	22.7	0.0	13.6	9.1	0.0
地区別	温泉地区 (n=14)	35.7	7.1	42.9	57.1	28.6	7.1	21.4	14.3	21.4	21.4	0.0
	山方・里方地区 (n=9)	0.0	11.1	33.3	77.8	66.7	11.1	11.1	0.0	55.6	0.0	0.0
	本荘地区 (n=10)	10.0	30.0	20.0	60.0	40.0	10.0	40.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	新郷地区 (n=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	北潟地区 (n=10)	30.0	10.0	30.0	80.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	波松地区 (n=3)	0.0	66.7	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	金津地区 (n=45)	20.0	20.0	20.0	53.3	46.7	4.4	13.3	2.2	35.6	24.4	0.0
	伊井地区 (n=9)	11.1	55.6	33.3	44.4	77.8	0.0	0.0	0.0	44.4	11.1	0.0
	坪江地区 (n=16)	6.3	25.0	25.0	75.0	75.0	0.0	25.0	0.0	12.5	6.3	0.0
	剣岳地区 (n=9)	0.0	11.1	11.1	100.0	100.0	0.0	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0
	細呂木地区 (n=14)	21.4	14.3	14.3	78.6	78.6	7.1	21.4	0.0	28.6	7.1	0.0
	吉崎地区 (n=6)	16.7	16.7	16.7	83.3	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 11 あなたは、あわら市に住み続けるために必要なことは何だと思いますか。(選択は2つまで)

「犯罪や災害による被害が少なく安心して暮らせること」が 38.2%と最も高く、次いで「遊びや食事・ショッピングに便利で、楽しく過ごせる場所があること」が 35.9%、「福祉施設や医療施設が充実していること」が 34.8%となっています。



●クロス集計

性別にみると、男性では「犯罪や災害による被害が少なく安心して暮らせること」、女性では「遊びや食事・ショッピングに便利で、楽しく過ごせる場所があること」「犯罪や災害による被害が少なく安心して暮らせること」が最も高くなっています。

年代別にみると、〔50～60 歳代〕では「福祉施設や医療施設が充実していること」、〔70 歳以上〕では「犯罪や災害による被害が少なく安心して暮らせること」、その他の区分では「遊びや食事・ショッピングに便利で、楽しく過ごせる場所があること」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔温泉地区〕〔新郷地区〕〔劔岳地区〕では「遊びや食事・ショッピングに便利で、楽しく過ごせる場所があること」、〔波松地区〕では「住宅環境が整っており住みやすいこと」、〔伊井地区〕〔細呂木地区〕〔吉崎地区〕では「福祉施設や医療施設が充実していること」、〔坪江地区〕では「遊びや食事・ショッピングに便利で、楽しく過ごせる場所があること」「福祉施設や医療施設が充実していること」、その他の区分では「犯罪や災害による被害が少なく安心して暮らせること」が最も高くなっています。

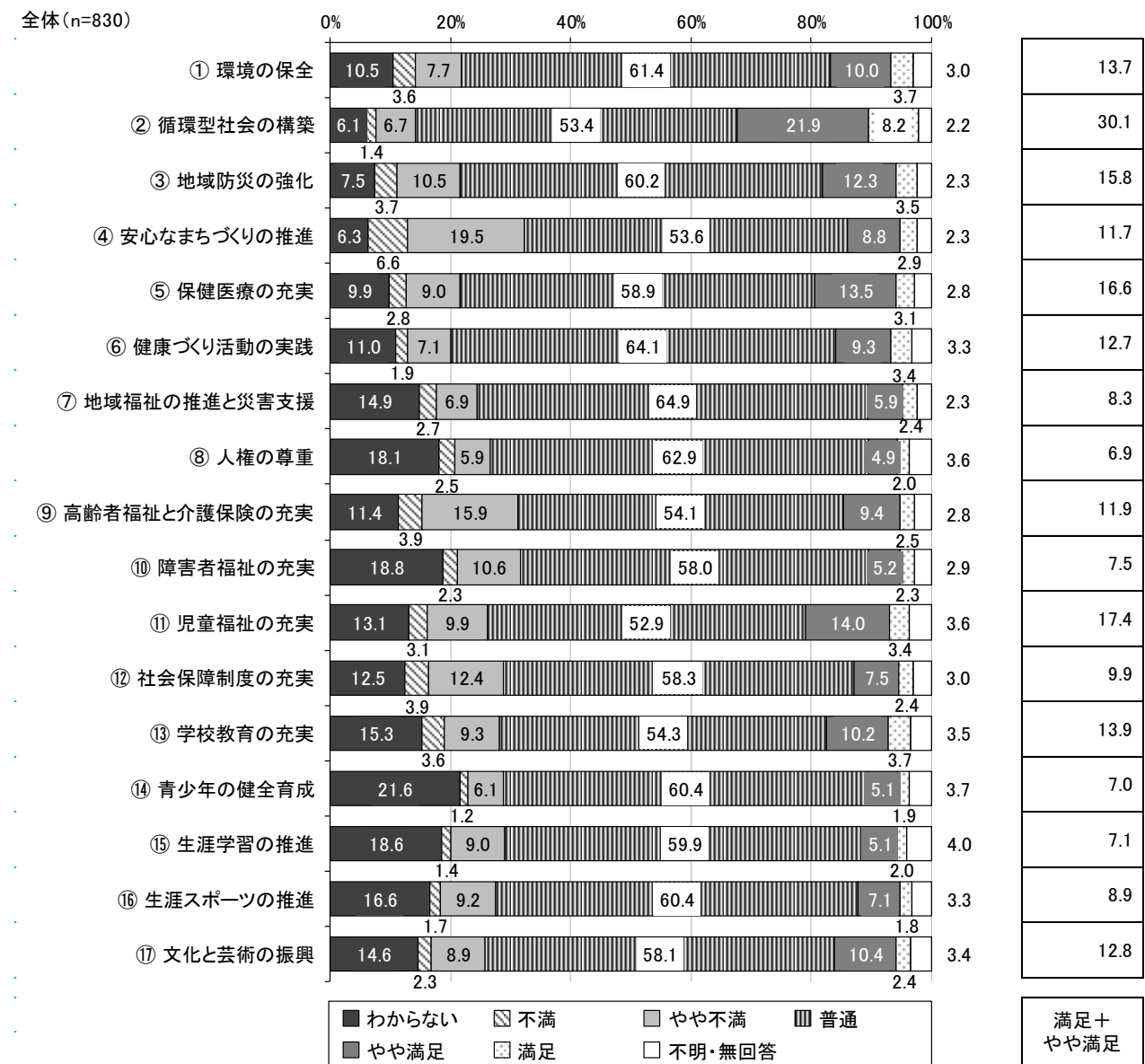
単位：%		や住宅環境が整っており住みやすいこと	あること、遊びや食事・ショッピングに便利で、楽しく過ごせる場所があること	福祉施設や医療施設が充実していること	子育て支援施設が充実していること	通勤や通学などの交通環境が充実していること	犯罪や災害による被害が少なく安心して暮らせること	近隣住民の交流が盛んで、活動が充実していること	その他	不明・無回答
全体 (n=830)		24.5	35.9	34.8	10.8	20.4	38.2	8.6	3.7	2.8
性別	男性 (n=361)	23.5	34.3	33.5	11.6	17.7	38.8	10.5	5.0	2.2
	女性 (n=447)	25.1	37.4	36.5	10.5	22.4	37.4	6.9	2.9	2.7
年代別	18～29歳 (n=61)	26.2	55.7	19.7	18.0	24.6	29.5	0.0	4.9	0.0
	30～40歳代 (n=167)	20.4	46.7	24.0	20.4	28.7	31.7	4.2	5.4	1.8
	50～60歳代 (n=369)	28.2	36.3	41.7	8.7	20.6	34.4	9.2	2.4	2.4
	70歳以上 (n=217)	20.3	23.0	35.9	5.5	11.5	52.1	12.9	4.6	3.7
地区別	温泉地区 (n=91)	30.8	40.7	31.9	9.9	20.9	37.4	4.4	4.4	2.2
	山方・里方地区 (n=70)	24.3	28.6	34.3	14.3	15.7	50.0	8.6	1.4	0.0
	本荘地区 (n=66)	25.8	34.8	31.8	13.6	19.7	37.9	12.1	3.0	1.5
	新郷地区 (n=26)	15.4	42.3	34.6	11.5	15.4	30.8	3.8	0.0	7.7
	北潟地区 (n=31)	19.4	16.1	35.5	9.7	38.7	41.9	12.9	6.5	0.0
	波松地区 (n=16)	50.0	25.0	31.3	12.5	25.0	25.0	6.3	0.0	0.0
	金津地区 (n=286)	23.4	39.2	35.7	11.2	16.8	41.6	10.1	3.8	1.4
	伊井地区 (n=57)	28.1	31.6	36.8	10.5	21.1	29.8	7.0	7.0	3.5
	坪江地区 (n=61)	27.9	37.7	37.7	4.9	24.6	36.1	8.2	1.6	1.6
	劔岳地区 (n=24)	12.5	54.2	16.7	4.2	37.5	20.8	8.3	4.2	12.5
	細呂木地区 (n=73)	16.4	32.9	42.5	13.7	21.9	35.6	6.8	5.5	4.1
	吉崎地区 (n=12)	25.0	25.0	41.7	8.3	16.7	25.0	0.0	8.3	16.7

2 あわら市の取組について

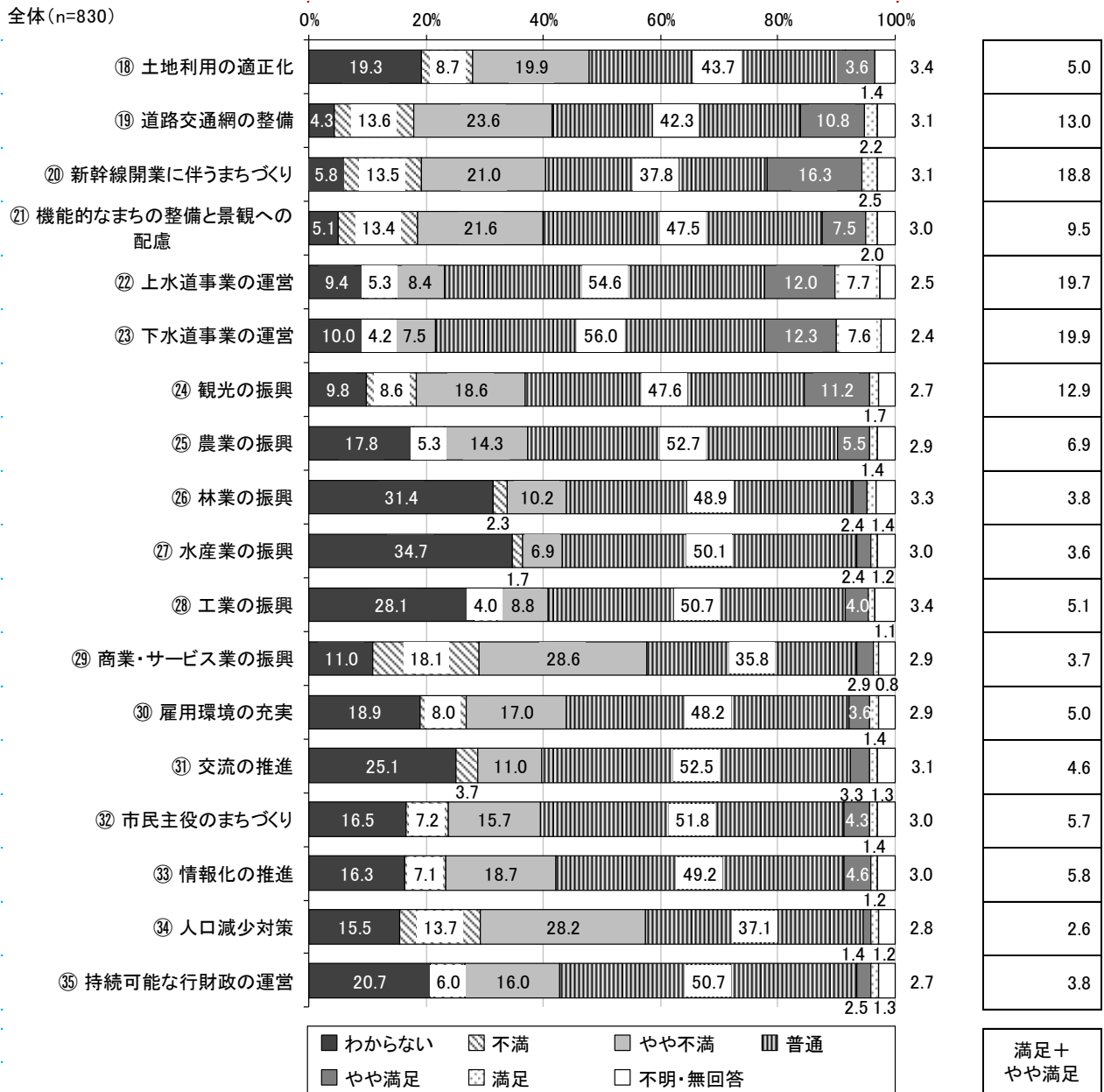
問 12 あなたは、あわら市が行っている政策についてどれくらい満足されていますか。また、どれくらい重要だと思われますか。(①～⑮について、満足度と重要度にそれぞれ1つずつを選択)

■満足度

「満足」と「やや満足」の合計が高い項目についてみると、[② 循環型社会の構築]が30.1%、[② 下水道事業の運営]が19.9%、[② 上水道事業の運営]が19.7%となっています。



全体(n=830)



●クロス集計【年代別 18～29 歳】

〔18～29 歳〕の「満足」と「やや満足」の合計が高い項目についてみると、〔② 循環型社会の構築〕が 39.3%、〔④ 安心なまちづくりの推進〕〔⑬ 学校教育の充実〕が 24.6%となっています。

単位：％

18～29歳(n=61)	わからない	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	不明・無回答	満足＋やや満足
① 環境の保全	19.7	1.6	8.2	52.5	8.2	9.8	0.0	18.0
② 循環型社会の構築	11.5	0.0	0.0	49.2	21.3	18.0	0.0	39.3
③ 地域防災の強化	13.1	0.0	3.3	62.3	9.8	11.5	0.0	21.3
④ 安心なまちづくりの推進	14.8	4.9	6.6	49.2	13.1	11.5	0.0	24.6
⑤ 保健医療の充実	23.0	1.6	4.9	47.5	11.5	11.5	0.0	23.0
⑥ 健康づくり活動の実践	27.9	1.6	3.3	49.2	8.2	8.2	1.6	16.4
⑦ 地域福祉の推進と災害支援	29.5	3.3	3.3	50.8	4.9	8.2	0.0	13.1
⑧ 人権の尊重	32.8	1.6	1.6	49.2	6.6	6.6	1.6	13.2
⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実	29.5	6.6	6.6	42.6	9.8	4.9	0.0	14.7
⑩ 障害者福祉の充実	34.4	0.0	8.2	49.2	1.6	6.6	0.0	8.2
⑪ 児童福祉の充実	23.0	3.3	6.6	44.3	19.7	3.3	0.0	23.0
⑫ 社会保障制度の充実	39.3	3.3	1.6	44.3	3.3	8.2	0.0	11.5
⑬ 学校教育の充実	27.9	3.3	6.6	37.7	16.4	8.2	0.0	24.6
⑭ 青少年の健全育成	37.7	0.0	1.6	50.8	3.3	6.6	0.0	9.9
⑮ 生涯学習の推進	36.1	0.0	4.9	52.5	1.6	4.9	0.0	6.5
⑯ 生涯スポーツの推進	31.1	4.9	8.2	45.9	4.9	4.9	0.0	9.8
⑰ 文化と芸術の振興	32.8	1.6	3.3	39.3	14.8	8.2	0.0	23.0
⑱ 土地利用の適正化	37.7	3.3	19.7	31.1	0.0	8.2	0.0	8.2
⑲ 道路交通網の整備	13.1	11.5	29.5	29.5	11.5	4.9	0.0	16.4
⑳ 新幹線開業に伴うまちづくり	9.8	14.8	21.3	39.3	13.1	1.6	0.0	14.7
㉑ 機能的なまちの整備と景観への配慮	16.4	14.8	18.0	44.3	3.3	3.3	0.0	6.6
㉒ 上水道事業の運営	31.1	3.3	0.0	47.5	1.6	16.4	0.0	18.0
㉓ 下水道事業の運営	29.5	1.6	0.0	47.5	4.9	16.4	0.0	21.3
㉔ 観光の振興	18.0	16.4	16.4	31.1	16.4	1.6	0.0	18.0
㉕ 農業の振興	34.4	4.9	11.5	36.1	6.6	6.6	0.0	13.2
㉖ 林業の振興	50.8	1.6	6.6	34.4	0.0	6.6	0.0	6.6
㉗ 水産業の振興	50.8	0.0	3.3	37.7	1.6	6.6	0.0	8.2
㉘ 工業の振興	52.5	0.0	4.9	32.8	6.6	3.3	0.0	9.9
㉙ 商業・サービス業の振興	16.4	19.7	29.5	31.1	1.6	1.6	0.0	3.2
㉚ 雇用環境の充実	31.1	9.8	11.5	36.1	4.9	6.6	0.0	11.5
㉛ 交流の推進	37.7	1.6	9.8	42.6	3.3	4.9	0.0	8.2
㉜ 市民主役のまちづくり	32.8	6.6	11.5	42.6	1.6	3.3	1.6	4.9
㉝ 情報化の推進	37.7	13.1	13.1	31.1	3.3	1.6	0.0	4.9
㉞ 人口減少対策	34.4	14.8	13.1	34.4	1.6	1.6	0.0	3.2
㉟ 持続可能な行財政の運営	41.0	4.9	9.8	37.7	4.9	1.6	0.0	6.5

●クロス集計【年代別 30～40 歳代】

〔30～40 歳代〕の「満足」と「やや満足」の合計が高い項目についてみると、〔② 循環型社会の構築〕が 32.4%、〔⑪ 児童福祉の充実〕が 24.6%、〔⑳ 新幹線開業に伴うまちづくり〕が 21.0%となっています。

単位：％

30～40歳代(n=167)	わからない	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	不明・無回答	満足＋やや満足
① 環境の保全	19.8	3.6	7.2	55.7	9.0	4.2	0.6	13.2
② 循環型社会の構築	8.4	1.2	7.2	49.7	19.8	12.6	1.2	32.4
③ 地域防災の強化	12.6	1.2	12.6	56.3	13.8	3.0	0.6	16.8
④ 安心なまちづくりの推進	9.0	6.0	19.8	48.5	13.2	3.0	0.6	16.2
⑤ 保健医療の充実	11.4	7.2	10.8	50.3	16.2	3.0	1.2	19.2
⑥ 健康づくり活動の実践	15.6	2.4	5.4	61.7	9.6	4.8	0.6	14.4
⑦ 地域福祉の推進と災害支援	18.6	1.8	6.6	61.7	7.2	3.6	0.6	10.8
⑧ 人権の尊重	22.8	2.4	7.8	58.1	4.8	3.6	0.6	8.4
⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実	18.6	3.0	13.2	54.5	7.2	3.0	0.6	10.2
⑩ 障害者福祉の充実	25.1	1.8	9.0	55.1	5.4	3.0	0.6	8.4
⑪ 児童福祉の充実	10.8	7.2	15.0	41.9	17.4	7.2	0.6	24.6
⑫ 社会保障制度の充実	18.0	2.4	14.4	54.5	8.4	1.8	0.6	10.2
⑬ 学校教育の充実	12.0	7.8	10.8	51.5	9.6	7.2	1.2	16.8
⑭ 青少年の健全育成	25.7	2.4	6.0	56.9	5.4	2.4	1.2	7.8
⑮ 生涯学習の推進	24.0	2.4	10.2	52.7	4.8	3.6	2.4	8.4
⑯ 生涯スポーツの推進	19.2	1.8	10.2	56.3	9.6	1.8	1.2	11.4
⑰ 文化と芸術の振興	15.6	3.0	11.4	52.1	13.2	3.0	1.8	16.2
⑱ 土地利用の適正化	18.6	12.0	22.8	38.9	5.4	1.2	1.2	6.6
⑲ 道路交通網の整備	1.8	16.2	25.7	38.3	13.8	3.0	1.2	16.8
⑳ 新幹線開業に伴うまちづくり	4.8	20.4	23.4	29.9	17.4	3.6	0.6	21.0
㉑ 機能的なまちの整備と景観への配慮	4.2	18.0	25.1	37.7	10.2	3.6	1.2	13.8
㉒ 上水道事業の運営	16.8	5.4	6.0	54.5	8.4	8.4	0.6	16.8
㉓ 下水道事業の運営	17.4	6.0	4.8	53.3	7.8	9.6	1.2	17.4
㉔ 観光の振興	9.6	12.6	24.0	40.1	9.6	3.6	0.6	13.2
㉕ 農業の振興	18.0	6.0	12.6	52.7	7.8	2.4	0.6	10.2
㉖ 林業の振興	34.7	3.0	5.4	50.9	3.6	1.8	0.6	5.4
㉗ 水産業の振興	35.3	2.4	6.6	49.7	3.6	1.8	0.6	5.4
㉘ 工業の振興	24.0	7.8	12.6	49.1	4.2	1.8	0.6	6.0
㉙ 商業・サービス業の振興	10.8	24.6	30.5	25.7	4.8	2.4	1.2	7.2
㉚ 雇用環境の充実	16.8	11.4	18.6	45.5	4.2	3.0	0.6	7.2
㉛ 交流の推進	28.7	6.0	6.0	52.7	3.6	2.4	0.6	6.0
㉜ 市民主役のまちづくり	19.2	8.4	15.0	46.7	6.0	4.2	0.6	10.2
㉝ 情報化の推進	18.6	9.6	19.8	41.9	5.4	3.6	1.2	9.0
㉞ 人口減少対策	18.0	18.0	22.2	37.1	1.8	2.4	0.6	4.2
㉟ 持続可能な行財政の運営	22.2	6.6	11.4	53.9	1.8	3.6	0.6	5.4

●クロス集計【年代別 50～60 歳代】

〔50～60 歳代〕の「満足」と「やや満足」の合計が高い項目についてみると、〔② 循環型社会の構築〕が 29.5%、〔②② 上水道事業の運営〕が 20.3%、〔②③ 下水道事業の運営〕が 20.1%となっています。

単位：％

50～60歳代(n=369)	わからない	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	不明・無回答	満足＋やや満足
① 環境の保全	8.1	3.5	6.5	65.0	11.4	3.3	2.2	14.7
② 循環型社会の構築	6.0	1.9	7.9	53.4	21.4	8.1	1.4	29.5
③ 地域防災の強化	7.0	3.5	9.8	62.9	11.7	3.3	1.9	15.0
④ 安心なまちづくりの推進	5.1	6.2	18.2	60.4	6.0	1.9	2.2	7.9
⑤ 保健医療の充実	8.9	1.9	9.8	63.1	11.9	1.9	2.4	13.8
⑥ 健康づくり活動の実践	10.8	1.6	8.7	65.0	8.4	2.7	2.7	11.1
⑦ 地域福祉の推進と災害支援	15.4	2.4	6.8	66.9	4.9	1.9	1.6	6.8
⑧ 人権の尊重	15.7	2.7	5.7	67.8	4.3	1.1	2.7	5.4
⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実	9.8	4.1	17.6	55.6	9.2	1.6	2.2	10.8
⑩ 障害者福祉の充実	17.3	2.4	10.0	61.0	5.1	1.9	2.2	7.0
⑪ 児童福祉の充実	13.6	1.9	8.9	58.8	11.9	2.4	2.4	14.3
⑫ 社会保障制度の充実	10.3	5.1	12.7	62.9	5.1	1.4	2.4	6.5
⑬ 学校教育の充実	16.5	2.7	9.2	56.4	9.8	2.7	2.7	12.5
⑭ 青少年の健全育成	19.0	0.8	6.8	63.4	6.0	1.4	2.7	7.4
⑮ 生涯学習の推進	16.0	1.1	7.3	65.9	6.2	1.4	2.2	7.6
⑯ 生涯スポーツの推進	15.4	1.4	8.1	64.8	6.2	1.6	2.4	7.8
⑰ 文化と芸術の振興	13.6	1.9	8.9	62.9	8.7	1.9	2.2	10.6
⑱ 土地利用の適正化	18.2	7.6	20.1	47.2	3.5	0.8	2.7	4.3
⑲ 道路交通網の整備	4.3	13.8	22.5	46.6	8.9	1.4	2.4	10.3
⑳ 新幹線開業に伴うまちづくり	5.1	13.0	21.4	39.3	15.4	3.3	2.4	18.7
㉑ 機能的なまちの整備と景観への配慮	5.1	11.7	22.0	50.4	7.3	1.6	1.9	8.9
㉒ 上水道事業の運営	6.2	6.0	10.0	55.8	14.1	6.2	1.6	20.3
㉓ 下水道事業の運営	6.8	3.8	9.8	58.0	14.4	5.7	1.6	20.1
㉔ 観光の振興	8.4	7.9	19.5	51.5	9.8	1.1	1.9	10.9
㉕ 農業の振興	16.0	5.7	14.6	56.9	4.1	0.5	2.2	4.6
㉖ 林業の振興	30.6	2.2	11.7	49.9	2.2	0.8	2.7	3.0
㉗ 水産業の振興	33.6	1.1	5.7	54.2	2.7	0.3	2.4	3.0
㉘ 工業の振興	26.3	3.3	9.2	54.2	2.7	0.8	3.5	3.5
㉙ 商業・サービス業の振興	10.3	19.0	30.9	34.7	2.7	0.3	2.2	3.0
㉚ 雇用環境の充実	18.4	8.4	18.7	49.1	2.4	0.5	2.4	2.9
㉛ 交流の推進	22.2	3.3	11.1	57.5	2.7	0.5	2.7	3.2
㉜ 市民主役のまちづくり	13.6	6.2	17.3	58.0	2.2	0.5	2.2	2.7
㉝ 情報化の推進	12.7	6.0	21.1	54.2	3.0	0.5	2.4	3.5
㉞ 人口減少対策	13.0	13.3	32.5	37.9	0.3	0.8	2.2	1.1
㉟ 持続可能な行財政の運営	18.7	6.0	18.7	52.6	1.4	0.8	1.9	2.2

●クロス集計【年代別 70 歳以上】

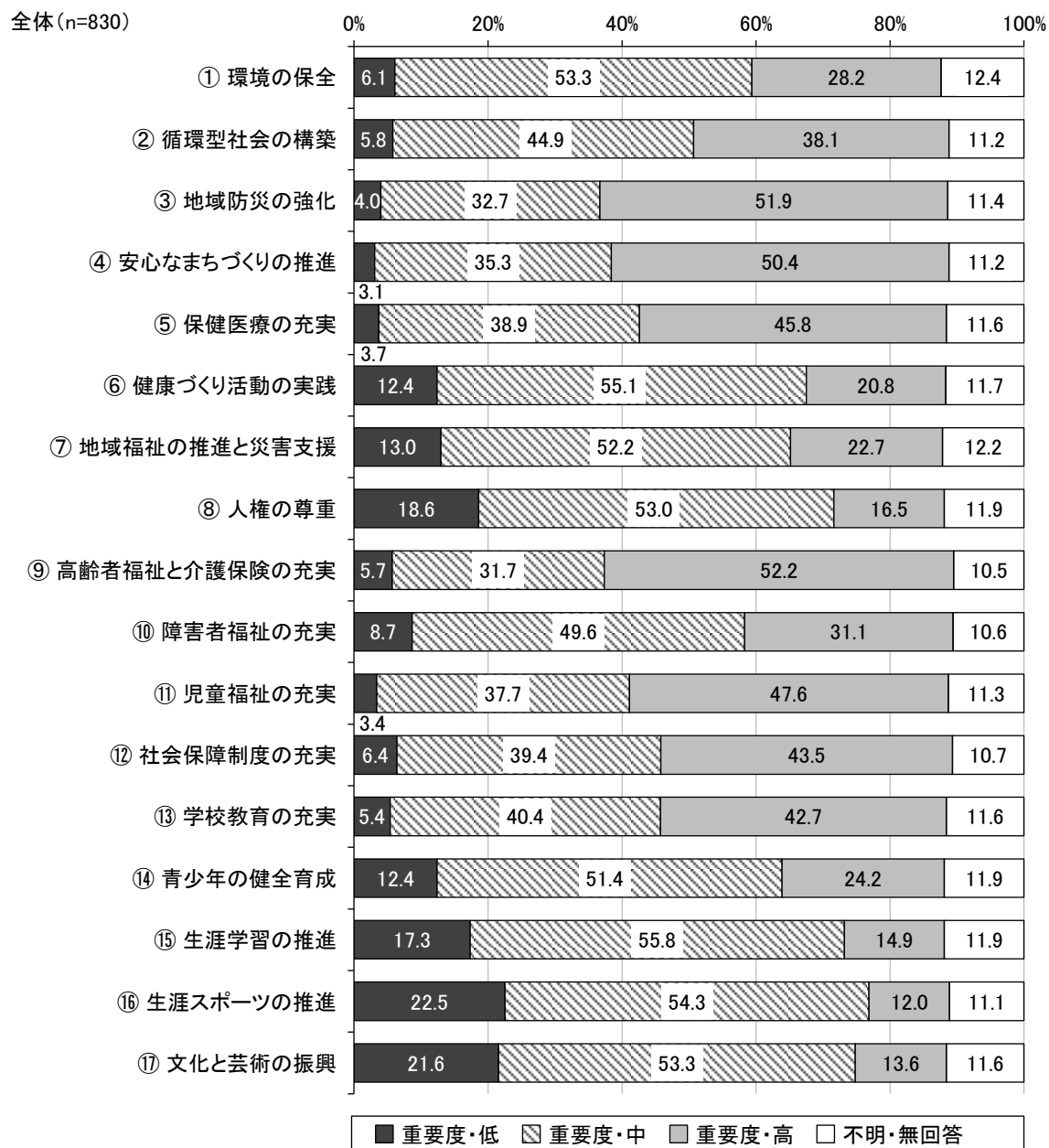
〔70 歳以上〕の「満足」と「やや満足」の合計が高い項目についてみると、〔② 循環型社会の構築〕が 28.6%、〔②② 上水道事業の運営〕が 21.7%、〔②③ 下水道事業の運営〕が 21.2%となっています。

単位：％

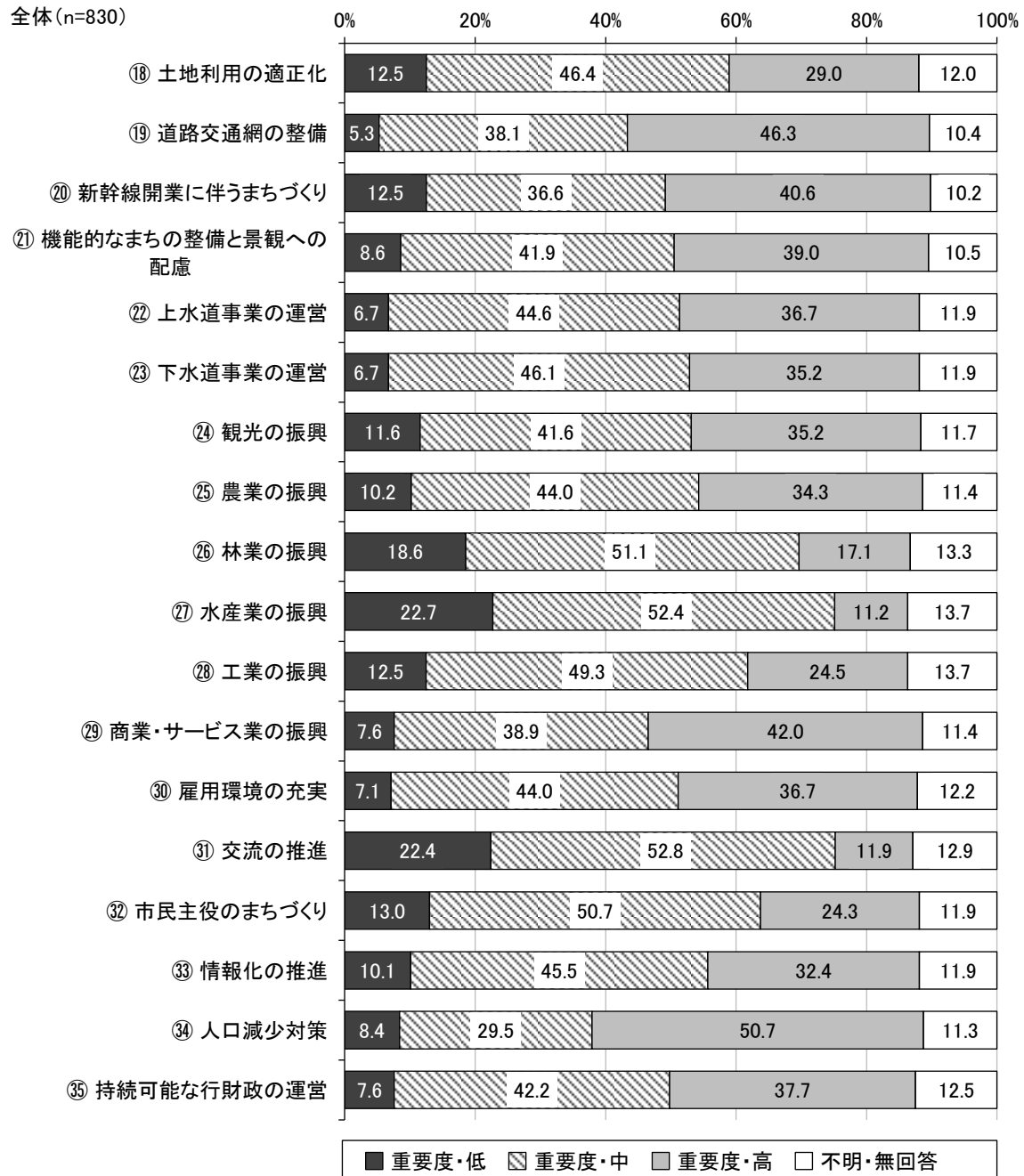
70歳以上(n=217)	わからない	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	不明・無回答	満足＋やや満足
① 環境の保全	5.5	4.1	9.7	62.2	9.2	2.3	6.9	11.5
② 循環型社会の構築	3.2	1.4	6.5	55.8	25.8	2.8	4.6	28.6
③ 地域防災の強化	3.2	7.4	11.5	58.1	13.4	1.8	4.6	15.2
④ 安心なまちづくりの推進	4.1	8.8	24.9	47.9	8.8	1.4	4.1	10.2
⑤ 保健医療の充実	6.9	1.4	7.4	61.8	14.7	2.8	5.1	17.5
⑥ 健康づくり活動の実践	2.8	2.3	7.4	67.7	11.5	2.3	6.0	13.8
⑦ 地域福祉の推進と災害支援	7.4	3.7	8.3	67.7	7.4	0.5	5.1	7.9
⑧ 人権の尊重	14.3	2.8	5.5	63.1	5.5	0.9	7.8	6.4
⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実	3.7	3.7	17.1	54.8	11.5	3.2	6.0	14.7
⑩ 障害者福祉の充実	12.4	3.2	12.9	57.1	6.5	1.4	6.5	7.9
⑪ 児童福祉の充実	11.5	2.3	7.8	53.5	13.8	2.3	8.8	16.1
⑫ 社会保障制度の充実	4.6	3.2	12.4	57.6	12.4	3.2	6.5	15.6
⑬ 学校教育の充実	12.4	1.8	8.8	57.1	10.6	1.8	7.4	12.4
⑭ 青少年の健全育成	18.0	1.4	6.5	60.8	4.1	1.4	7.8	5.5
⑮ 生涯学習の推進	14.3	1.4	12.0	57.6	4.1	1.4	9.2	5.5
⑯ 生涯スポーツの推進	12.4	1.4	10.1	59.9	7.8	1.4	6.9	9.2
⑰ 文化と芸術の振興	10.6	2.3	8.8	60.4	9.2	1.4	7.4	10.6
⑱ 土地利用の適正化	15.7	9.7	18.4	44.7	3.7	0.9	6.9	4.6
⑲ 道路交通網の整備	3.2	12.0	21.7	42.9	12.0	1.8	6.5	13.8
⑳ 新幹線開業に伴うまちづくり	6.0	8.3	19.4	40.6	18.0	0.9	6.9	18.9
㉑ 機能的なまちの整備と景観への配慮	2.8	12.0	19.8	50.2	6.9	1.4	6.9	8.3
㉒ 上水道事業の運営	2.3	4.6	9.7	55.8	15.2	6.5	6.0	21.7
㉓ 下水道事業の運営	3.7	4.1	7.4	58.5	15.2	6.0	5.1	21.2
㉔ 観光の振興	10.1	4.6	13.4	52.1	12.4	1.4	6.0	13.8
㉕ 農業の振興	16.1	3.7	15.7	51.2	6.0	0.9	6.5	6.9
㉖ 林業の振興	25.3	2.3	12.4	49.8	2.3	0.9	6.9	3.2
㉗ 水産業の振興	32.3	2.3	10.1	46.5	1.4	0.9	6.5	2.3
㉘ 工業の振興	28.1	3.7	6.9	49.3	5.5	0.5	6.0	6.0
㉙ 商業・サービス業の振興	11.1	12.0	22.6	45.6	2.3	0.5	6.0	2.8
㉚ 雇用環境の充実	18.0	4.6	15.2	51.2	4.6	0.5	6.0	5.1
㉛ 交流の推進	24.4	2.8	15.2	46.1	4.1	0.9	6.5	5.0
㉜ 市民主役のまちづくり	16.1	7.8	13.8	47.5	7.8	0.5	6.5	8.3
㉝ 情報化の推進	14.7	6.0	15.2	50.7	6.9	0.5	6.0	7.4
㉞ 人口減少対策	13.4	11.1	30.0	35.5	3.2	0.9	6.0	4.1
㉟ 持続可能な行財政の運営	17.5	6.0	17.5	47.9	4.6	0.5	6.0	5.1

■重要度

「重要度・高」が高い項目についてみると、[⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実] が52.2%、[③ 地域防災の強化] が51.9%、[⑭ 人口減少対策] が50.7%となっています。



全体 (n=830)



●クロス集計【年代別 18～29 歳】

〔18～29 歳〕の「重要度・高」が高い項目についてみると、〔③ 地域防災の強化〕〔④ 安心なまちづくりの推進〕〔⑯ 道路交通網の整備〕が 63.9%となっています。

単位：％

18～29歳(n=61)	重要度・低	重要度・中	重要度・高	不明・無回答
① 環境の保全	9.8	54.1	26.2	9.8
② 循環型社会の構築	1.6	49.2	39.3	9.8
③ 地域防災の強化	0.0	26.2	63.9	9.8
④ 安心なまちづくりの推進	1.6	26.2	63.9	8.2
⑤ 保健医療の充実	0.0	32.8	59.0	8.2
⑥ 健康づくり活動の実践	19.7	45.9	24.6	9.8
⑦ 地域福祉の推進と災害支援	14.8	49.2	26.2	9.8
⑧ 人権の尊重	18.0	47.5	24.6	9.8
⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実	13.1	31.1	47.5	8.2
⑩ 障害者福祉の充実	13.1	45.9	32.8	8.2
⑪ 児童福祉の充実	6.6	37.7	49.2	6.6
⑫ 社会保障制度の充実	11.5	39.3	41.0	8.2
⑬ 学校教育の充実	8.2	41.0	44.3	6.6
⑭ 青少年の健全育成	19.7	47.5	24.6	8.2
⑮ 生涯学習の推進	19.7	52.5	19.7	8.2
⑯ 生涯スポーツの推進	27.9	42.6	21.3	8.2
⑰ 文化と芸術の振興	31.1	42.6	19.7	6.6
⑱ 土地利用の適正化	11.5	37.7	42.6	8.2
⑲ 道路交通網の整備	3.3	27.9	63.9	4.9
⑳ 新幹線開業に伴うまちづくり	9.8	26.2	59.0	4.9
㉑ 機能的なまちの整備と景観への配慮	11.5	32.8	47.5	8.2
㉒ 上水道事業の運営	16.4	37.7	36.1	9.8
㉓ 下水道事業の運営	14.8	39.3	36.1	9.8
㉔ 観光の振興	6.6	29.5	55.7	8.2
㉕ 農業の振興	11.5	45.9	32.8	9.8
㉖ 林業の振興	24.6	42.6	23.0	9.8
㉗ 水産業の振興	26.2	44.3	19.7	9.8
㉘ 工業の振興	18.0	45.9	26.2	9.8
㉙ 商業・サービス業の振興	8.2	36.1	49.2	6.6
㉚ 雇用環境の充実	8.2	45.9	39.3	6.6
㉛ 交流の推進	27.9	47.5	16.4	8.2
㉜ 市民主役のまちづくり	14.8	54.1	23.0	8.2
㉝ 情報化の推進	14.8	34.4	41.0	9.8
㉞ 人口減少対策	9.8	24.6	59.0	6.6
㉟ 持続可能な行財政の運営	13.1	44.3	34.4	8.2

●クロス集計【年代別 30～40 歳代】

〔30～40 歳代〕の「重要度・高」が高い項目についてみると、〔⑪ 児童福祉の充実〕〔⑲ 商業・サービス業の振興〕が 58.1%、〔⑳ 新幹線開業に伴うまちづくり〕が 56.9%となっています。

単位：％

30～40歳代(n=167)	重要度・低	重要度・中	重要度・高	不明・無回答
① 環境の保全	11.4	56.9	27.5	4.2
② 循環型社会の構築	10.8	54.5	30.5	4.2
③ 地域防災の強化	7.2	38.9	48.5	5.4
④ 安心なまちづくりの推進	4.8	36.5	53.9	4.8
⑤ 保健医療の充実	6.0	34.1	54.5	5.4
⑥ 健康づくり活動の実践	21.6	52.1	21.0	5.4
⑦ 地域福祉の推進と災害支援	23.4	49.1	22.2	5.4
⑧ 人権の尊重	30.5	46.7	17.4	5.4
⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実	10.2	35.3	49.7	4.8
⑩ 障害者福祉の充実	14.4	52.7	28.1	4.8
⑪ 児童福祉の充実	2.4	34.7	58.1	4.8
⑫ 社会保障制度の充実	13.2	41.9	40.1	4.8
⑬ 学校教育の充実	7.2	37.1	50.9	4.8
⑭ 青少年の健全育成	19.2	50.9	24.6	5.4
⑮ 生涯学習の推進	31.1	46.1	17.4	5.4
⑯ 生涯スポーツの推進	37.7	45.5	12.6	4.2
⑰ 文化と芸術の振興	35.9	40.1	18.0	6.0
⑱ 土地利用の適正化	14.4	49.1	31.7	4.8
⑲ 道路交通網の整備	3.6	38.3	54.5	3.6
⑳ 新幹線開業に伴うまちづくり	9.6	29.9	56.9	3.6
㉑ 機能的なまちの整備と景観への配慮	8.4	34.7	52.1	4.8
㉒ 上水道事業の運営	12.6	52.1	29.9	5.4
㉓ 下水道事業の運営	12.0	52.1	30.5	5.4
㉔ 観光の振興	9.6	37.1	48.5	4.8
㉕ 農業の振興	13.2	49.1	34.1	3.6
㉖ 林業の振興	24.0	53.3	17.4	5.4
㉗ 水産業の振興	29.3	52.1	13.8	4.8
㉘ 工業の振興	15.0	47.3	32.9	4.8
㉙ 商業・サービス業の振興	6.6	30.5	58.1	4.8
㉚ 雇用環境の充実	9.0	38.3	47.3	5.4
㉛ 交流の推進	31.1	49.1	15.0	4.8
㉜ 市民主役のまちづくり	18.6	48.5	28.7	4.2
㉝ 情報化の推進	12.6	45.5	37.7	4.2
㉞ 人口減少対策	10.8	32.9	51.5	4.8
㉟ 持続可能な行財政の運営	10.2	44.3	39.5	6.0

●クロス集計【年代別 50～60 歳代】

〔50～60 歳代〕の「重要度・高」が高い項目についてみると、〔⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実〕が 56.9%、〔③ 地域防災の強化〕が 54.2%、〔③④ 人口減少対策〕が 53.4%となっています。

単位：％

50～60歳代(n=369)	重要度・低	重要度・中	重要度・高	不明・無回答
① 環境の保全	5.1	54.2	29.8	10.8
② 循環型社会の構築	5.1	43.6	41.5	9.8
③ 地域防災の強化	3.3	32.8	54.2	9.8
④ 安心なまちづくりの推進	1.9	39.6	48.8	9.8
⑤ 保健医療の充実	3.8	39.3	46.6	10.3
⑥ 健康づくり活動の実践	10.6	58.5	20.9	10.0
⑦ 地域福祉の推進と災害支援	10.0	54.5	25.5	10.0
⑧ 人権の尊重	16.3	58.3	15.2	10.3
⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実	3.0	30.9	56.9	9.2
⑩ 障害者福祉の充実	6.0	50.9	33.6	9.5
⑪ 児童福祉の充実	4.3	38.5	47.7	9.5
⑫ 社会保障制度の充実	3.8	39.8	46.6	9.8
⑬ 学校教育の充実	4.6	41.5	42.8	11.1
⑭ 青少年の健全育成	10.6	54.7	23.8	10.8
⑮ 生涯学習の推進	14.1	61.0	14.6	10.3
⑯ 生涯スポーツの推進	19.5	59.9	10.3	10.3
⑰ 文化と芸術の振興	19.2	60.2	10.6	10.0
⑱ 土地利用の適正化	11.4	48.8	29.3	10.6
⑲ 道路交通網の整備	4.9	39.8	45.3	10.0
⑳ 新幹線開業に伴うまちづくり	13.6	39.3	37.4	9.8
㉑ 機能的なまちの整備と景観への配慮	7.3	45.3	38.2	9.2
㉒ 上水道事業の運営	5.1	48.2	36.0	10.6
㉓ 下水道事業の運営	5.7	50.1	33.6	10.6
㉔ 観光の振興	12.7	42.3	34.4	10.6
㉕ 農業の振興	10.0	42.8	37.1	10.0
㉖ 林業の振興	18.2	52.8	16.5	12.5
㉗ 水産業の振興	22.0	56.1	9.5	12.5
㉘ 工業の振興	12.2	52.8	22.5	12.5
㉙ 商業・サービス業の振興	7.6	43.4	38.8	10.3
㉚ 雇用環境の充実	6.0	44.4	38.2	11.4
㉛ 交流の推進	21.4	56.6	10.3	11.7
㉜ 市民主役のまちづくり	11.4	56.9	20.9	10.8
㉝ 情報化の推進	8.7	49.9	30.6	10.8
㉞ 人口減少対策	6.0	30.1	53.4	10.6
㉟ 持続可能な行財政の運営	5.1	43.9	39.8	11.1

●クロス集計【年代別 70 歳以上】

〔70 歳以上〕の「重要度・高」が高い項目についてみると、〔③ 地域防災の強化〕〔⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実〕が 47.5%、〔④ 安心なまちづくりの推進〕が 46.1%となっています。

単位：％

70 歳以上 (n=217)	重要度・低	重要度・中	重要度・高	不明・無回答
① 環境の保全	2.3	47.9	27.2	22.6
② 循環型社会の構築	3.7	37.8	38.7	19.8
③ 地域防災の強化	3.2	29.5	47.5	19.8
④ 安心なまちづくりの推進	4.1	30.0	46.1	19.8
⑤ 保健医療の充実	3.2	41.9	35.0	19.8
⑥ 健康づくり活動の実践	6.0	52.5	21.2	20.3
⑦ 地域福祉の推進と災害支援	9.7	51.2	17.1	22.1
⑧ 人権の尊重	12.9	49.8	16.6	20.7
⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実	4.1	30.4	47.5	18.0
⑩ 障害者福祉の充実	7.4	45.6	29.0	18.0
⑪ 児童福祉の充実	1.8	37.3	39.6	21.2
⑫ 社会保障制度の充実	4.1	36.4	41.5	18.0
⑬ 学校教育の充実	4.1	39.6	36.9	19.4
⑭ 青少年の健全育成	8.3	46.5	24.9	20.3
⑮ 生涯学習の推進	12.0	53.5	13.4	21.2
⑯ 生涯スポーツの推進	14.7	53.5	12.9	18.9
⑰ 文化と芸術の振興	12.0	53.5	14.3	20.3
⑱ 土地利用の適正化	12.0	41.9	24.4	21.7
⑲ 道路交通網の整備	7.8	36.4	37.8	18.0
⑳ 新幹線開業に伴うまちづくり	13.4	41.0	27.6	18.0
㉑ 機能的なまちの整備と景観への配慮	9.7	42.9	29.5	18.0
㉒ 上水道事業の運営	2.8	33.6	43.3	20.3
㉓ 下水道事業の運営	2.8	35.9	41.0	20.3
㉔ 観光の振興	12.0	47.9	19.8	20.3
㉕ 農業の振興	7.8	41.0	30.4	20.7
㉖ 林業の振興	13.4	48.8	15.7	22.1
㉗ 水産業の振興	17.5	48.8	9.7	24.0
㉘ 工業の振興	9.2	45.2	21.2	24.4
㉙ 商業・サービス業の振興	7.8	39.6	32.3	20.3
㉚ 雇用環境の充実	6.9	46.1	26.3	20.7
㉛ 交流の推進	15.7	50.2	11.1	23.0
㉜ 市民主役のまちづくり	10.6	42.4	25.8	21.2
㉝ 情報化の推進	9.7	38.7	30.9	20.7
㉞ 人口減少対策	10.6	26.7	43.3	19.4
㉟ 持続可能な行財政の運営	7.8	37.3	33.6	21.2

■各施策の加重平均

※施策の満足度の選択肢については5点満点、重要度のそれぞれの選択肢については3点満点で点数化した値を用いて分析。

◎満足度＝（「満足」の回答者数×5点＋「やや満足」の回答者数×4点＋「普通」の回答者数×3点＋「やや不満」の回答者数×2点＋「不満」の回答者数×1点）

÷（「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の各回答者数の合計）

◎重要度＝（「重要度・高」の回答者数×3点＋「重要度・中」の回答者数×2点＋「重要度・低」の回答者数×1点）÷（「重要度・高」「重要度・中」「重要度・低」の各回答者数の合計）

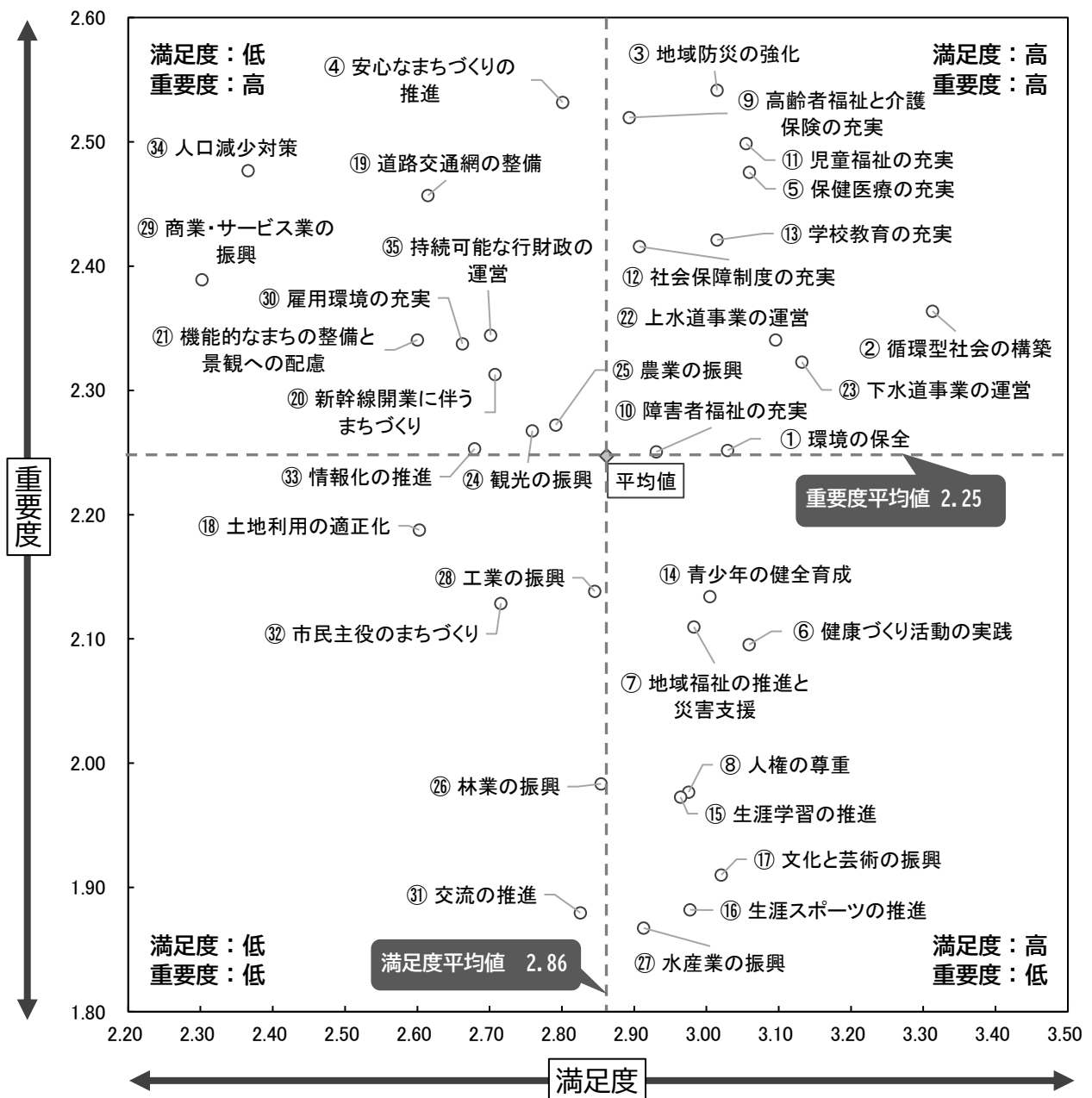
施 策	満足度	重要度	施 策	満足度	重要度
① 環境の保全	3.03	2.25	⑲ 道路交通網の整備	2.61	2.46
② 循環型社会の構築	3.31	2.36	⑳ 新幹線開業に伴うまちづくり	2.71	2.31
③ 地域防災の強化	3.01	2.54	㉑ 機能的なまちの整備と景観への配慮	2.60	2.34
④ 安心なまちづくりの推進	2.80	2.53	㉒ 上水道事業の運営	3.10	2.34
⑤ 保健医療の充実	3.06	2.48	㉓ 下水道事業の運営	3.13	2.32
⑥ 健康づくり活動の実践	3.06	2.10	㉔ 観光の振興	2.76	2.27
⑦ 地域福祉の推進と災害支援	2.98	2.11	㉕ 農業の振興	2.79	2.27
⑧ 人権の尊重	2.98	1.98	㉖ 林業の振興	2.85	1.98
⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実	2.89	2.52	㉗ 水産業の振興	2.91	1.87
⑩ 障害者福祉の充実	2.93	2.25	㉘ 工業の振興	2.85	2.14
⑪ 児童福祉の充実	3.05	2.50	㉙ 商業・サービス業の振興	2.30	2.39
⑫ 社会保障制度の充実	2.91	2.42	㉚ 雇用環境の充実	2.66	2.34
⑬ 学校教育の充実	3.01	2.42	㉛ 交流の推進	2.83	1.88
⑭ 青少年の健全育成	3.00	2.13	㉜ 市民主役のまちづくり	2.72	2.13
⑮ 生涯学習の推進	2.96	1.97	㉝ 情報化の推進	2.68	2.25
⑯ 生涯スポーツの推進	2.98	1.88	㉞ 人口減少対策	2.37	2.48
⑰ 文化と芸術の振興	3.02	1.91	㉟ 持続可能な行財政の運営	2.70	2.34
⑱ 土地利用の適正化	2.60	2.19	平均値	2.86	2.25

※太字は最も高い数値。

■満足度と優先度の相関

満足度が高く、重要度も高い施策では、〔③ 地域防災の強化〕〔⑤ 保健医療の充実〕〔⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実〕〔⑪ 児童福祉の充実〕などの項目が挙がっています。

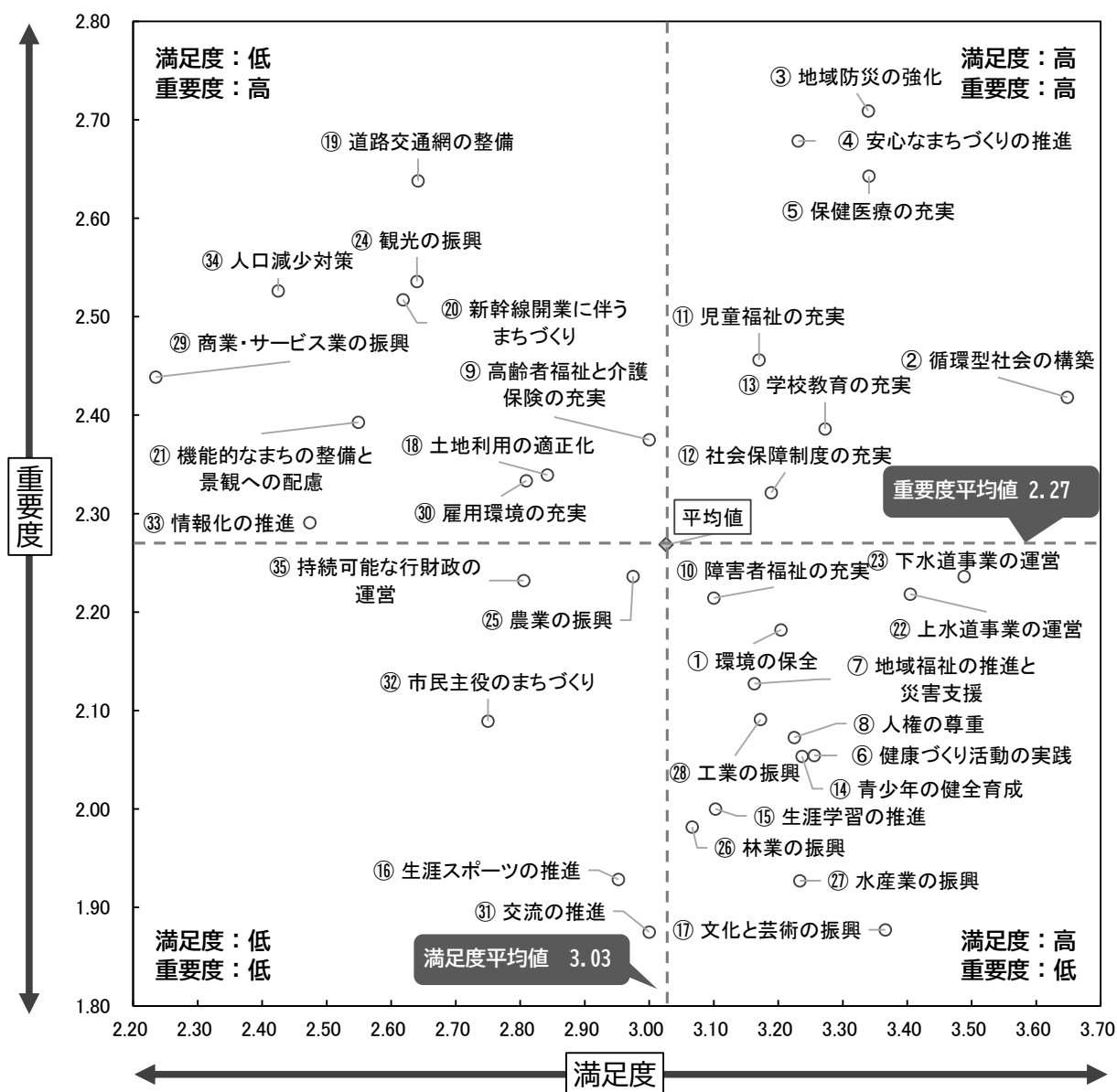
一方、満足度が低く、重要度が高い施策では、〔④ 安心なまちづくりの推進〕〔⑬ 学校教育の充実〕〔⑲ 道路交通網の整備〕〔⑳ 商業・サービス業の振興〕〔㉓ 人口減少対策〕などの項目が挙がっています。



●クロス集計【年代別 18～29 歳】

〔18～29 歳〕の満足度が高く、重要度も高い施策では、〔③ 地域防災の強化〕〔④ 安心なまちづくりの推進〕〔⑤ 保健医療の充実〕などの項目が挙がっています。

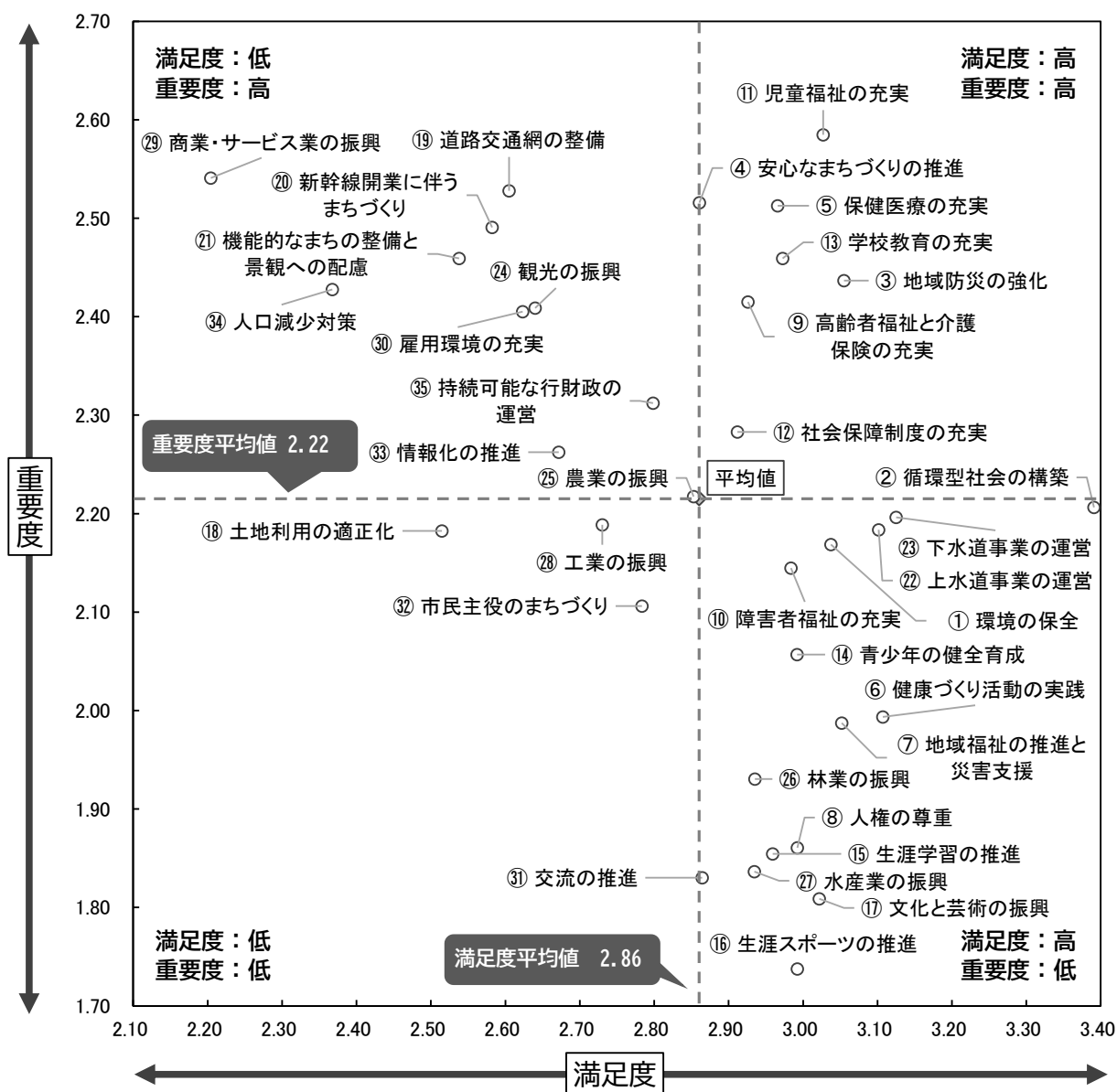
一方、満足度が低く、重要度が高い施策では、〔⑬ 道路交通網の整備〕〔⑭ 観光の振興〕〔⑮ 人口減少対策〕などの項目が挙がっています。



●クロス集計【年代別 30～40 歳代】

〔30～40 歳代〕の満足度が高く、重要度も高い施策では、〔5〕保健医療の充実〔11〕児童福祉の充実などの項目が挙がっています。

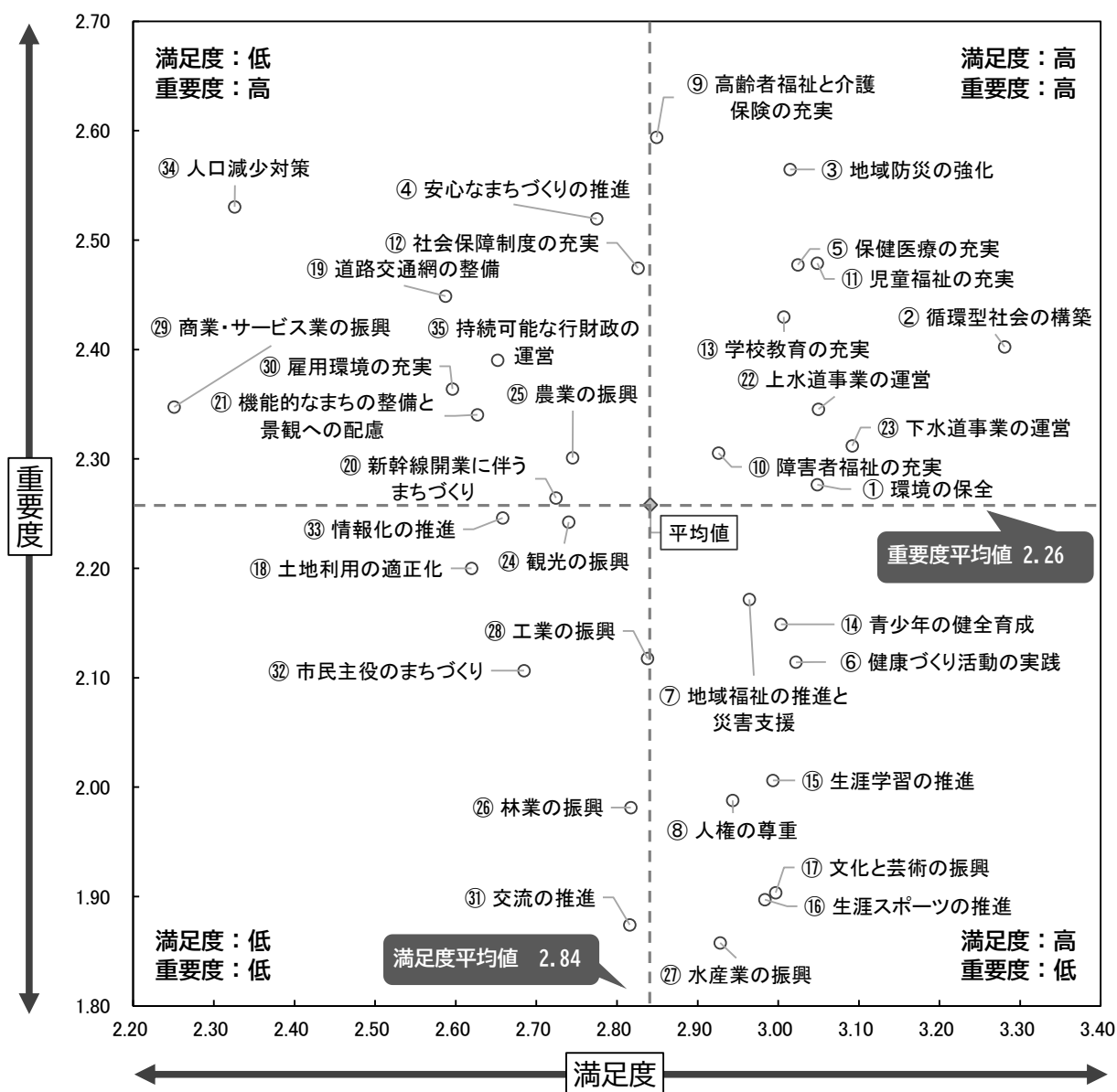
一方、満足度が低く、重要度が高い施策では、〔19〕道路交通網の整備〔29〕商業・サービス業の振興などの項目が挙がっています。



●クロス集計【年代別 50～60 歳代】

〔50～60 歳代〕の満足度が高く、重要度も高い施策では、〔③ 地域防災の強化〕〔⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実〕などの項目が挙がっています。

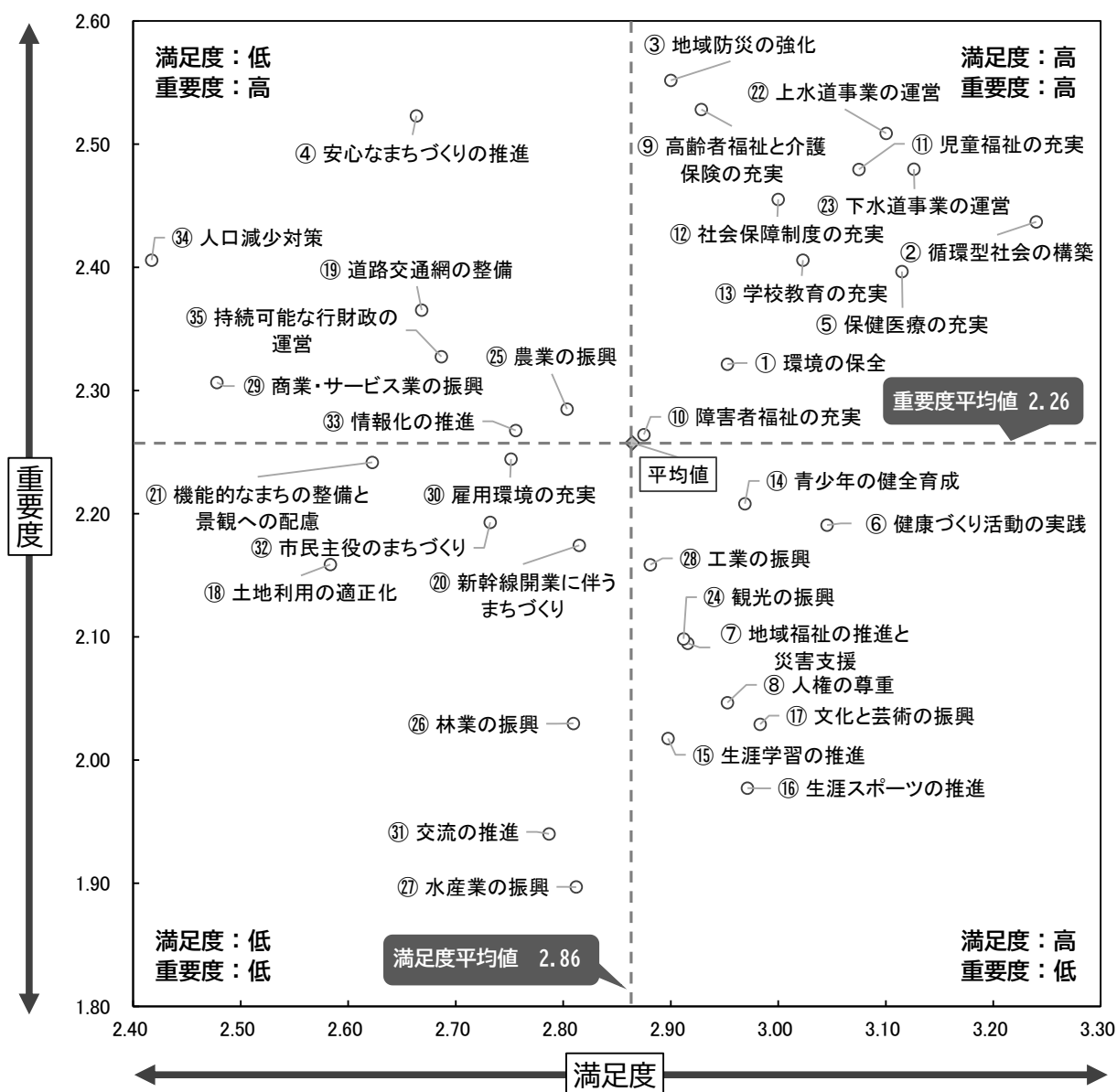
一方、満足度が低く、重要度が高い施策では、〔④ 安心なまちづくりの推進〕〔③④ 人口減少対策〕などの項目が挙がっています。



●クロス集計【年代別 70 歳以上】

〔70 歳以上〕の満足度が高く、重要度も高い施策では、〔③ 地域防災の強化〕〔⑨ 高齢者福祉と介護保険の充実〕などの項目が挙がっています。

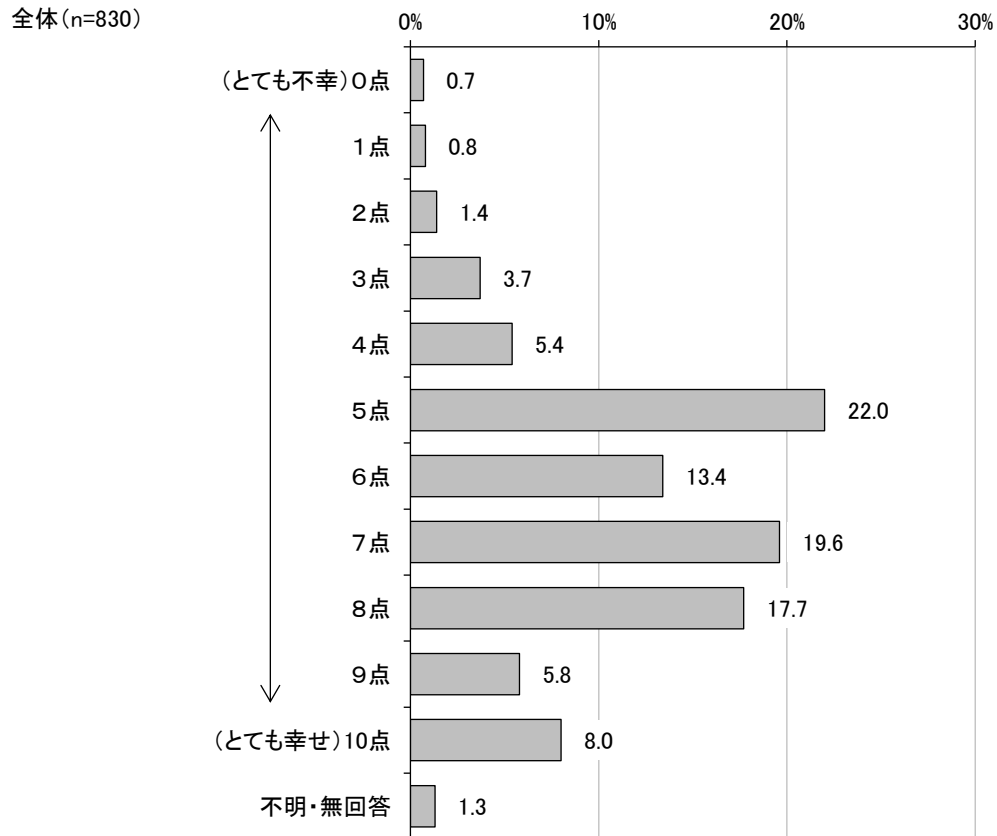
一方、満足度が低く、重要度が高い施策では、〔④ 安心なまちづくりの推進〕〔③④ 人口減少対策〕などの項目が挙がっています。



問 13 現在、あなたはどれくらい幸せですか。また、あなたの想像では、5年後どの程度幸せになっていると思いますか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご回答ください。
(それぞれひとつだけ選択)

■現在

「5点」が22.0%と最も高く、次いで「7点」が19.6%、「8点」が17.7%となっています。



●クロス集計

性別にみると、男女ともに「5点」が最も高くなっています。

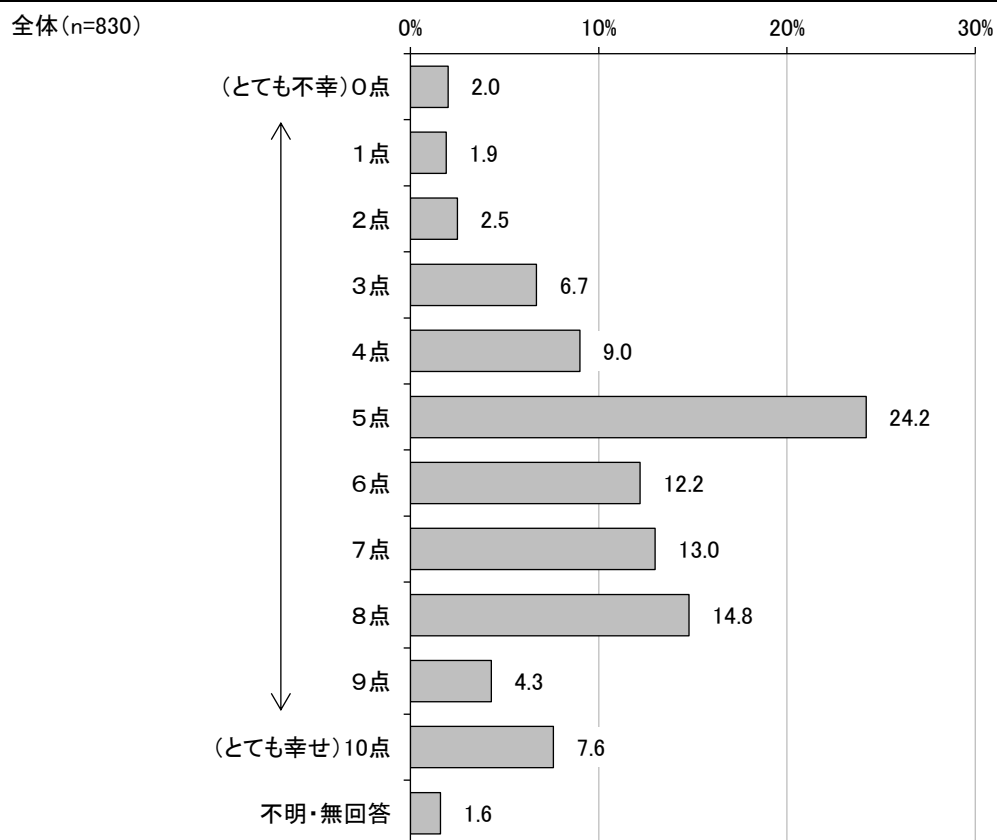
年代別にみると、〔30～40歳代〕では「7点」、その他の区分では「5点」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔温泉地区〕〔新郷地区〕〔坪江地区〕では「8点」、〔本荘地区〕〔金津地区〕では「7点」、〔吉崎地区〕では「5点」「7点」「10点」、その他の区分では「5点」が最も高くなっています。

単位：%		0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	不明・無回答
全体(n=830)		0.7	0.8	1.4	3.7	5.4	22.0	13.4	19.6	17.7	5.8	8.0	1.3
性別	男性(n=361)	1.4	0.3	1.9	3.0	6.1	25.2	13.9	19.9	16.9	3.3	6.9	1.1
	女性(n=447)	0.2	1.3	1.1	4.3	4.3	19.7	12.8	19.2	19.0	7.8	8.9	1.3
年代別	18～29歳(n=61)	1.6	0.0	0.0	4.9	8.2	27.9	3.3	23.0	18.0	4.9	8.2	0.0
	30～40歳代(n=167)	1.8	0.6	3.6	6.0	6.6	18.0	13.8	22.2	15.6	2.4	9.0	0.6
	50～60歳代(n=369)	0.3	0.5	0.8	3.3	4.6	24.4	12.7	18.7	20.1	7.3	6.5	0.8
	70歳以上(n=217)	0.5	1.8	1.4	2.8	4.6	21.2	15.7	17.1	16.1	6.0	10.1	2.8
地区別	温泉地区(n=91)	2.2	0.0	2.2	1.1	3.3	18.7	13.2	23.1	25.3	7.7	2.2	1.1
	山方・里方地区(n=70)	0.0	2.9	1.4	1.4	7.1	27.1	12.9	17.1	14.3	2.9	8.6	4.3
	本荘地区(n=66)	1.5	0.0	1.5	4.5	4.5	22.7	7.6	27.3	10.6	7.6	10.6	1.5
	新郷地区(n=26)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.2	19.2	19.2	26.9	3.8	11.5	0.0
	北潟地区(n=31)	3.2	0.0	3.2	9.7	0.0	29.0	12.9	19.4	3.2	3.2	16.1	0.0
	波松地区(n=16)	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	31.3	25.0	18.8	0.0	0.0	18.8	0.0
	金津地区(n=286)	0.7	1.0	1.4	4.9	5.2	20.3	12.2	21.0	20.3	4.5	7.3	1.0
	伊井地区(n=57)	0.0	0.0	1.8	3.5	1.8	21.1	17.5	17.5	15.8	12.3	8.8	0.0
	坪江地区(n=61)	0.0	0.0	0.0	1.6	13.1	24.6	18.0	8.2	27.9	3.3	3.3	0.0
	劔岳地区(n=24)	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	29.2	8.3	25.0	8.3	4.2	4.2	4.2
	細呂木地区(n=73)	0.0	2.7	0.0	6.8	6.8	23.3	13.7	13.7	12.3	8.2	11.0	1.4
	吉崎地区(n=12)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	8.3	25.0	8.3	8.3	25.0	0.0

■5年後

「5点」が24.2%と最も高く、次いで「8点」が14.8%、「7点」が13.0%となっています。



●クロス集計

性別にみると、男女ともに「5点」が最も高くなっています。

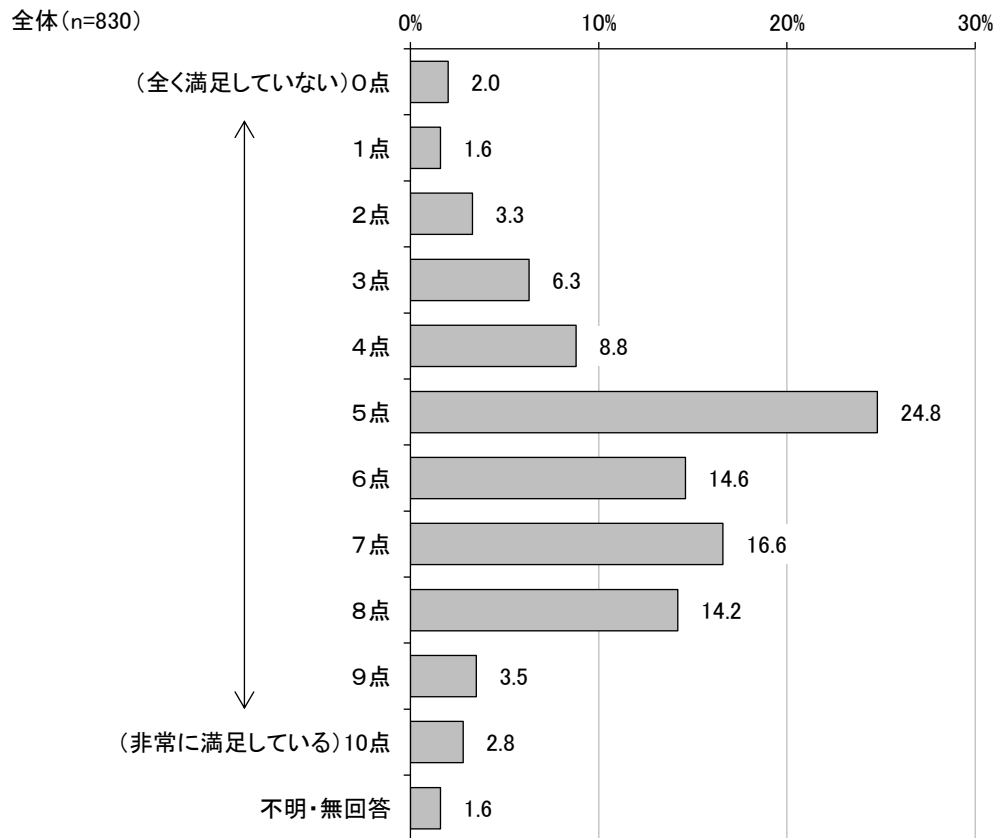
年代別にみると、〔30～40歳代〕では「8点」、その他の区分では「5点」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔山方・里方地区〕では「8点」、〔新郷地区〕では「7点」、〔北潟地区〕では「3点」、〔吉崎地区〕では「7点」「10点」、その他の区分では「5点」が最も高くなっています。

単位: %		0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	不明・無回答
全体(n=830)		2.0	1.9	2.5	6.7	9.0	24.2	12.2	13.0	14.8	4.3	7.6	1.6
性別	男性(n=361)	3.3	1.4	3.0	7.2	9.1	27.4	13.3	10.8	13.0	3.0	6.6	1.7
	女性(n=447)	0.9	2.5	2.0	6.3	8.5	22.1	11.2	15.0	16.3	5.4	8.5	1.3
年代別	18～29歳(n=61)	4.9	0.0	0.0	3.3	11.5	21.3	18.0	11.5	13.1	6.6	9.8	0.0
	30～40歳代(n=167)	6.0	2.4	1.2	7.8	8.4	19.2	8.4	10.8	21.0	3.6	10.8	0.6
	50～60歳代(n=369)	0.5	1.9	2.2	7.6	8.7	25.5	12.2	16.8	12.5	4.9	6.5	0.8
	70歳以上(n=217)	0.9	2.3	4.6	5.5	9.2	27.6	12.9	8.3	14.7	3.2	6.9	3.7
地区別	温泉地区(n=91)	4.4	1.1	3.3	6.6	7.7	23.1	11.0	16.5	16.5	4.4	4.4	1.1
	山方・里方地区(n=70)	0.0	5.7	1.4	10.0	12.9	15.7	5.7	15.7	17.1	4.3	7.1	4.3
	本荘地区(n=66)	4.5	0.0	3.0	4.5	6.1	31.8	12.1	10.6	12.1	4.5	9.1	1.5
	新郷地区(n=26)	0.0	0.0	0.0	3.8	11.5	19.2	11.5	23.1	15.4	3.8	11.5	0.0
	北潟地区(n=31)	9.7	0.0	0.0	22.6	6.5	16.1	19.4	3.2	9.7	0.0	12.9	0.0
	波松地区(n=16)	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	37.5	12.5	6.3	18.8	6.3	6.3	0.0
	金津地区(n=286)	1.4	2.4	2.8	5.6	9.4	23.8	14.7	10.8	16.1	4.5	7.0	1.4
	伊井地区(n=57)	1.8	3.5	1.8	3.5	5.3	21.1	17.5	15.8	14.0	5.3	8.8	1.8
	坪江地区(n=61)	1.6	0.0	3.3	6.6	13.1	29.5	11.5	18.0	11.5	0.0	4.9	0.0
	劔岳地区(n=24)	0.0	0.0	8.3	4.2	8.3	29.2	8.3	12.5	12.5	4.2	8.3	4.2
	細呂木地区(n=73)	1.4	1.4	0.0	9.6	11.0	28.8	4.1	11.0	16.4	5.5	9.6	1.4
	吉崎地区(n=12)	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	8.3	25.0	8.3	8.3	25.0	0.0

問 14 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどれくらい満足していますか。「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点として、ご回答ください。(ひとつだけ選択)

「5点」が24.8%と最も高く、次いで「7点」が16.6%、「6点」が14.6%となっています。



●クロス集計

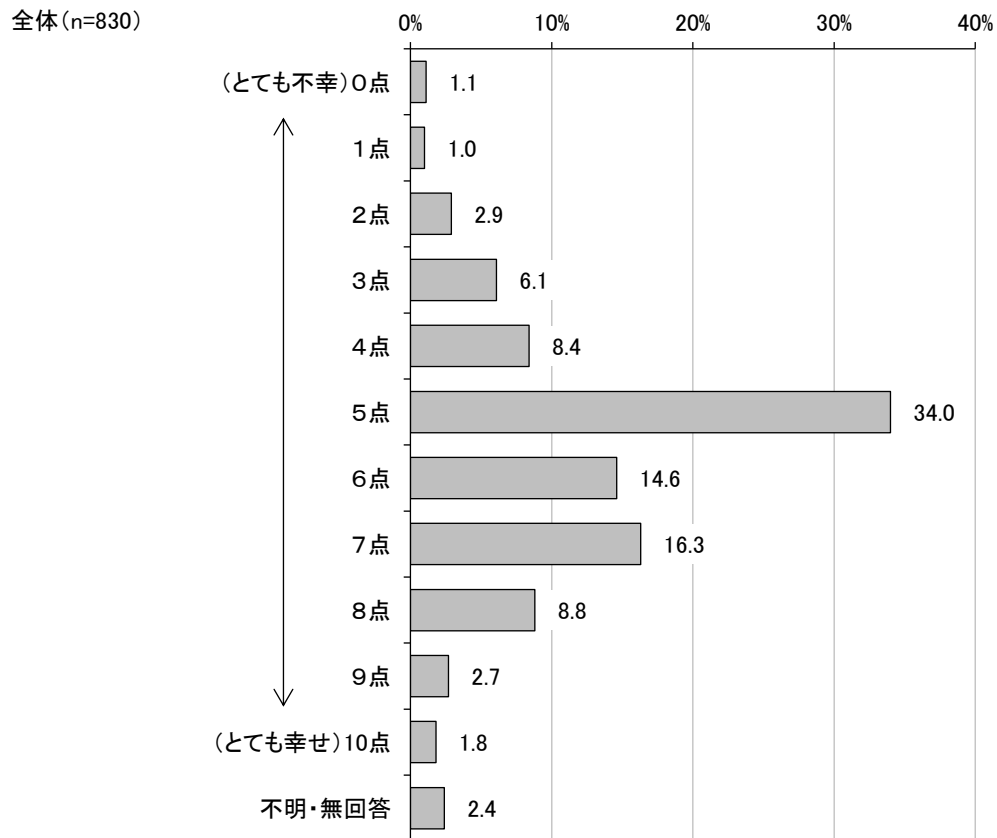
性別・年代別にみると、すべての区分で「5点」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔本荘地区〕では「7点」、〔吉崎地区〕では「6点」、その他の区分では「5点」が最も高くなっています。

単位：%		0点 (全く満足していない)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (非常に満足している)	不明・無回答
全体(n=830)		2.0	1.6	3.3	6.3	8.8	24.8	14.6	16.6	14.2	3.5	2.8	1.6
性別	男性(n=361)	2.5	1.7	3.9	6.4	11.6	25.2	15.0	14.1	12.2	2.2	3.3	1.9
	女性(n=447)	1.8	1.6	2.7	6.3	6.3	24.4	14.5	18.8	15.9	4.7	2.0	1.1
年代別	18～29歳(n=61)	1.6	1.6	0.0	8.2	6.6	34.4	16.4	13.1	6.6	8.2	3.3	0.0
	30～40歳代(n=167)	5.4	3.0	4.2	10.2	6.6	21.0	17.4	15.6	10.2	3.0	3.0	0.6
	50～60歳代(n=369)	0.8	1.4	3.8	3.8	11.4	24.7	12.7	19.5	15.2	3.3	2.2	1.4
	70歳以上(n=217)	1.8	0.9	2.3	6.9	6.9	25.8	15.7	12.9	17.5	3.2	3.2	2.8
地区別	温泉地区(n=91)	2.2	2.2	2.2	6.6	4.4	22.0	19.8	13.2	20.9	2.2	3.3	1.1
	山方・里方地区(n=70)	0.0	0.0	1.4	5.7	11.4	25.7	21.4	15.7	11.4	1.4	1.4	4.3
	本荘地区(n=66)	0.0	1.5	0.0	6.1	10.6	25.8	7.6	27.3	12.1	3.0	3.0	3.0
	新郷地区(n=26)	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	26.9	11.5	19.2	19.2	3.8	3.8	0.0
	北潟地区(n=31)	6.5	0.0	9.7	12.9	3.2	19.4	16.1	16.1	6.5	0.0	6.5	3.2
	波松地区(n=16)	0.0	0.0	12.5	12.5	6.3	25.0	6.3	18.8	6.3	6.3	6.3	0.0
	金津地区(n=286)	2.1	2.1	1.7	5.6	8.0	24.8	14.0	17.8	14.7	5.9	2.1	1.0
	伊井地区(n=57)	1.8	0.0	1.8	3.5	10.5	24.6	12.3	22.8	19.3	1.8	1.8	0.0
	坪江地区(n=61)	3.3	0.0	8.2	4.9	14.8	24.6	13.1	9.8	18.0	1.6	1.6	0.0
	劔岳地区(n=24)	0.0	0.0	12.5	12.5	20.8	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2
	細呂木地区(n=73)	2.7	5.5	4.1	5.5	4.1	30.1	16.4	13.7	9.6	1.4	5.5	1.4
	吉崎地区(n=12)	16.7	0.0	0.0	16.7	8.3	8.3	25.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0

問 15 あなたの町内(集落)の人々は、どれくらい幸せだと思いますか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご回答ください。(ひとつだけ選択)

「5点」が34.0%と最も高く、次いで「7点」が16.3%、「6点」が14.6%となっています。



●クロス集計

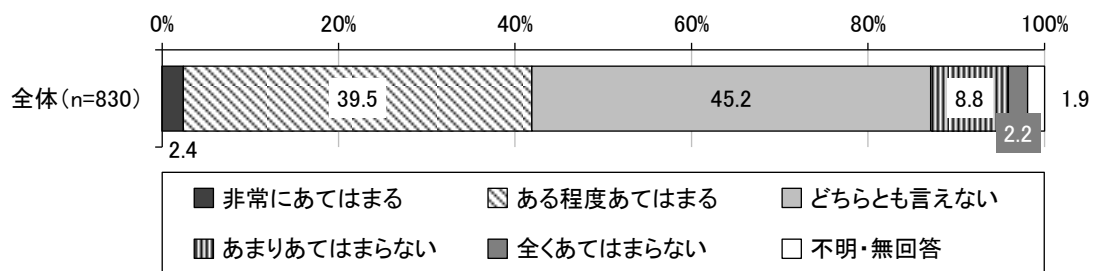
性別・年代別にみると、すべての区分で「5点」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔波松地区〕では「3点」「5点」、〔吉崎地区〕では「4点」「7点」、その他の区分では「5点」が最も高くなっています。

単位：%		0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	不明・無回答
全体(n=830)		1.1	1.0	2.9	6.1	8.4	34.0	14.6	16.3	8.8	2.7	1.8	2.4
性別	男性(n=361)	1.1	0.8	4.2	7.2	9.7	36.8	13.3	14.7	5.8	2.8	1.9	1.7
	女性(n=447)	1.1	1.1	1.8	5.4	7.2	31.3	15.7	17.9	11.6	2.7	1.3	2.9
年代別	18～29歳(n=61)	1.6	0.0	3.3	8.2	14.8	31.1	13.1	16.4	6.6	1.6	3.3	0.0
	30～40歳代(n=167)	1.8	2.4	4.2	8.4	9.6	27.5	15.0	13.8	12.0	2.4	2.4	0.6
	50～60歳代(n=369)	0.5	1.1	2.7	4.3	7.3	36.3	14.9	18.7	6.8	3.5	1.1	2.7
	70歳以上(n=217)	1.4	0.0	1.8	6.9	7.4	35.9	14.3	14.3	10.6	1.8	1.8	3.7
地区別	温泉地区(n=91)	1.1	1.1	3.3	9.9	5.5	25.3	22.0	13.2	16.5	0.0	0.0	2.2
	山方・里方地区(n=70)	0.0	0.0	1.4	10.0	8.6	38.6	10.0	18.6	10.0	0.0	0.0	2.9
	本荘地区(n=66)	0.0	1.5	1.5	4.5	6.1	39.4	10.6	19.7	6.1	4.5	1.5	4.5
	新郷地区(n=26)	0.0	0.0	0.0	3.8	11.5	30.8	15.4	19.2	11.5	3.8	3.8	0.0
	北潟地区(n=31)	3.2	0.0	6.5	6.5	3.2	41.9	6.5	22.6	3.2	6.5	0.0	0.0
	波松地区(n=16)	0.0	0.0	6.3	18.8	6.3	18.8	6.3	12.5	12.5	0.0	12.5	6.3
	金津地区(n=286)	1.0	1.0	1.0	5.2	7.3	35.7	14.7	17.1	8.7	3.5	2.4	2.1
	伊井地区(n=57)	1.8	0.0	1.8	3.5	8.8	26.3	21.1	24.6	7.0	3.5	0.0	1.8
	坪江地区(n=61)	0.0	3.3	6.6	6.6	13.1	36.1	14.8	13.1	3.3	1.6	1.6	0.0
	劔岳地区(n=24)	4.2	0.0	8.3	4.2	16.7	50.0	4.2	0.0	8.3	0.0	0.0	4.2
	細呂木地区(n=73)	1.4	1.4	6.8	4.1	9.6	34.2	16.4	9.6	8.2	4.1	1.4	2.7
	吉崎地区(n=12)	8.3	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	8.3	25.0	16.7	0.0	8.3	8.3

問 16 自分だけでなく、身近なまわりの人も幸せな気持ちでいると思いますか。(ひとつだけ選択)

「どちらとも言えない」が45.2%と最も高く、次いで「ある程度あてはまる」が39.5%、「あまりあてはまらない」が8.8%となっています。



●クロス集計

性別にみると、男性では「どちらとも言えない」、女性では「ある程度あてはまる」が最も高くなっています。

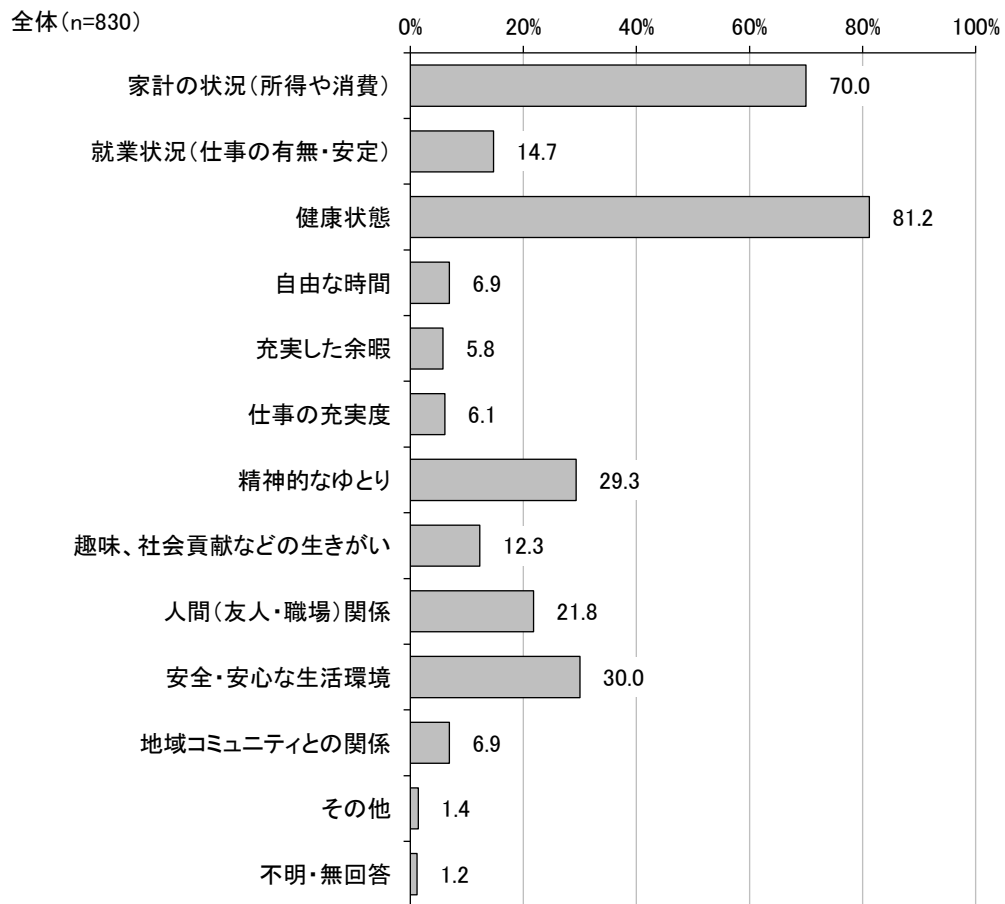
年代別にみると、〔18～29歳〕では「ある程度あてはまる」、その他の区分では「どちらとも言えない」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔温泉地区〕〔伊井地区〕〔細呂木地区〕〔吉崎地区〕では「ある程度あてはまる」、その他の区分では「どちらとも言えない」が最も高くなっています。

単位: %		非常にあてはまる	ある程度あてはまる	どちらとも言えない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	不明・無回答
全体 (n=830)		2.4	39.5	45.2	8.8	2.2	1.9
性別	男性 (n=361)	2.5	33.5	48.5	11.1	3.0	1.4
	女性 (n=447)	2.0	45.0	42.3	7.2	1.3	2.2
年代別	18～29歳 (n=61)	3.3	50.8	31.1	11.5	3.3	0.0
	30～40歳代 (n=167)	4.2	35.9	42.5	12.6	4.2	0.6
	50～60歳代 (n=369)	1.1	40.7	46.3	8.4	1.1	2.4
	70歳以上 (n=217)	2.8	36.9	49.8	6.5	1.8	2.3
地区別	温泉地区 (n=91)	1.1	52.7	27.5	14.3	2.2	2.2
	山方・里方地区 (n=70)	1.4	35.7	45.7	12.9	1.4	2.9
	本荘地区 (n=66)	1.5	34.8	48.5	10.6	0.0	4.5
	新郷地区 (n=26)	7.7	38.5	46.2	7.7	0.0	0.0
	北潟地区 (n=31)	3.2	29.0	48.4	12.9	6.5	0.0
	波松地区 (n=16)	6.3	25.0	50.0	12.5	6.3	0.0
	金津地区 (n=286)	2.4	36.0	52.1	5.9	1.4	2.1
	伊井地区 (n=57)	3.5	49.1	38.6	5.3	3.5	0.0
	坪江地区 (n=61)	3.3	39.3	41.0	14.8	1.6	0.0
	劔岳地区 (n=24)	4.2	33.3	58.3	4.2	0.0	0.0
	細呂木地区 (n=73)	0.0	45.2	39.7	8.2	4.1	2.7
	吉崎地区 (n=12)	0.0	50.0	41.7	0.0	8.3	0.0

問 17 幸せであるために重要だと思うことは何ですか。(選択は3つまで)

「健康状態」が81.2%と最も高く、次いで「家計の状況（所得や消費）」が70.0%、「安全・安心な生活環境」が30.0%となっています。



●クロス集計

性別にみると、男女ともに「健康状態」が最も高くなっています。

年代別にみると、〔18～29 歳〕〔30～40 歳代〕では「家計の状況（所得や消費）」、〔50～60 歳代〕〔70 歳以上〕では「健康状態」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔劔岳地区〕では「家計の状況（所得や消費）」、その他の区分では「健康状態」が最も高くなっています。

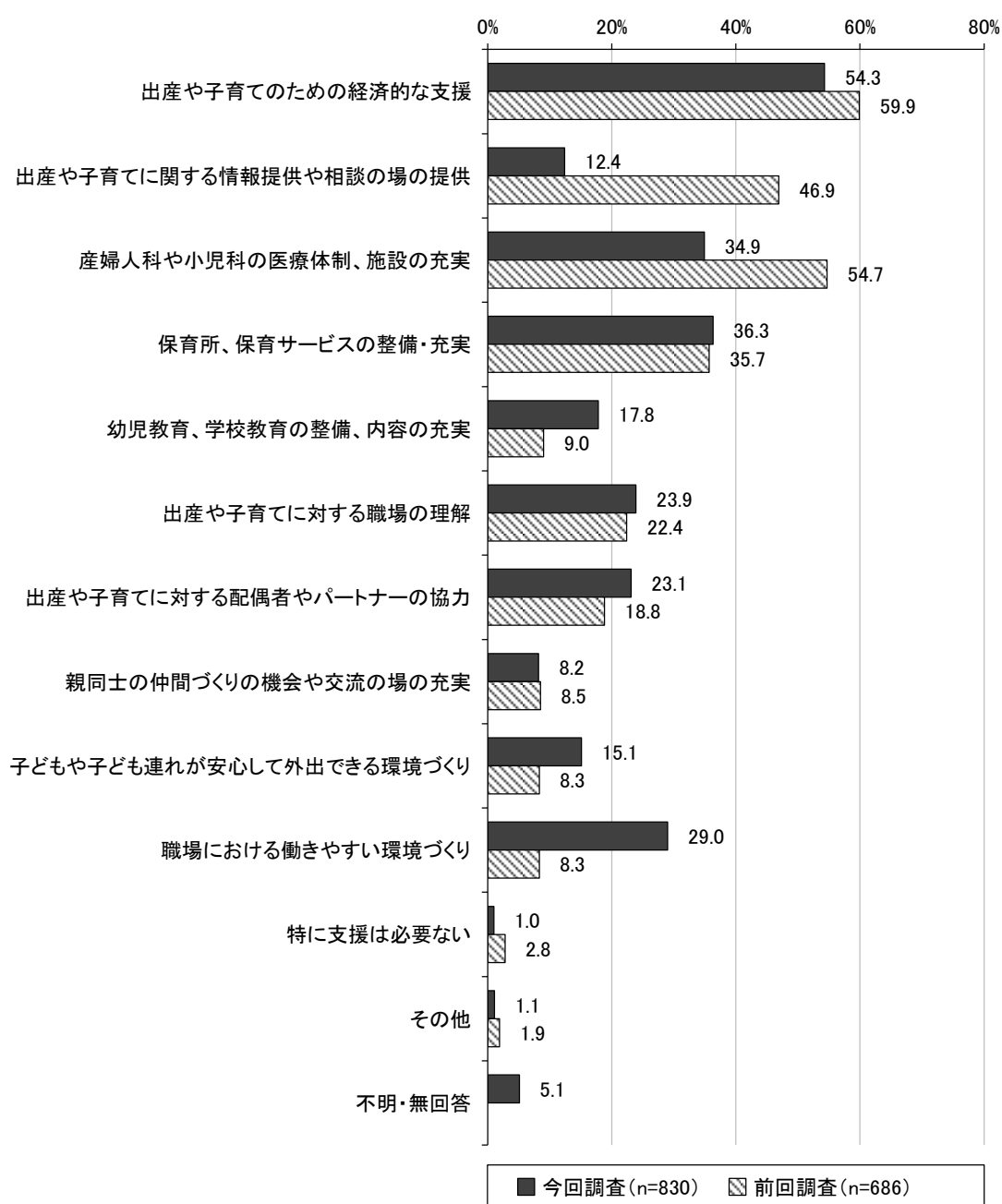
単位：%		家計の状況（所得や消費）	就業状況（仕事の有無・安定）	健康状態	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり	趣味、社会貢献などの生きがい	人間関係（友人・職場）	安全・安心な生活環境	地域コミュニティとの関係	その他	不明・無回答
全体 (n=830)		70.0	14.7	81.2	6.9	5.8	6.1	29.3	12.3	21.8	30.0	6.9	1.4	1.2
性別	男性 (n=361)	67.3	15.5	78.1	9.1	6.9	6.6	24.4	15.5	21.6	27.7	10.0	1.9	1.1
	女性 (n=447)	72.0	14.1	83.7	5.1	4.9	5.8	33.3	9.6	22.8	31.5	4.3	1.1	1.1
年代別	18～29歳 (n=61)	77.0	21.3	63.9	19.7	8.2	6.6	31.1	16.4	36.1	9.8	3.3	3.3	0.0
	30～40歳代 (n=167)	81.4	20.4	73.7	7.2	10.8	5.4	37.1	7.2	21.6	21.6	3.6	1.8	0.6
	50～60歳代 (n=369)	71.5	15.4	84.3	6.0	4.3	7.6	29.0	11.7	22.0	28.2	7.0	0.3	0.8
	70歳以上 (n=217)	56.7	6.5	86.6	4.1	3.7	4.6	24.0	16.1	19.4	44.2	9.7	2.8	2.3
地区別	温泉地区 (n=91)	72.5	15.4	75.8	13.2	4.4	11.0	27.5	8.8	23.1	26.4	4.4	3.3	1.1
	山方・里方地区 (n=70)	75.7	15.7	91.4	2.9	8.6	1.4	20.0	12.9	17.1	34.3	2.9	1.4	4.3
	本荘地区 (n=66)	57.6	21.2	80.3	1.5	1.5	9.1	39.4	15.2	21.2	27.3	10.6	0.0	1.5
	新郷地区 (n=26)	73.1	7.7	80.8	23.1	7.7	3.8	23.1	3.8	23.1	30.8	7.7	0.0	0.0
	北潟地区 (n=31)	58.1	16.1	67.7	9.7	3.2	9.7	32.3	16.1	19.4	29.0	12.9	6.5	0.0
	波松地区 (n=16)	68.8	0.0	93.8	0.0	6.3	12.5	31.3	6.3	37.5	25.0	0.0	12.5	0.0
	金津地区 (n=286)	69.9	12.9	80.4	7.0	7.0	6.3	31.1	11.9	23.1	29.0	6.3	0.7	1.4
	伊井地区 (n=57)	70.2	15.8	87.7	10.5	3.5	1.8	29.8	14.0	24.6	24.6	8.8	0.0	0.0
	坪江地区 (n=61)	77.0	14.8	83.6	1.6	1.6	1.6	19.7	11.5	27.9	37.7	6.6	1.6	0.0
	劔岳地区 (n=24)	75.0	12.5	70.8	0.0	12.5	12.5	33.3	8.3	33.3	29.2	8.3	0.0	0.0
	細呂木地区 (n=73)	67.1	16.4	80.8	5.5	8.2	5.5	34.2	19.2	11.0	35.6	5.5	1.4	0.0
	吉崎地区 (n=12)	83.3	16.7	91.7	8.3	0.0	8.3	16.7	0.0	16.7	25.0	25.0	0.0	0.0

3 子育てしやすいまちづくりについて

問 18 あなたは、安心して出産、子育てをするためには、どのような支援が必要だと思いますか。
(選択は3つまで)

「出産や子育てのための経済的な支援」が 54.3%と最も高く、次いで「保育所、保育サービスの整備・充実」が 36.3%、「産婦人科や小児科の医療体制、施設の充実」が 34.9%となっています。

前回調査と比較すると、「職場における働きやすい環境づくり」が 20.7 ポイント、「幼児教育、学校教育の整備、内容の充実」が 8.8 ポイント、「子どもや子ども連れが安心して外出できる環境づくり」が 6.8 ポイント高く、「出産や子育てに関する情報提供や相談の場の提供」が 34.5 ポイント、「産婦人科や小児科の医療体制、施設の充実」が 19.8 ポイント、「出産や子育てのための経済的な支援」が 5.6 ポイント低くなっています。



※前回調査報告書において「不明・無回答」は記載がないため、省略しています。

●クロス集計

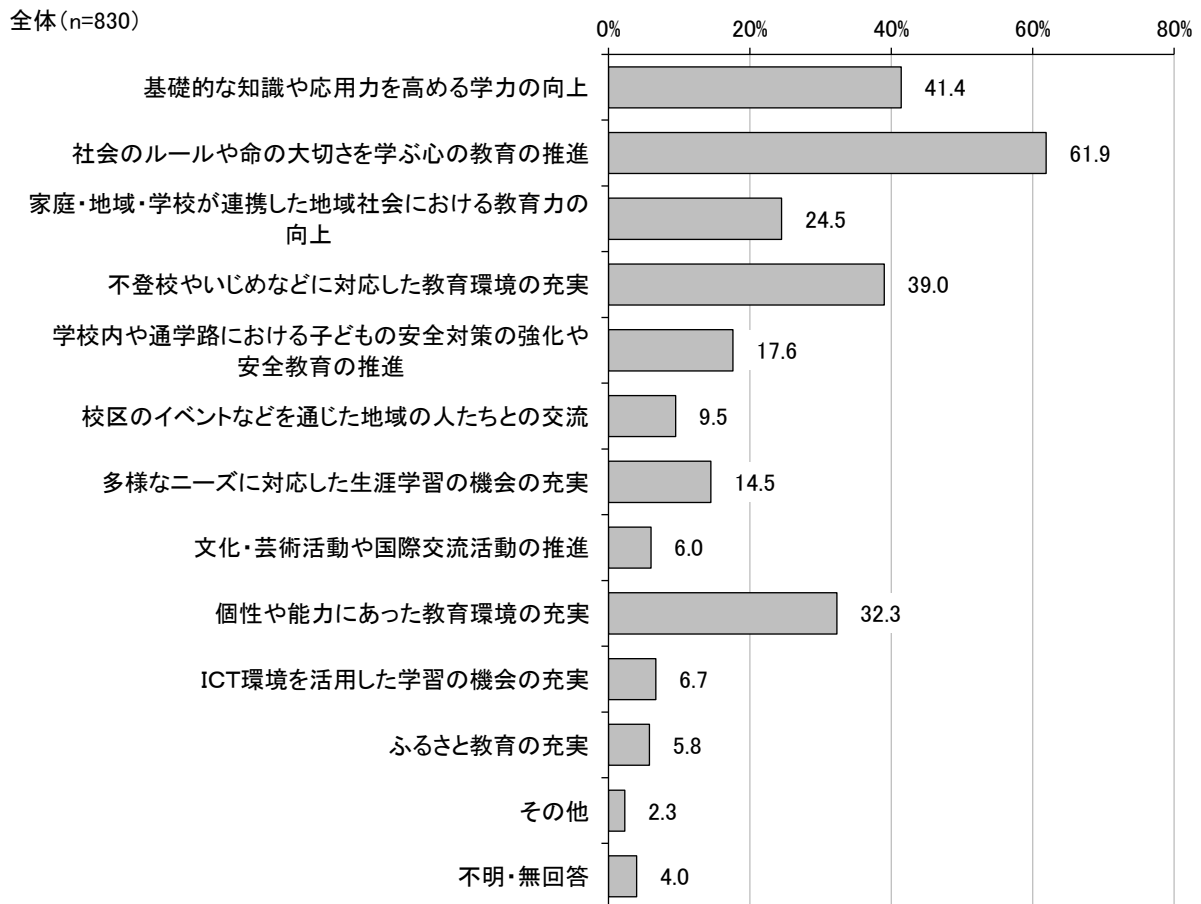
性別・年代別にみると、すべての区分で「出産や子育てのための経済的な支援」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔吉崎地区〕では「保育所、保育サービスの整備・充実」、その他の区分では「出産や子育てのための経済的な支援」が最も高くなっています。

単位：％		経済的な支援	情報提供や相談の場	医療体制、施設の実	産婦人科や小児科の充実	の保育所・保育サービスの整備・充実	幼児教育、学校教育の整備・充実	職場の理解	出産や子育てに対する協力	配偶者やパートナーに対する協力	親会や交流の場の充実	環境づくり	子どもや子ども連れの外出できる環境づくり	職場における働きやすい環境づくり	特に支援は必要ない	その他	不明・無回答
全体 (n=830)		54.3	12.4	34.9	36.3	17.8	23.9	23.1	8.2	15.1	29.0	1.0	1.1	5.1			
性別	男性 (n=361)	61.5	11.4	31.9	40.2	20.2	21.9	17.7	7.8	16.3	24.9	0.6	0.6	5.3			
	女性 (n=447)	49.7	13.4	37.4	33.8	16.1	26.0	27.1	8.5	14.1	32.0	0.9	1.6	4.7			
年代別	18～29歳 (n=61)	73.8	14.8	37.7	31.1	13.1	24.6	23.0	11.5	14.8	29.5	1.6	0.0	0.0			
	30～40歳代 (n=167)	67.1	10.8	44.3	36.5	16.8	23.4	24.0	5.4	21.6	29.9	0.6	0.6	0.0			
	50～60歳代 (n=369)	50.9	13.0	36.9	37.9	17.3	24.4	22.8	8.7	13.3	30.4	1.1	1.6	4.3			
	70歳以上 (n=217)	45.6	12.0	24.0	35.5	19.8	24.0	22.6	8.8	13.4	25.8	0.9	0.9	11.1			
地区別	温泉地区 (n=91)	59.3	16.5	33.0	40.7	20.9	28.6	17.6	7.7	17.6	28.6	0.0	2.2	5.5			
	山方・里方地区 (n=70)	55.7	17.1	32.9	42.9	24.3	21.4	24.3	7.1	18.6	27.1	0.0	0.0	4.3			
	本荘地区 (n=66)	56.1	6.1	47.0	39.4	15.2	33.3	13.6	3.0	12.1	24.2	1.5	0.0	4.5			
	新郷地区 (n=26)	53.8	7.7	34.6	26.9	11.5	23.1	19.2	11.5	23.1	34.6	0.0	0.0	7.7			
	北潟地区 (n=31)	51.6	6.5	25.8	32.3	12.9	25.8	19.4	9.7	19.4	29.0	0.0	3.2	6.5			
	波松地区 (n=16)	62.5	6.3	37.5	37.5	31.3	12.5	12.5	6.3	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0			
	金津地区 (n=286)	54.9	12.6	35.0	32.9	15.0	24.1	24.5	8.0	15.7	31.1	1.0	2.1	4.5			
	伊井地区 (n=57)	50.9	14.0	43.9	36.8	19.3	15.8	29.8	8.8	12.3	24.6	0.0	0.0	5.3			
	坪江地区 (n=61)	54.1	11.5	27.9	37.7	19.7	23.0	18.0	9.8	9.8	39.3	3.3	0.0	4.9			
	劔岳地区 (n=24)	70.8	16.7	12.5	41.7	4.2	20.8	45.8	8.3	8.3	25.0	0.0	0.0	8.3			
	細呂木地区 (n=73)	47.9	13.7	39.7	37.0	21.9	21.9	24.7	12.3	11.0	24.7	2.7	0.0	4.1			
	吉崎地区 (n=12)	41.7	0.0	41.7	58.3	25.0	25.0	25.0	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3			

問 19 あなたは、教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(選択は3つまで)

「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が61.9%と最も高く、次いで「基礎的な知識や応用力を高める学力の向上」が41.4%、「不登校やいじめなどに対応した教育環境の充実」が39.0%となっています。



●クロス集計

性別・年代別・地区別にみると、すべての区分で「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が最も高くなっています。

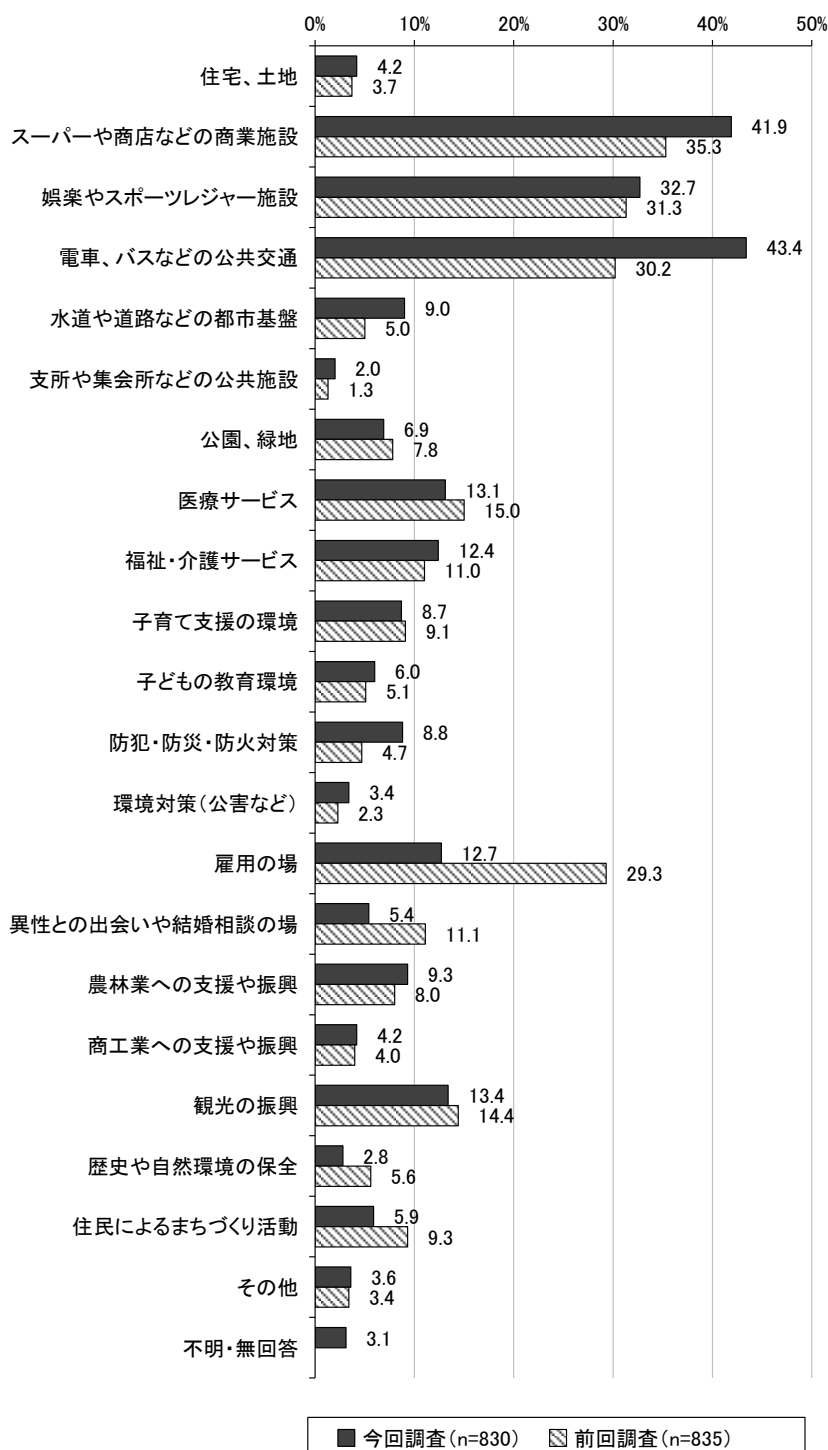
単位: %		基礎的な知識や応用力を高める学力の向上	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	地域・学校が連携した教育の充実	家庭・地域・学校が連携した教育の充実	不登校やいじめなどに対応した教育環境の充実	学校の安全対策の強化や安全教	地域のイベントなどを通じた交流	学校のイベントなどを通じた交流	多様なニーズに対応した生涯学習の充実	文化・芸術活動や国際交流活動の推進	個性や能力にあった教育環境の充実	ICT環境を活用した学習の機会	ふるさと教育の充実	その他	不明・無回答
全体 (n=830)		41.4	61.9	24.5	39.0	17.6	9.5	14.5	6.0	32.3	6.7	5.8	2.3	4.0		
性別	男性 (n=361)	43.2	58.4	22.2	42.4	16.9	11.6	13.9	6.1	31.0	8.0	6.1	3.0	3.0		
	女性 (n=447)	40.5	64.9	26.2	37.4	17.2	7.8	15.4	5.6	33.6	5.8	5.8	1.3	4.7		
年代別	18～29歳 (n=61)	45.9	55.7	24.6	50.8	11.5	9.8	16.4	3.3	32.8	9.8	3.3	4.9	0.0		
	30～40歳代 (n=167)	47.9	63.5	21.0	37.1	21.0	4.8	17.4	8.4	42.5	8.4	6.6	3.0	0.0		
	50～60歳代 (n=369)	42.3	65.3	23.8	38.8	17.3	10.6	13.3	6.2	30.1	6.8	5.4	1.6	4.3		
	70歳以上 (n=217)	33.6	57.1	27.6	39.6	16.6	11.1	14.3	3.2	29.5	4.6	6.9	1.8	7.4		
地区別	温泉地区 (n=91)	44.0	63.7	26.4	41.8	14.3	9.9	17.6	8.8	33.0	4.4	3.3	4.4	2.2		
	山方・里方地区 (n=70)	47.1	61.4	22.9	37.1	30.0	15.7	11.4	1.4	35.7	5.7	5.7	0.0	4.3		
	本荘地区 (n=66)	40.9	62.1	16.7	42.4	12.1	13.6	21.2	6.1	36.4	10.6	7.6	0.0	3.0		
	新郷地区 (n=26)	38.5	69.2	19.2	46.2	11.5	7.7	15.4	0.0	26.9	3.8	7.7	3.8	3.8		
	北潟地区 (n=31)	35.5	61.3	29.0	29.0	16.1	12.9	6.5	0.0	35.5	0.0	3.2	3.2	9.7		
	波松地区 (n=16)	50.0	62.5	25.0	25.0	0.0	18.8	12.5	6.3	31.3	6.3	0.0	6.3	0.0		
	金津地区 (n=286)	42.7	58.7	28.0	44.1	17.8	6.3	16.1	7.0	32.5	8.4	6.3	2.4	2.4		
	伊井地区 (n=57)	29.8	61.4	26.3	36.8	17.5	14.0	10.5	3.5	38.6	1.8	7.0	0.0	5.3		
	坪江地区 (n=61)	41.0	70.5	23.0	31.1	14.8	6.6	14.8	4.9	27.9	9.8	9.8	1.6	6.6		
	剣岳地区 (n=24)	37.5	70.8	16.7	37.5	12.5	4.2	12.5	0.0	37.5	16.7	0.0	0.0	8.3		
	細呂木地区 (n=73)	42.5	60.3	19.2	34.2	20.5	6.8	13.7	8.2	28.8	4.1	5.5	2.7	5.5		
	吉崎地区 (n=12)	50.0	58.3	8.3	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	8.3	8.3	8.3		

4 あわら市ならではのまちづくりについて

問 20 あわら市のまちづくりに関して、不足していると感じるものはありますか。(選択は3つまで)

「電車、バスなどの公共交通」が 43.4%と最も高く、次いで「スーパーや商店などの商業施設」が 41.9%、「娯楽やスポーツレジャー施設」が 32.7%となっています。

前回調査と比較すると、「電車、バスなどの公共交通」が 13.2 ポイント、「スーパーや商店などの商業施設」が 6.6 ポイント高く、「雇用の場」が 16.6 ポイント、「異性との出会いや結婚相談の場」が 5.7 ポイント低くなっています。



※前回調査報告書において「不明・無回答」は記載がないため、省略しています

●クロス集計

性別にみると、男性では「スーパーや商店などの商業施設」、女性では「電車、バスなどの公共交通」が最も高くなっています。

年代別にみると、〔18～29歳〕では「娯楽やスポーツレジャー施設」、〔30～40歳代〕では「スーパーや商店などの商業施設」、その他の区分では「電車、バスなどの公共交通」が最も高くなっています。

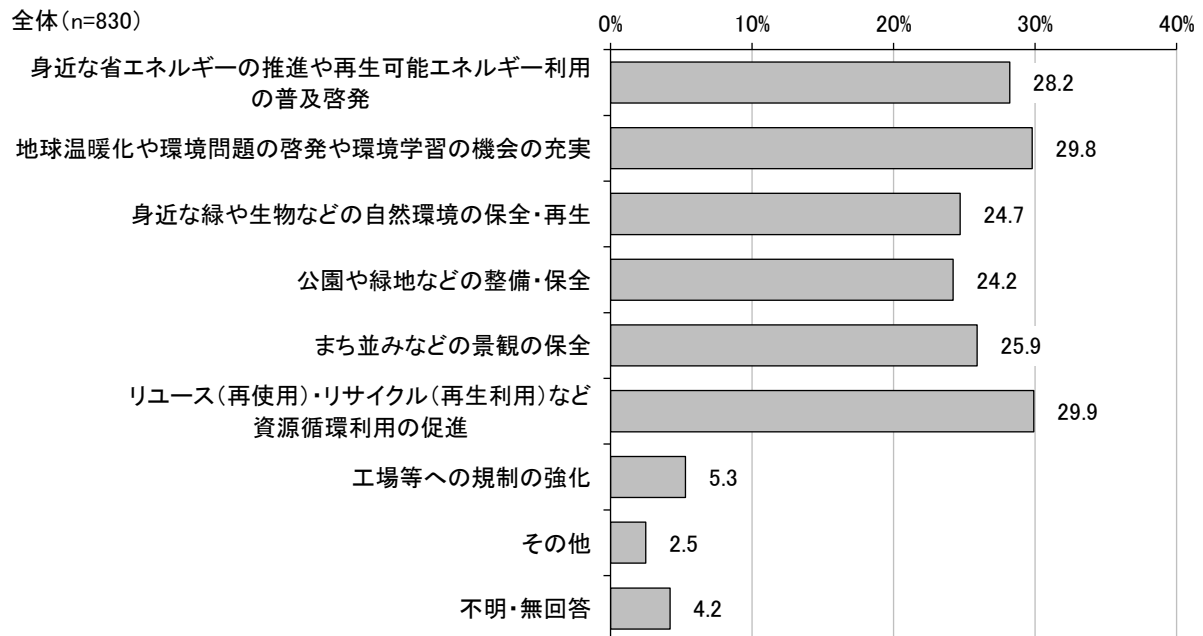
地区別にみると、〔本荘地区〕〔金津地区〕では「スーパーや商店などの商業施設」、その他の区分では「電車、バスなどの公共交通」が最も高くなっています。

単位：％		住宅、土地	商業施設 スーパーや商店などの	娯楽やスポーツ レジャー施設	電車、バスなどの公共 交通	基盤 水道や道路などの都市	支所や集会所などの 公共施設	公園、緑地	医療サービス	福祉・介護サービス	子育て支援の環境	子どもの教育環境	防犯・防災・防火対策
全体(n=830)		4.2	41.9	32.7	43.4	9.0	2.0	6.9	13.1	12.4	8.7	6.0	8.8
性別	男性(n=361)	4.2	43.5	33.0	37.1	11.1	2.5	7.5	14.1	11.9	11.1	5.3	9.4
	女性(n=447)	4.5	40.7	32.0	48.5	7.6	1.8	6.5	12.5	12.8	7.2	6.3	8.1
年代別	18～29歳(n=61)	3.3	50.8	65.6	45.9	3.3	3.3	8.2	9.8	6.6	9.8	4.9	3.3
	30～40歳代(n=167)	5.4	50.3	45.5	37.1	6.0	0.6	9.6	17.4	6.0	10.8	6.6	6.0
	50～60歳代(n=369)	5.1	43.4	28.7	45.0	10.8	1.1	5.7	13.3	14.9	7.9	4.6	9.2
	70歳以上(n=217)	1.8	31.8	19.4	45.2	10.1	4.6	6.5	11.1	15.7	8.8	7.8	11.5
地区別	温泉地区(n=91)	8.8	28.6	37.4	47.3	12.1	2.2	13.2	16.5	12.1	9.9	12.1	8.8
	山方・里方地区(n=70)	2.9	35.7	28.6	42.9	4.3	2.9	2.9	12.9	11.4	10.0	17.1	11.4
	本荘地区(n=66)	4.5	42.4	30.3	31.8	9.1	0.0	9.1	13.6	15.2	12.1	3.0	12.1
	新郷地区(n=26)	3.8	46.2	34.6	50.0	3.8	0.0	3.8	15.4	23.1	3.8	3.8	3.8
	北潟地区(n=31)	9.7	38.7	12.9	58.1	12.9	0.0	6.5	6.5	12.9	19.4	6.5	3.2
	波松地区(n=16)	6.3	25.0	6.3	50.0	18.8	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	18.8	6.3
	金津地区(n=286)	3.5	47.6	39.2	32.9	9.1	2.4	5.6	13.3	12.2	7.3	3.8	9.1
	伊井地区(n=57)	3.5	42.1	29.8	47.4	1.8	3.5	12.3	10.5	12.3	3.5	0.0	10.5
	坪江地区(n=61)	3.3	52.5	19.7	57.4	13.1	1.6	8.2	8.2	13.1	3.3	8.2	9.8
	鵜岳地区(n=24)	0.0	45.8	29.2	70.8	16.7	0.0	0.0	8.3	12.5	8.3	0.0	4.2
	細呂木地区(n=73)	2.7	38.4	35.6	53.4	11.0	1.4	5.5	20.5	12.3	12.3	1.4	6.8
	吉崎地区(n=12)	0.0	58.3	25.0	66.7	0.0	0.0	8.3	25.0	8.3	16.7	8.3	0.0

単位：％		環境対策 (公害など)	雇用の場	異性との 出会いや結婚	農林業への 支援や振興	商工業への 支援や振興	観光の振興	歴史や自然 環境の保全	住民による まちづくり	その他	不明・無回答
全体(n=830)		3.4	12.7	5.4	9.3	4.2	13.4	2.8	5.9	3.6	3.1
性別	男性(n=361)	5.0	12.7	6.6	11.9	4.2	13.3	3.9	7.2	4.7	1.9
	女性(n=447)	2.0	13.0	4.5	7.4	4.5	13.2	1.6	4.3	2.7	4.0
年代別	18～29歳(n=61)	3.3	3.3	8.2	4.9	3.3	24.6	0.0	3.3	3.3	0.0
	30～40歳代(n=167)	3.6	18.0	1.8	4.8	4.2	16.2	1.8	3.6	4.8	0.6
	50～60歳代(n=369)	4.1	13.3	4.3	10.8	4.3	13.8	2.4	4.1	3.3	3.5
	70歳以上(n=217)	1.8	10.6	9.2	11.5	4.6	6.5	4.1	10.1	3.2	5.1
地区別	温泉地区(n=91)	3.3	8.8	3.3	3.3	5.5	14.3	0.0	4.4	3.3	2.2
	山方・里方地区(n=70)	5.7	7.1	10.0	18.6	2.9	12.9	4.3	4.3	1.4	1.4
	本荘地区(n=66)	3.0	21.2	7.6	10.6	3.0	15.2	4.5	4.5	1.5	4.5
	新郷地区(n=26)	3.8	26.9	11.5	3.8	3.8	15.4	0.0	7.7	0.0	3.8
	北潟地区(n=31)	0.0	19.4	3.2	12.9	6.5	9.7	3.2	12.9	0.0	3.2
	波松地区(n=16)	6.3	18.8	0.0	31.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	金津地区(n=286)	2.8	12.6	4.2	4.9	6.6	12.9	3.1	7.0	6.3	2.4
	伊井地区(n=57)	1.8	12.3	5.3	15.8	1.8	12.3	1.8	5.3	7.0	5.3
	坪江地区(n=61)	8.2	13.1	3.3	18.0	3.3	11.5	1.6	3.3	0.0	1.6
	鵜岳地区(n=24)	0.0	12.5	4.2	16.7	0.0	12.5	4.2	4.2	0.0	8.3
	細呂木地区(n=73)	2.7	5.5	6.8	8.2	1.4	15.1	2.7	4.1	2.7	4.1
	吉崎地区(n=12)	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3

問 21 あなたは、環境をよくするためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(選択は2つまで)

「リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）など資源循環利用の促進」が 29.9%と最も高く、次いで「地球温暖化や環境問題の啓発や環境学習の機会の充実」が 29.8%、「身近な省エネルギーの推進や再生可能エネルギー利用の普及啓発」が 28.2%となっています。



●クロス集計

性別にみると、男性では「身近な緑や生物などの自然環境の保全・再生」、女性では「地球温暖化や環境問題の啓発や環境学習の機会の充実」が最も高くなっています。

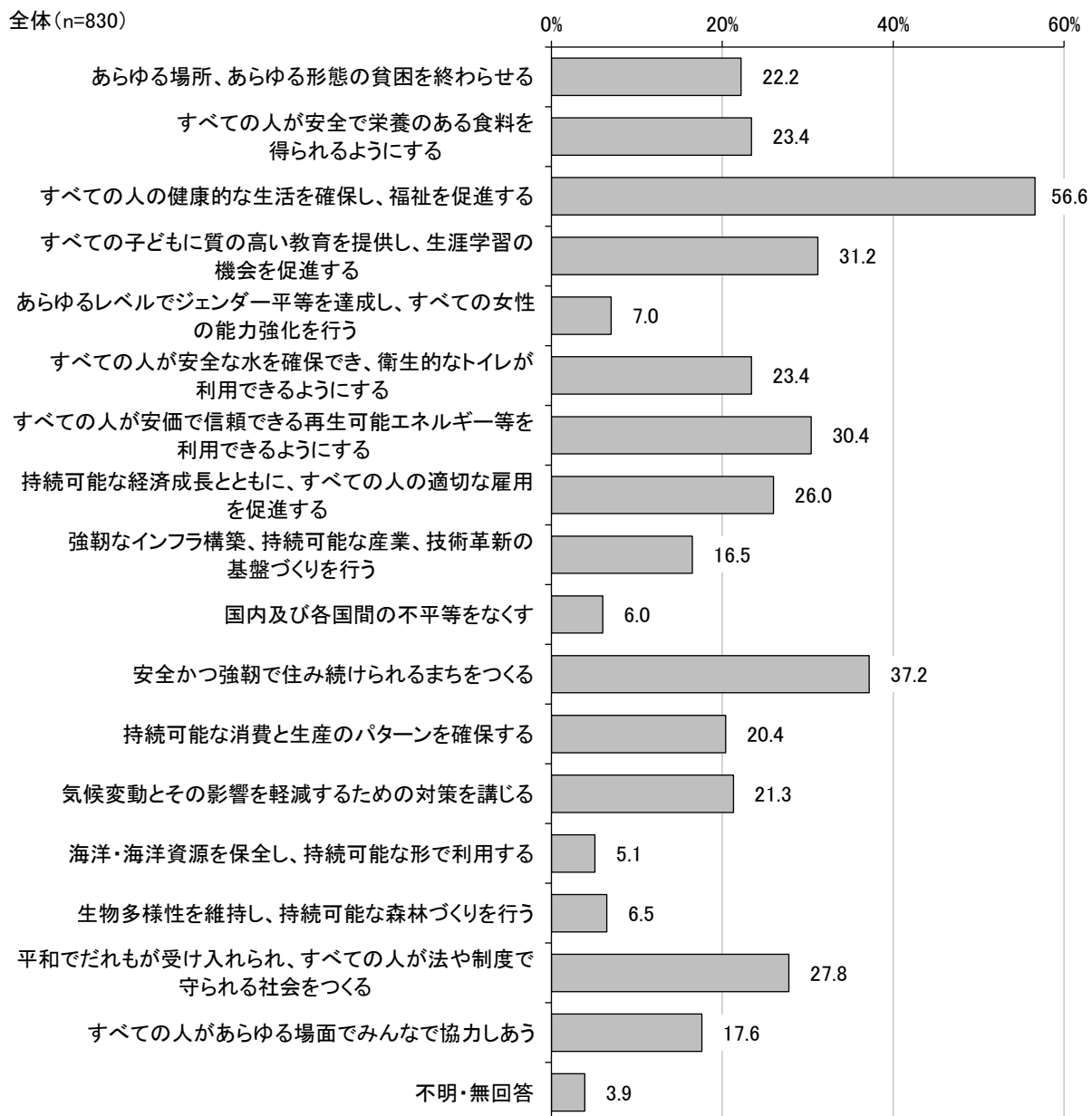
年代別にみると、〔18～29 歳〕では「まち並みなどの景観の保全」、〔30～40 歳代〕では「公園や緑地などの整備・保全」、〔50～60 歳代〕では「リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）など資源循環利用の促進」、〔70 歳以上〕では「地球温暖化や環境問題の啓発や環境学習の機会の充実」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔温泉地区〕では「まち並みなどの景観の保全」、〔本荘地区〕では「地球温暖化や環境問題の啓発や環境学習の機会の充実」「身近な緑や生物などの自然環境の保全・再生」、〔新郷地区〕〔吉崎地区〕では「公園や緑地などの整備・保全」、〔北潟地区〕では「身近な緑や生物などの自然環境の保全・再生」「公園や緑地などの整備・保全」、〔金津地区〕〔劔岳地区〕では「身近な省エネルギーの推進や再生可能エネルギー利用の普及啓発」、〔伊井地区〕〔細呂木地区〕では「リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）など資源循環利用の促進」、その他の区分では「地球温暖化や環境問題の啓発や環境学習の機会の充実」が最も高くなっています。

単位：%		及啓発	再生可能なエネルギー利用の推進や	身近な省エネルギーの活用	地球温暖化や環境問題の啓発	身近な緑や生物などの自然環境の保全・再生	公園や緑地などの整備・保全	まち並みなどの景観の保全	環境利用の促進	クリユース（再生利用）など・資源循環	工場等への規制の強化	その他	不明・無回答
全体 (n=830)		28.2	29.8	24.7	24.2	25.9	29.9	5.3	2.5	4.2			
性別	男性 (n=361)	28.0	25.5	28.5	26.0	28.0	28.3	8.0	3.6	2.8			
	女性 (n=447)	27.5	33.8	22.6	22.8	24.4	31.3	2.5	1.6	5.4			
年代別	18～29歳 (n=61)	18.0	19.7	24.6	29.5	42.6	32.8	4.9	4.9	0.0			
	30～40歳代 (n=167)	32.3	25.1	23.4	32.9	25.1	30.5	5.4	1.8	2.4			
	50～60歳代 (n=369)	29.5	30.1	24.7	23.0	26.6	30.4	4.6	2.2	3.5			
	70歳以上 (n=217)	23.5	37.3	27.2	18.4	19.4	28.6	6.0	2.8	7.8			
地区別	温泉地区 (n=91)	28.6	30.8	20.9	28.6	34.1	28.6	3.3	3.3	1.1			
	山方・里方地区 (n=70)	20.0	35.7	31.4	28.6	30.0	24.3	4.3	2.9	7.1			
	本荘地区 (n=66)	28.8	30.3	30.3	21.2	22.7	25.8	4.5	6.1	1.5			
	新郷地区 (n=26)	11.5	19.2	11.5	46.2	34.6	23.1	7.7	0.0	11.5			
	北潟地区 (n=31)	19.4	19.4	35.5	35.5	6.5	29.0	12.9	3.2	6.5			
	波松地区 (n=16)	37.5	43.8	18.8	6.3	18.8	37.5	0.0	0.0	6.3			
	金津地区 (n=286)	32.5	28.0	23.1	24.5	29.7	29.4	3.5	1.7	2.4			
	伊井地区 (n=57)	22.8	31.6	26.3	17.5	19.3	40.4	12.3	1.8	7.0			
	坪江地区 (n=61)	26.2	37.7	23.0	23.0	14.8	31.1	8.2	3.3	4.9			
	劔岳地区 (n=24)	37.5	16.7	25.0	16.7	25.0	33.3	4.2	4.2	8.3			
	細呂木地区 (n=73)	27.4	32.9	28.8	16.4	21.9	38.4	5.5	0.0	6.8			
	吉崎地区 (n=12)	8.3	33.3	25.0	41.7	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0			

問 22 SDGsの17の目標のうち、あわら市では特にどの分野に力を入れるべきだと思いますか。
(選択は5つまで)

「すべての人の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」が56.6%と最も高く、次いで「安全かつ強靱で住み続けられるまちをつくる」が37.2%、「すべての子どもに質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」が31.2%となっています。

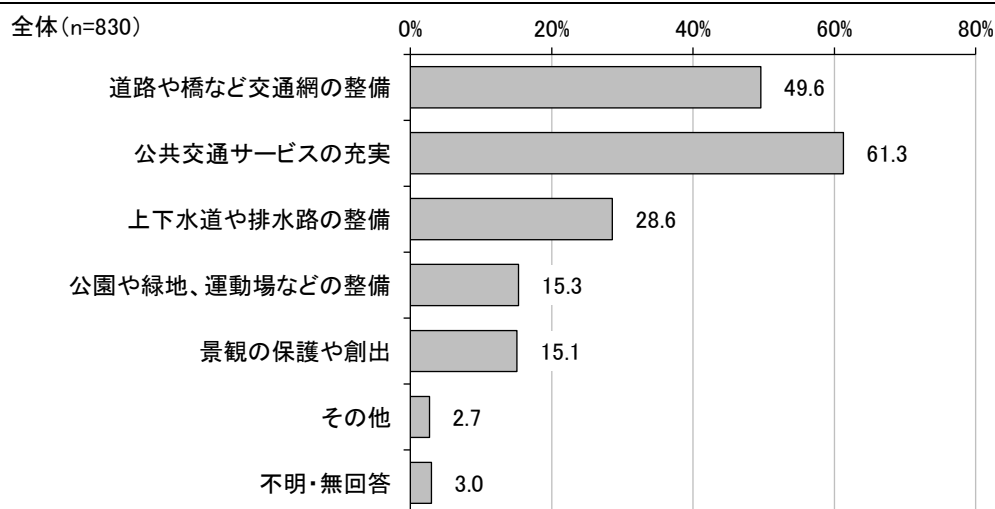


地区別にみると、〔波松地区〕では「すべての人の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」「すべての子どもに質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、その他の区分では「すべての人の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」が最も高くなっています。

62

問 23 あなたは、生活を充実させる都市基盤の取組として、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(選択は2つまで)

「公共交通サービスの充実」が61.3%と最も高く、次いで「道路や橋など交通網の整備」が49.6%、「上下水道や排水路の整備」が28.6%となっています。



●クロス集計

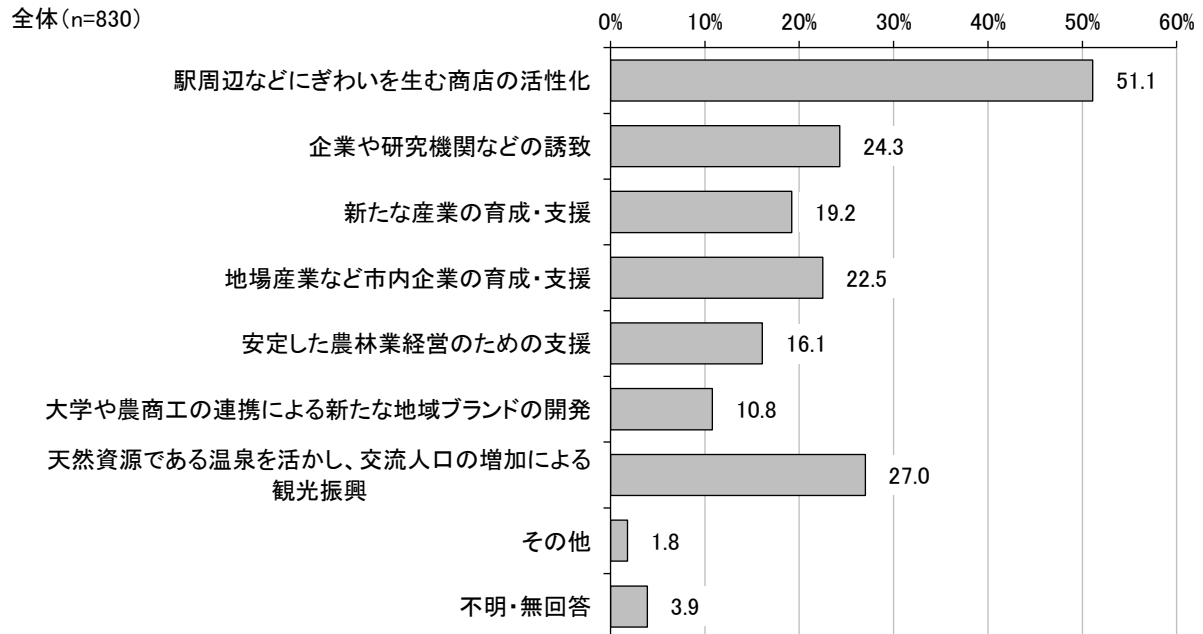
性別・年代別にみると、すべての区分で「公共交通サービスの充実」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔波松地区〕では「道路や橋など交通網の整備」「公共交通サービスの充実」、その他の区分では「公共交通サービスの充実」が最も高くなっています。

単位: %		道路や橋など交通網の整備	公共交通サービスの充実	上下水道や排水路の整備	公園や緑地、運動場などの整備	景観の保護や創出	その他	不明・無回答
全体 (n=830)		49.6	61.3	28.6	15.3	15.1	2.7	3.0
性別	男性 (n=361)	49.6	57.9	29.1	17.7	17.5	2.2	2.5
	女性 (n=447)	49.4	64.9	28.2	13.9	12.5	2.7	3.4
年代別	18～29歳 (n=61)	52.5	65.6	14.8	21.3	11.5	6.6	0.0
	30～40歳代 (n=167)	52.1	58.1	28.1	28.1	14.4	1.8	0.0
	50～60歳代 (n=369)	49.1	64.8	26.6	11.1	16.0	1.6	3.8
	70歳以上 (n=217)	47.9	57.6	36.9	12.0	13.8	3.2	4.6
地区別	温泉地区 (n=91)	50.5	61.5	30.8	23.1	14.3	2.2	1.1
	山方・里方地区 (n=70)	54.3	55.7	31.4	14.3	20.0	1.4	1.4
	本荘地区 (n=66)	57.6	60.6	30.3	9.1	7.6	7.6	1.5
	新郷地区 (n=26)	38.5	88.5	15.4	3.8	11.5	0.0	3.8
	北潟地区 (n=31)	45.2	67.7	19.4	22.6	19.4	0.0	3.2
	波松地区 (n=16)	68.8	68.8	18.8	6.3	6.3	0.0	0.0
	金津地区 (n=286)	48.3	55.2	30.4	18.9	16.8	3.5	3.8
	伊井地区 (n=57)	42.1	61.4	24.6	8.8	17.5	1.8	5.3
	坪江地区 (n=61)	47.5	65.6	44.3	9.8	8.2	1.6	3.3
	劔岳地区 (n=24)	70.8	79.2	8.3	8.3	8.3	0.0	4.2
	細呂木地区 (n=73)	54.8	64.4	24.7	13.7	15.1	0.0	2.7
	吉崎地区 (n=12)	16.7	83.3	25.0	25.0	16.7	0.0	0.0

問 24 あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(選択は2つまで)

「駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化」が51.1%と最も高く、次いで「天然資源である温泉を活かし、交流人口の増加による観光振興」が27.0%、「企業や研究機関などの誘致」が24.3%となっています。



●クロス集計

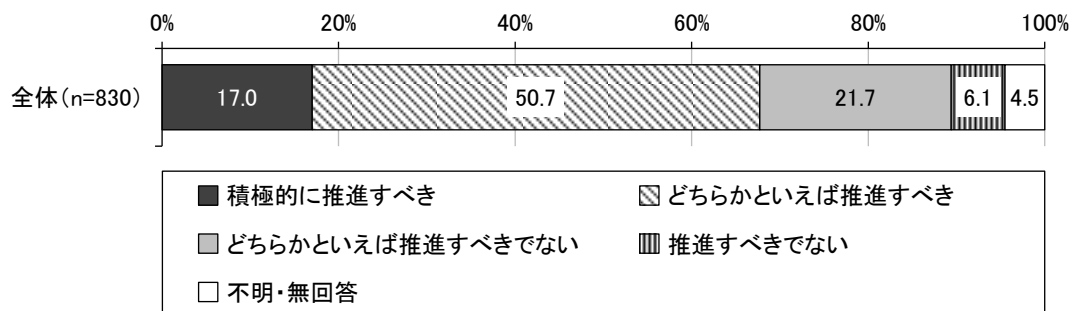
性別・年代別にみると、すべての区分で「駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔温泉地区〕〔山方・里方地区〕では「天然資源である温泉を活かし、交流人口の増加による観光振興」、〔北潟地区〕では「地場産業など市内企業の育成・支援」、その他の区分では「駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化」が最も高くなっています。

単位：％		駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化	企業や研究機関などの誘致	新たな産業の育成・支援	地場産業など市内企業の育成・支援	安定した農林業経営のための支援	大学や農工商の連携による新たな地域ブランドの開発	天然資源である温泉を活かし、交流人口の増加による観光振興	その他	不明・無回答
全体(n=830)		51.1	24.3	19.2	22.5	16.1	10.8	27.0	1.8	3.9
性別	男性(n=361)	49.3	29.1	22.7	22.7	17.5	11.1	26.3	1.4	1.9
	女性(n=447)	52.1	20.4	16.8	22.1	15.4	10.7	28.2	2.0	5.4
年代別	18～29歳(n=61)	67.2	18.0	21.3	11.5	9.8	11.5	41.0	1.6	0.0
	30～40歳代(n=167)	62.9	19.2	17.4	19.2	11.4	10.8	32.3	2.4	1.2
	50～60歳代(n=369)	50.9	26.3	17.1	20.9	16.5	9.8	28.5	2.2	4.3
	70歳以上(n=217)	36.9	26.3	24.4	30.0	21.7	12.4	17.1	0.5	6.5
地区別	温泉地区(n=91)	40.7	20.9	23.1	23.1	9.9	8.8	44.0	2.2	3.3
	山方・里方地区(n=70)	42.9	18.6	17.1	21.4	30.0	2.9	45.7	0.0	2.9
	本荘地区(n=66)	48.5	28.8	16.7	19.7	27.3	10.6	21.2	1.5	3.0
	新郷地区(n=26)	38.5	34.6	26.9	15.4	11.5	7.7	23.1	0.0	7.7
	北潟地区(n=31)	32.3	25.8	22.6	38.7	9.7	12.9	25.8	6.5	3.2
	波松地区(n=16)	43.8	18.8	6.3	25.0	31.3	12.5	18.8	0.0	6.3
	金津地区(n=286)	61.9	25.2	19.6	21.3	9.8	10.8	23.4	0.7	3.8
	伊井地区(n=57)	56.1	17.5	7.0	22.8	28.1	14.0	19.3	3.5	7.0
	坪江地区(n=61)	36.1	24.6	23.0	27.9	24.6	9.8	29.5	0.0	3.3
	劔岳地区(n=24)	41.7	37.5	33.3	16.7	25.0	16.7	12.5	4.2	4.2
	細呂木地区(n=73)	57.5	23.3	19.2	20.5	11.0	16.4	26.0	2.7	2.7
	吉崎地区(n=12)	50.0	16.7	25.0	16.7	8.3	16.7	8.3	16.7	8.3

問 25 あなたは、産業振興・地域活性化のため、外国人の受け入れ施策にどれくらい力を入れるべきだと考えますか。(ひとつだけ選択)

「どちらかといえば推進すべき」が50.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば推進すべきでない」が21.7%、「積極的に推進すべき」が17.0%となっています。



●クロス集計

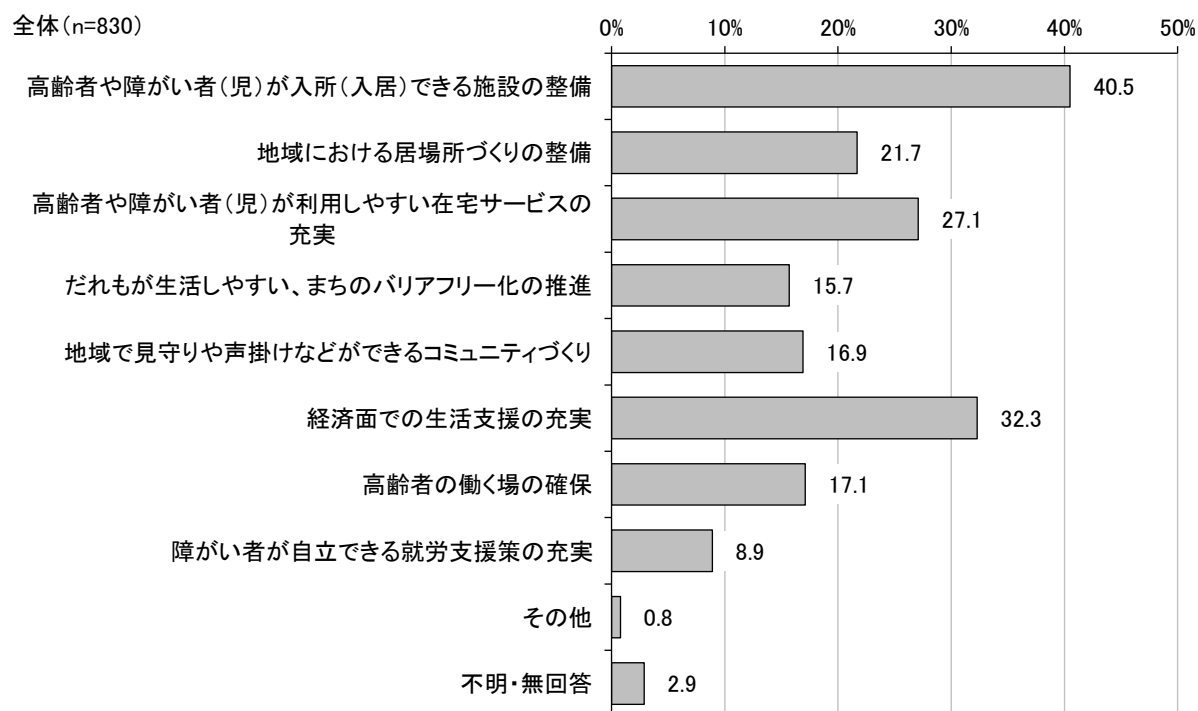
性別・年代別・地区別にみると、すべての区分で「どちらかといえば推進すべき」が最も高くなっています。

単位: %		積極的に推進すべき	どちらかといえば推進すべき	どちらかといえば推進すべきでない	推進すべきでない	不明・無回答
全体 (n=830)		17.0	50.7	21.7	6.1	4.5
性別	男性 (n=361)	20.8	45.7	24.1	7.5	1.9
	女性 (n=447)	13.9	54.8	19.7	5.1	6.5
年代別	18～29歳 (n=61)	26.2	52.5	13.1	8.2	0.0
	30～40歳代 (n=167)	20.4	47.3	23.4	6.6	2.4
	50～60歳代 (n=369)	15.7	50.4	22.2	7.0	4.6
	70歳以上 (n=217)	14.3	53.0	21.7	3.7	7.4
地区別	温泉地区 (n=91)	20.9	49.5	20.9	4.4	4.4
	山方・里方地区 (n=70)	8.6	68.6	15.7	4.3	2.9
	本荘地区 (n=66)	16.7	51.5	19.7	6.1	6.1
	新郷地区 (n=26)	19.2	50.0	19.2	3.8	7.7
	北潟地区 (n=31)	3.2	41.9	32.3	12.9	9.7
	波松地区 (n=16)	18.8	56.3	18.8	6.3	0.0
	金津地区 (n=286)	19.6	47.9	21.0	6.3	5.2
	伊井地区 (n=57)	14.0	52.6	26.3	1.8	5.3
	坪江地区 (n=61)	11.5	52.5	26.2	4.9	4.9
	劔岳地区 (n=24)	29.2	33.3	25.0	12.5	0.0
	細呂木地区 (n=73)	19.2	47.9	24.7	8.2	0.0
	吉崎地区 (n=12)	16.7	66.7	0.0	8.3	8.3

5 安全・安心なまちづくりについて

問 26 あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(選択は2つまで)

「高齢者や障がい者(児)が入所(入居)できる施設の整備」が40.5%と最も高く、次いで「経済面での生活支援の充実」が32.3%、「高齢者や障がい者(児)が利用しやすい在宅サービスの充実」が27.1%となっています。



●クロス集計

性別にみると、男女ともに「高齢者や障がい者（児）が入所（入居）できる施設の整備」が最も高くなっています。

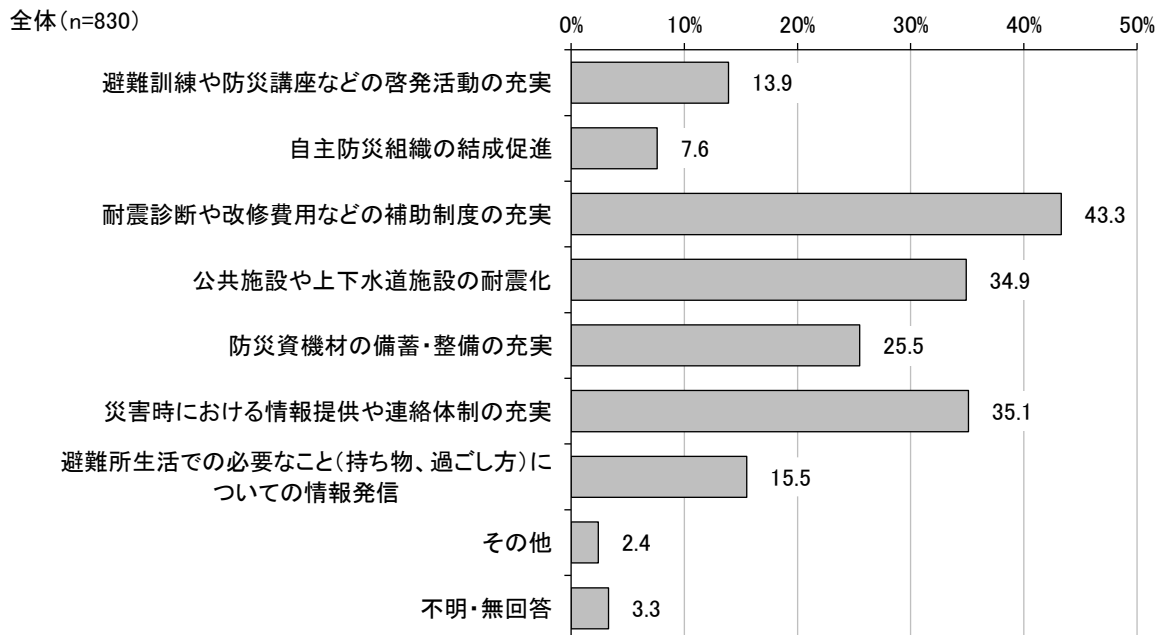
年代別にみると、〔18～29 歳〕では「高齢者や障がい者（児）が入所（入居）できる施設の整備」「経済面での生活支援の充実」、〔30～40 歳代〕では「経済面での生活支援の充実」、その他の区分では「高齢者や障がい者（児）が入所（入居）できる施設の整備」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔温泉地区〕〔波松地区〕では「経済面での生活支援の充実」、〔山方・里方地区〕では「高齢者や障がい者（児）が入所（入居）できる施設の整備」「地域における居場所づくりの整備」「経済面での生活支援の充実」、〔北潟地区〕では「地域における居場所づくりの整備」「地域で見守りや声掛けなどができるコミュニティづくり」「経済面での生活支援の充実」、〔伊井地区〕では「高齢者や障がい者（児）が利用しやすい在宅サービスの充実」、その他の区分では「高齢者や障がい者（児）が入所（入居）できる施設の整備」が最も高くなっています。

単位：％		高齢者や障がい者（児）が入所（入居）できる施設の整備	地域における居場所づくりの整備	高齢者や障がい者（児）が利用しやすい在宅サービスの充実	だれもが生活しやすい、まちのバリアフリー化の推進	地域で見守りや声掛けなどができるコミュニティづくり	経済面での生活支援の充実	高齢者の働く場の確保	障がい者が自立できる就労支援策の充実	その他	不明・無回答
全体 (n=830)		40.5	21.7	27.1	15.7	16.9	32.3	17.1	8.9	0.8	2.9
性別	男性 (n=361)	43.5	22.2	29.4	15.2	16.6	33.2	15.5	5.8	1.1	1.9
	女性 (n=447)	38.3	21.0	25.7	16.1	17.2	31.8	18.1	11.2	0.4	3.6
年代別	18～29歳 (n=61)	41.0	9.8	19.7	31.1	18.0	41.0	9.8	3.3	1.6	0.0
	30～40歳代 (n=167)	38.9	20.4	21.6	17.4	14.4	44.3	21.0	10.8	0.6	0.6
	50～60歳代 (n=369)	39.3	21.4	30.9	16.3	14.9	28.5	18.2	9.2	0.8	3.8
	70歳以上 (n=217)	41.9	25.8	27.2	9.2	21.7	29.0	13.4	8.8	0.9	4.1
地区別	温泉地区 (n=91)	33.0	16.5	27.5	24.2	15.4	35.2	16.5	4.4	1.1	5.5
	山方・里方地区 (n=70)	31.4	31.4	15.7	15.7	30.0	31.4	17.1	11.4	0.0	4.3
	本荘地区 (n=66)	45.5	19.7	33.3	10.6	13.6	28.8	15.2	10.6	0.0	3.0
	新郷地区 (n=26)	46.2	19.2	23.1	11.5	11.5	30.8	23.1	7.7	0.0	7.7
	北潟地区 (n=31)	19.4	29.0	22.6	9.7	29.0	29.0	25.8	9.7	6.5	3.2
	波松地区 (n=16)	18.8	25.0	18.8	18.8	18.8	50.0	18.8	0.0	0.0	6.3
	金津地区 (n=286)	42.7	21.3	23.1	17.5	14.7	33.9	17.5	9.4	1.0	3.1
	伊井地区 (n=57)	40.4	15.8	43.9	3.5	21.1	35.1	12.3	15.8	0.0	0.0
	坪江地区 (n=61)	41.0	21.3	37.7	14.8	19.7	26.2	13.1	4.9	1.6	1.6
	劔岳地区 (n=24)	50.0	25.0	41.7	16.7	12.5	37.5	4.2	0.0	0.0	0.0
	細呂木地区 (n=73)	46.6	21.9	28.8	15.1	12.3	30.1	23.3	12.3	0.0	0.0
	吉崎地区 (n=12)	83.3	8.3	25.0	16.7	0.0	25.0	0.0	8.3	0.0	0.0

問 27 あなたは、防災に対する取組として、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(選択は2つまで)

「耐震診断や改修費用などの補助制度の充実」が43.3%と最も高く、次いで「災害時における情報提供や連絡体制の充実」が35.1%、「公共施設や上下水道施設の耐震化」が34.9%となっています。



●クロス集計

性別にみると、男女ともに「耐震診断や改修費用などの補助制度の充実」が最も高くなっています。

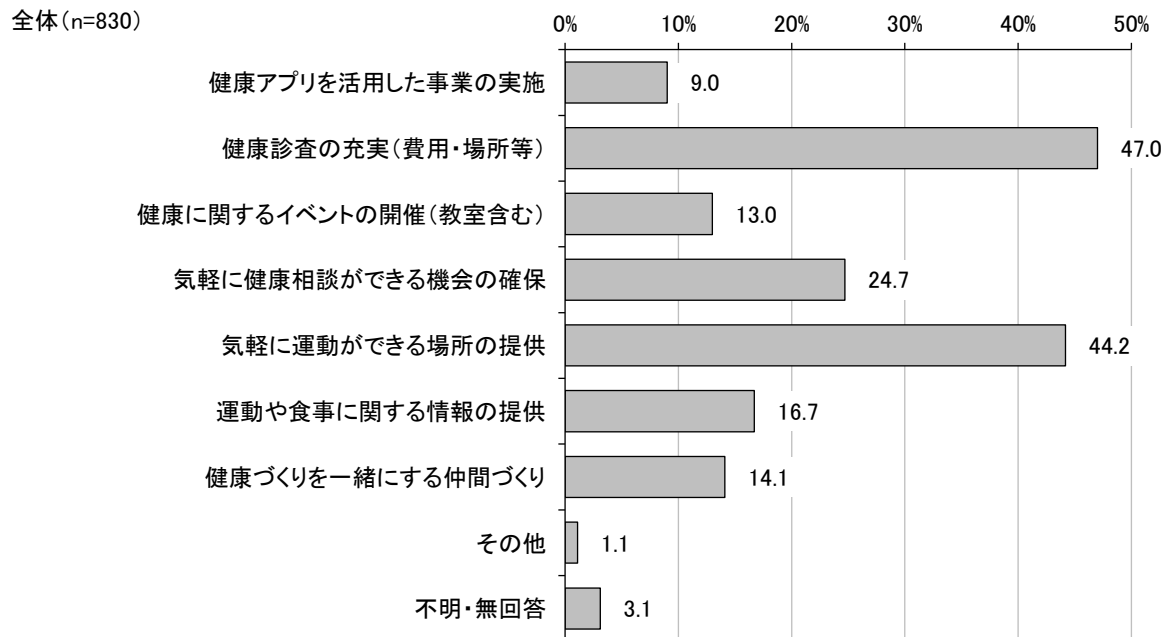
年代別にみると、〔70 歳以上〕では「公共施設や上下水道施設の耐震化」、その他の区分では「耐震診断や改修費用などの補助制度の充実」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔新郷地区〕〔波松地区〕では「防災資機材の備蓄・整備の充実」、〔北潟地区〕では「災害時における情報提供や連絡体制の充実」、〔吉崎地区〕では「耐震診断や改修費用などの補助制度の充実」「防災資機材の備蓄・整備の充実」「災害時における情報提供や連絡体制の充実」、その他の区分では「耐震診断や改修費用などの補助制度の充実」が最も高くなっています。

単位：%		避難活動の充実	自主防災組織の結成促進	耐震診断や改修費用などの充実	公共施設や上下水道施設の耐震化	防災資機材の備蓄・整備の充実	災害時における情報提供や連絡体制の充実	ついでに物、生活での必要情報（過ごし方）に	その他	不明・無回答
全体 (n=830)		13.9	7.6	43.3	34.9	25.5	35.1	15.5	2.4	3.3
性別	男性 (n=361)	12.7	8.0	46.5	39.3	27.4	29.9	13.3	2.8	1.7
	女性 (n=447)	15.4	7.2	41.4	32.0	24.4	39.1	16.1	2.0	4.3
年代別	18～29歳 (n=61)	13.1	4.9	57.4	26.2	21.3	41.0	16.4	3.3	1.6
	30～40歳代 (n=167)	15.6	8.4	45.5	38.3	32.3	33.5	9.6	3.0	1.2
	50～60歳代 (n=369)	10.6	6.2	44.7	32.8	27.6	36.3	17.3	1.4	3.8
	70歳以上 (n=217)	18.9	9.7	36.9	38.7	18.0	32.7	14.7	3.2	4.6
地区別	温泉地区 (n=91)	13.2	5.5	46.2	39.6	24.2	37.4	8.8	1.1	5.5
	山方・里方地区 (n=70)	17.1	7.1	42.9	40.0	24.3	30.0	15.7	1.4	2.9
	本荘地区 (n=66)	7.6	4.5	51.5	40.9	28.8	28.8	15.2	0.0	3.0
	新郷地区 (n=26)	19.2	3.8	38.5	15.4	42.3	34.6	15.4	0.0	7.7
	北潟地区 (n=31)	16.1	6.5	16.1	38.7	38.7	41.9	6.5	6.5	0.0
	波松地区 (n=16)	25.0	0.0	31.3	31.3	37.5	31.3	6.3	0.0	0.0
	金津地区 (n=286)	13.3	9.4	42.3	33.6	22.7	37.4	16.1	2.1	3.8
	伊井地区 (n=57)	12.3	7.0	50.9	45.6	21.1	24.6	19.3	1.8	1.8
	坪江地区 (n=61)	11.5	9.8	42.6	26.2	21.3	41.0	18.0	8.2	4.9
	剣岳地区 (n=24)	12.5	8.3	54.2	33.3	37.5	29.2	16.7	0.0	0.0
	細呂木地区 (n=73)	20.5	6.8	49.3	30.1	26.0	35.6	19.2	1.4	1.4
	吉崎地区 (n=12)	16.7	8.3	33.3	25.0	33.3	33.3	8.3	16.7	0.0

問 28 あなたは、市民がより健康になるために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(選択は2つまで)

「健康診査の充実(費用・場所等)」が47.0%と最も高く、次いで「気軽に運動ができる場所の提供」が44.2%、「気軽に健康相談ができる機会の確保」が24.7%となっています。



●クロス集計

性別にみると、男性では「健康診査の充実（費用・場所等）」、女性では「気軽に運動ができる場所の提供」が最も高くなっています。

年代別にみると、〔70歳以上〕では「気軽に運動ができる場所の提供」、その他の区分では「健康診査の充実（費用・場所等）」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔新郷地区〕〔劔岳地区〕〔細呂木地区〕では「気軽に運動ができる場所の提供」、〔北潟地区〕では「気軽に健康相談ができる機会の確保」、〔金津地区〕では「健康診査の充実（費用・場所等）」「気軽に運動ができる場所の提供」、その他の区分では「健康診査の充実（費用・場所等）」が最も高くなっています。

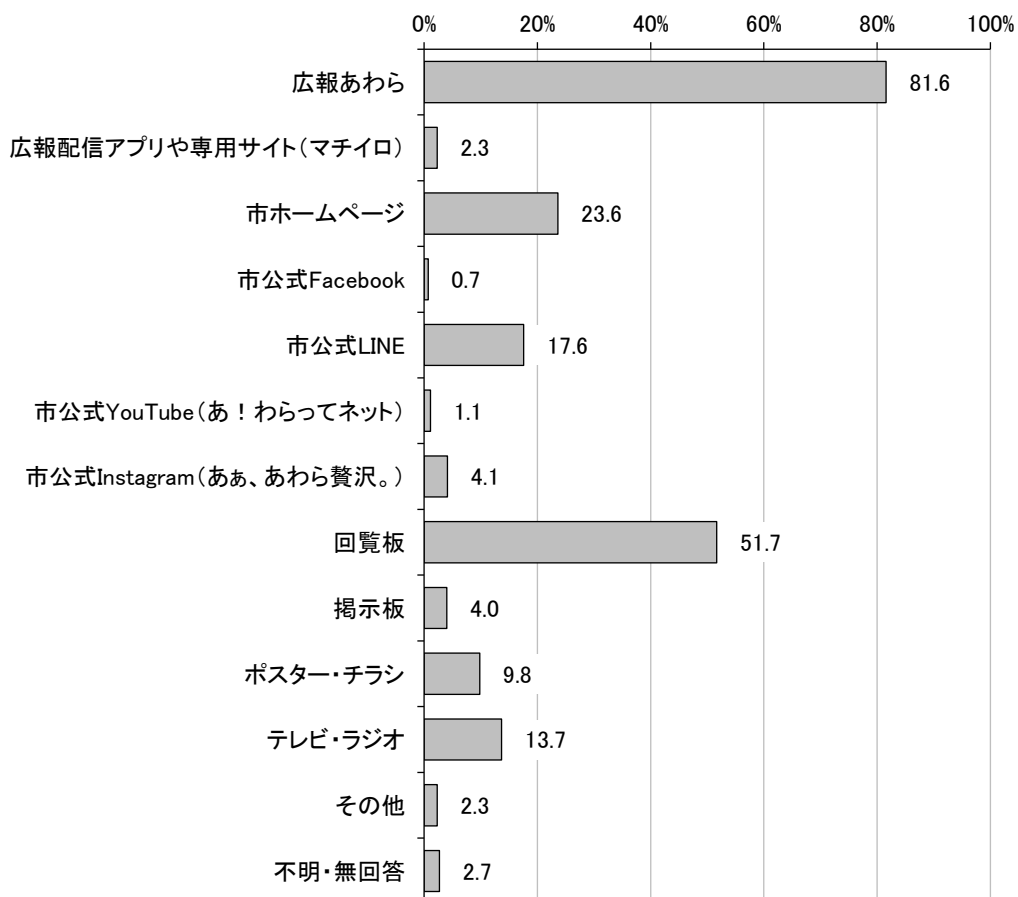
単位：％		健康 アプリ を活用 した事 業の 実施	健康 診査 の充 実（ 費 用・ 場 所 等）	健康 に関 する イ ベ ン ト の 開 催 （ 教 室 含 む ）	気 軽 に 健 康 相 談 が で き る 機 会 の 確 保	気 軽 に 運 動 が で き る 場 所 の 提 供	運 動 や 食 事 に 関 する 情 報 の 提 供	健 康 づ く り を 一 緒 に す る 仲 間	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=830)		9.0	47.0	13.0	24.7	44.2	16.7	14.1	1.1	3.1
性 別	男性 (n=361)	9.1	50.1	11.9	26.0	42.7	16.3	15.0	1.4	2.2
	女性 (n=447)	9.4	44.7	13.9	23.9	46.1	16.1	13.4	0.7	3.8
年 代 別	18～29歳 (n=61)	9.8	68.9	3.3	27.9	45.9	13.1	8.2	1.6	0.0
	30～40歳代 (n=167)	9.6	55.1	18.0	18.6	48.5	13.8	10.2	1.2	0.6
	50～60歳代 (n=369)	11.4	47.7	12.5	24.1	42.3	16.5	12.7	0.5	4.3
	70歳以上 (n=217)	5.1	33.6	12.4	30.9	43.8	18.9	20.7	1.8	4.1
地 区 別	温泉地区 (n=91)	9.9	53.8	15.4	16.5	45.1	11.0	11.0	1.1	4.4
	山方・里方地区 (n=70)	8.6	40.0	14.3	30.0	38.6	24.3	14.3	0.0	2.9
	本荘地区 (n=66)	13.6	51.5	13.6	21.2	43.9	13.6	10.6	3.0	3.0
	新郷地区 (n=26)	11.5	38.5	15.4	30.8	46.2	7.7	7.7	0.0	7.7
	北潟地区 (n=31)	6.5	38.7	9.7	41.9	35.5	25.8	19.4	0.0	0.0
	波松地区 (n=16)	0.0	43.8	25.0	31.3	25.0	12.5	25.0	0.0	6.3
	金津地区 (n=286)	10.1	45.1	11.2	23.8	45.1	18.9	14.3	0.7	3.8
	伊井地区 (n=57)	3.5	57.9	12.3	21.1	49.1	12.3	21.1	1.8	0.0
	坪江地区 (n=61)	8.2	49.2	13.1	24.6	41.0	16.4	14.8	0.0	3.3
	劔岳地区 (n=24)	12.5	41.7	8.3	8.3	62.5	12.5	29.2	0.0	0.0
	細呂木地区 (n=73)	8.2	45.2	13.7	35.6	50.7	13.7	6.8	4.1	1.4
	吉崎地区 (n=12)	0.0	58.3	8.3	41.7	16.7	8.3	8.3	0.0	8.3

6 市からの情報や市民参加について

問 29 市では広報紙やホームページなどで行政サービスの情報をお伝えしています。あなたは、主にどのような方法で情報を得ていますか。(選択は3つまで)

「広報あわら」が81.6%と最も高く、次いで「回覧板」が51.7%、「市ホームページ」が23.6%となっています。

全体(n=830)



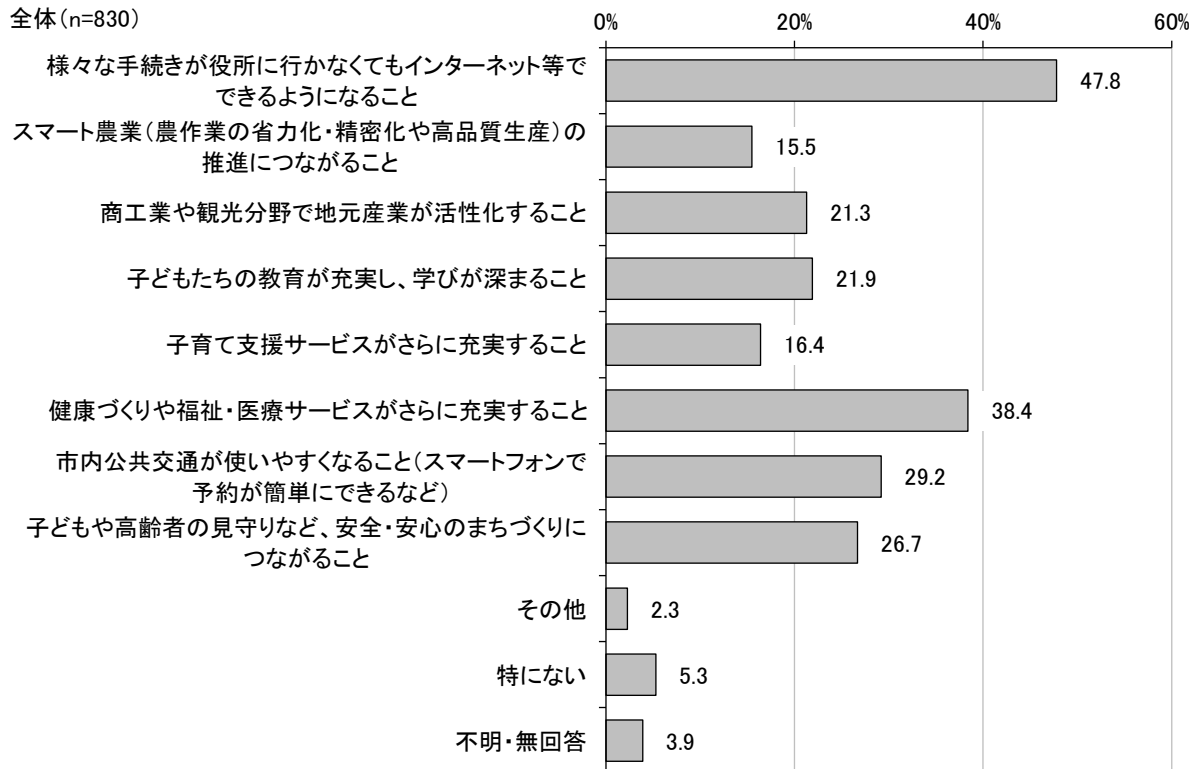
●クロス集計

性別・年代別・地区別にみると、すべての区分で「広報あわら」が最も高くなっています。

単位：％		広報あわら	広報配信アプリや専用サイト (マチイロ)	市ホームページ	市公式Facebook	市公式LINE	市公式YouTube (あ！わらってネット)	市公式Instagram (あぁ、あわら賛沢。)	回覧板	掲示板	ポスター・チラシ	テレビ・ラジオ	その他	不明・無回答
全体 (n=830)		81.6	2.3	23.6	0.7	17.6	1.1	4.1	51.7	4.0	9.8	13.7	2.3	2.7
性別	男性 (n=361)	81.7	1.1	24.1	0.6	16.9	1.1	2.2	56.5	4.7	8.6	14.7	2.5	1.9
	女性 (n=447)	81.9	3.1	23.5	0.9	18.1	0.9	5.6	48.3	3.4	11.0	13.0	2.2	3.1
年代別	18～29歳 (n=61)	55.7	1.6	24.6	1.6	11.5	1.6	6.6	45.9	1.6	13.1	19.7	8.2	0.0
	30～40歳代 (n=167)	73.7	3.6	29.9	1.8	24.0	0.0	9.0	40.1	4.8	7.8	6.6	2.4	0.6
	50～60歳代 (n=369)	85.4	2.7	24.7	0.5	17.6	1.4	3.0	53.4	2.7	8.9	12.2	1.6	3.3
	70歳以上 (n=217)	87.6	0.5	17.1	0.0	13.4	1.4	1.4	60.4	6.5	12.0	20.3	1.8	4.1
地区別	温泉地区 (n=91)	78.0	1.1	29.7	1.1	13.2	0.0	8.8	48.4	3.3	12.1	11.0	2.2	4.4
	山方・里方地区 (n=70)	92.9	5.7	22.9	0.0	20.0	0.0	2.9	54.3	2.9	15.7	18.6	0.0	1.4
	本荘地区 (n=66)	84.8	3.0	24.2	3.0	19.7	1.5	3.0	40.9	3.0	7.6	13.6	1.5	1.5
	新郷地区 (n=26)	73.1	0.0	23.1	0.0	19.2	0.0	7.7	46.2	0.0	7.7	23.1	0.0	7.7
	北潟地区 (n=31)	64.5	0.0	29.0	0.0	12.9	6.5	3.2	58.1	6.5	12.9	22.6	0.0	0.0
	波松地区 (n=16)	75.0	0.0	31.3	6.3	18.8	0.0	0.0	37.5	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0
	金津地区 (n=286)	79.0	2.4	23.4	0.0	15.4	1.0	3.5	56.6	3.1	8.0	12.2	2.4	3.8
	伊井地区 (n=57)	86.0	1.8	21.1	0.0	26.3	0.0	1.8	52.6	5.3	10.5	8.8	7.0	0.0
	坪江地区 (n=61)	80.3	1.6	29.5	1.6	13.1	3.3	3.3	52.5	3.3	9.8	14.8	1.6	1.6
	剣岳地区 (n=24)	83.3	0.0	16.7	0.0	25.0	4.2	0.0	41.7	16.7	0.0	12.5	8.3	4.2
	細呂木地区 (n=73)	91.8	1.4	17.8	1.4	19.2	0.0	5.5	52.1	2.7	16.4	17.8	0.0	1.4
	吉崎地区 (n=12)	75.0	0.0	8.3	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	16.7	8.3	0.0

問 30 現在、全国的に情報通信の技術を活用して、様々な分野でデジタル化が進んでいます。デジタル化が進むなかで、あなたが期待することは何ですか。(選択は3つまで)

「様々な手続きが役所に行かなくてもインターネット等でできるようになること」が47.8%と最も高く、次いで「健康づくりや福祉・医療サービスがさらに充実すること」が38.4%、「市内公共交通が使いやすくなること（スマートフォンで予約が簡単にできるなど）」が29.2%となっています。



●クロス集計

性別にみると、男女ともに「様々な手続きが役所に行かなくてもインターネット等でできるようになること」が最も高くなっています。

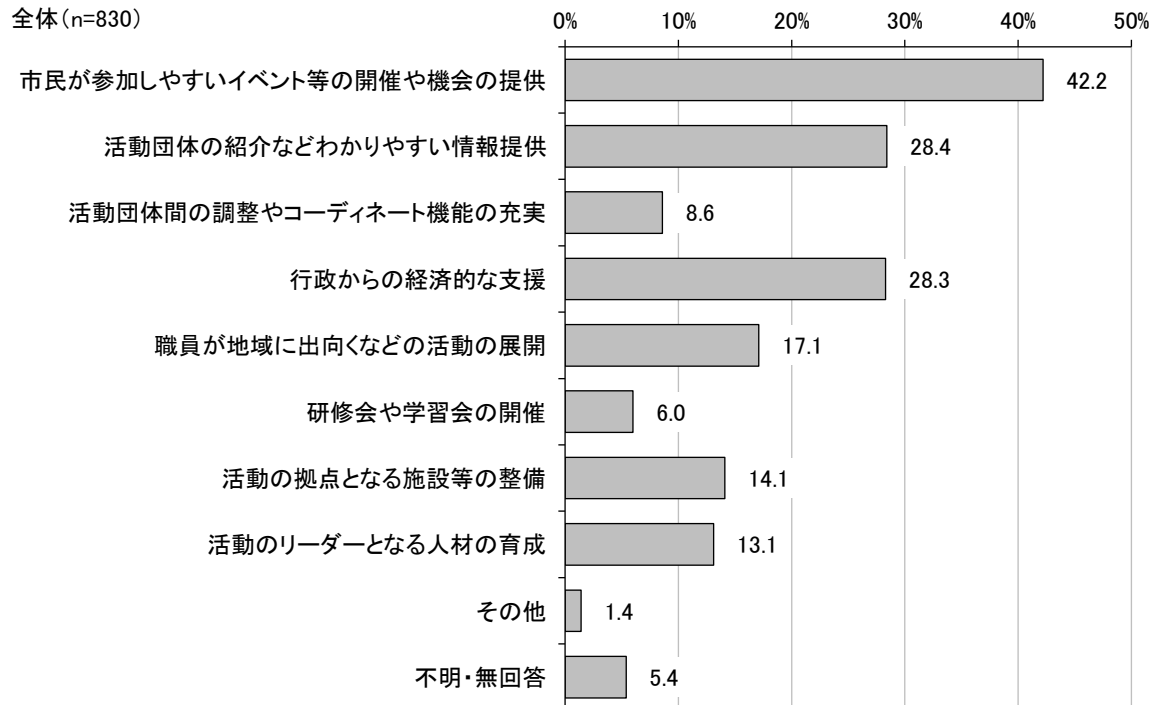
年代別にみると、〔70歳以上〕では「健康づくりや福祉・医療サービスがさらに充実すること」、その他の区分では「様々な手続きが役所に行かなくてもインターネット等でできるようになること」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔劔岳地区〕〔吉崎地区〕では「健康づくりや福祉・医療サービスがさらに充実すること」、〔細呂木地区〕では「様々な手続きが役所に行かなくてもインターネット等でできるようになること」「健康づくりや福祉・医療サービスがさらに充実すること」、その他の区分では「様々な手続きが役所に行かなくてもインターネット等でできるようになること」が最も高くなっています。

単位：%		きる よう にな ること	様 々な 手続 きが 役所 に行 か な い	推 進 に つ な が る こ と	化 ・ 精 密 化 や 高 品 質 生 産 の 力	ス マ ー ト 農 業 （ 農 作 業 の 省 力	が 活 性 化 す る こ と	商 工 業 や 観 光 分 野 で 地 元 産 業	子 ど も た ち の 教 育 が 充 実 し 、	充 実 す る こ と	子 育 て 支 援 サ ー ビ ス が さ ら に	健 康 づ く り や 福 祉 ・ 医 療 サ ー ビ ス が さ ら に 充 実 す る こ と	約 が 簡 単 に で き る な ど	市 内 公 共 交 通 が 使 い や す く 予 約 が 簡 単 に で き る な ど	に つ な が る こ と	子 ど も や 高 齢 者 の 見 守 り な り	ど 、 安 全 ・ 安 心 の ま ち づ く り	そ の 他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=830)		47.8	15.5	21.3	21.9	16.4	38.4	29.2	26.7	2.3	5.3	3.9								
性 別	男性 (n=361)	53.7	18.0	24.9	22.4	14.7	36.8	27.1	28.3	1.9	4.4	2.5								
	女性 (n=447)	43.4	13.6	18.3	22.1	18.1	40.3	31.1	26.0	2.7	5.4	4.9								
年 代 別	18～29歳 (n=61)	68.9	13.1	16.4	19.7	32.8	29.5	32.8	18.0	1.6	3.3	0.0								
	30～40歳代 (n=167)	67.7	14.4	23.4	34.7	21.6	26.3	31.7	21.6	3.6	3.0	0.6								
	50～60歳代 (n=369)	47.7	17.1	19.8	18.4	14.6	42.3	28.7	26.0	1.4	4.1	4.6								
	70歳以上 (n=217)	26.7	14.3	23.5	18.9	10.6	45.2	26.3	35.5	3.2	8.8	6.5								
地 区 別	温泉地区 (n=91)	46.2	8.8	20.9	33.0	20.9	37.4	25.3	27.5	1.1	3.3	3.3								
	山方・里方地区 (n=70)	48.6	27.1	20.0	25.7	14.3	34.3	34.3	31.4	1.4	1.4	2.9								
	本荘地区 (n=66)	48.5	21.2	21.2	18.2	15.2	33.3	28.8	24.2	6.1	3.0	4.5								
	新郷地区 (n=26)	34.6	15.4	15.4	30.8	26.9	23.1	30.8	26.9	0.0	3.8	11.5								
	北潟地区 (n=31)	45.2	12.9	16.1	19.4	19.4	35.5	25.8	38.7	3.2	6.5	3.2								
	波松地区 (n=16)	62.5	31.3	18.8	25.0	18.8	25.0	31.3	0.0	0.0	6.3	0.0								
	金津地区 (n=286)	50.7	11.2	22.4	21.7	15.7	40.2	28.3	24.1	1.7	5.6	4.9								
	伊井地区 (n=57)	50.9	14.0	21.1	15.8	15.8	47.4	31.6	29.8	3.5	7.0	0.0								
	坪江地区 (n=61)	49.2	14.8	26.2	11.5	13.1	45.9	27.9	34.4	1.6	4.9	4.9								
	劔岳地区 (n=24)	37.5	25.0	20.8	29.2	16.7	41.7	33.3	29.2	4.2	4.2	0.0								
	細呂木地区 (n=73)	42.5	21.9	19.2	19.2	17.8	42.5	30.1	28.8	2.7	6.8	2.7								
	吉崎地区 (n=12)	25.0	8.3	16.7	16.7	8.3	33.3	16.7	25.0	8.3	16.7	8.3								

問 31 市民の皆さんと市がともに役割を担いながらまちづくりを進めていくこと(協働)が必要であると考えています。協働を進めるために必要なことは何ですか。(選択は2つまで)

「市民が参加しやすいイベント等の開催や機会の提供」が42.2%と最も高く、次いで「活動団体の紹介などわかりやすい情報提供」が28.4%、「行政からの経済的な支援」が28.3%となっています。



●クロス集計

性別・年代別にみると、すべての区分で「市民が参加しやすいイベント等の開催や機会の提供」が最も高くなっています。

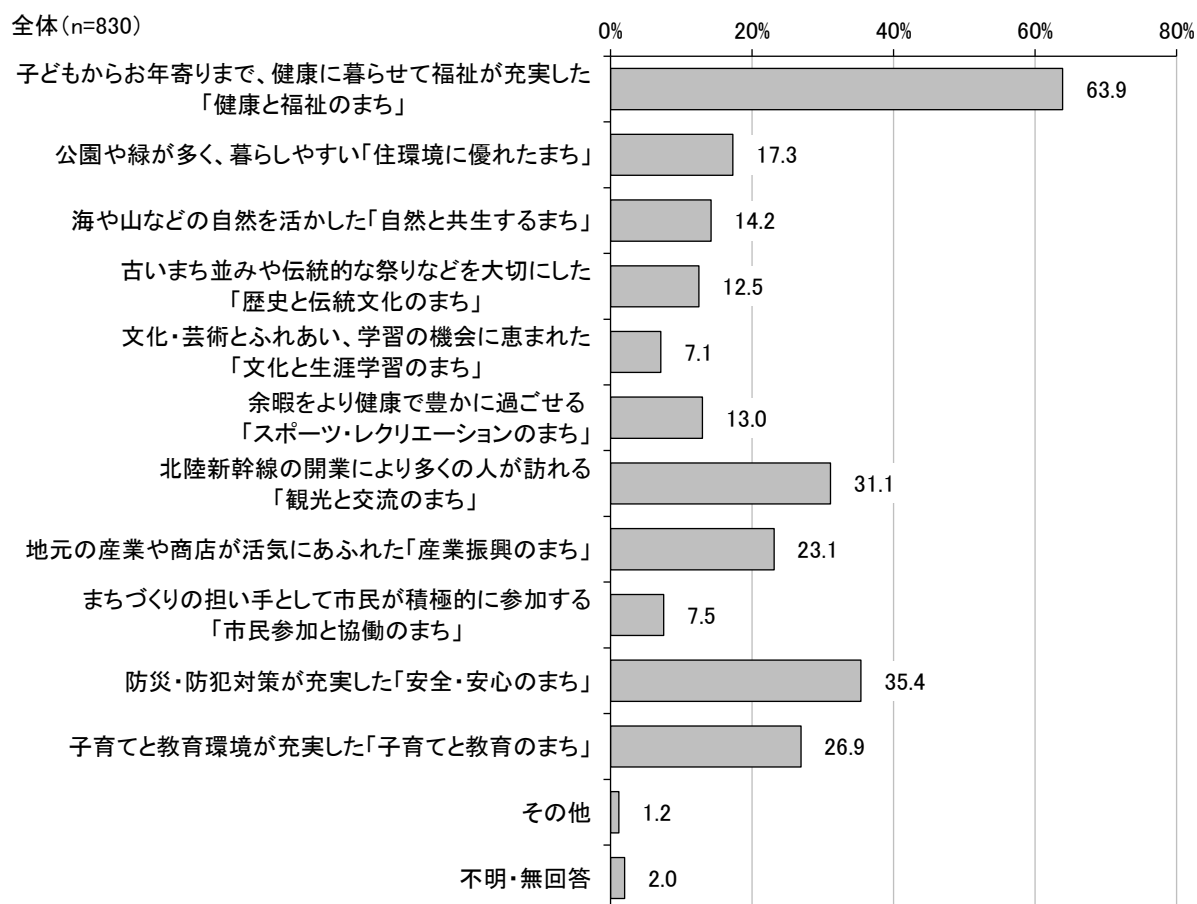
地区別にみると、〔北潟地区〕では「市民が参加しやすいイベント等の開催や機会の提供」「行政からの経済的な支援」、〔劔岳地区〕では「行政からの経済的な支援」、その他の区分では「市民が参加しやすいイベント等の開催や機会の提供」が最も高くなっています。

単位：％		市民が参加しやすいイベント等の開催や機会の提供	活動団体の紹介などわかりやすい情報提供	活動団体の調整やコーディネート機能の充実	行政からの経済的な支援	職員が地域に出向くなどの活動の展開	研修会や学習会の開催	活動の拠点となる施設等の整備	活動のリーダーとなる人材の育成	その他	不明・無回答
全体 (n=830)		42.2	28.4	8.6	28.3	17.1	6.0	14.1	13.1	1.4	5.4
性別	男性 (n=361)	38.8	27.4	9.7	30.5	23.3	7.2	14.7	15.0	1.9	3.9
	女性 (n=447)	45.4	28.6	8.1	27.1	12.1	5.1	13.6	11.4	1.1	6.7
年代別	18～29歳 (n=61)	41.0	31.1	3.3	32.8	13.1	13.1	19.7	1.6	3.3	0.0
	30～40歳代 (n=167)	43.7	24.6	6.0	35.9	13.8	9.0	14.4	9.0	2.4	4.2
	50～60歳代 (n=369)	42.3	27.9	11.4	25.5	17.9	5.1	13.8	15.2	0.8	6.5
	70歳以上 (n=217)	41.5	30.4	7.8	27.2	19.4	3.2	12.4	15.7	1.4	6.5
地区別	温泉地区 (n=91)	41.8	27.5	12.1	35.2	13.2	1.1	14.3	17.6	1.1	5.5
	山方・里方地区 (n=70)	41.4	38.6	11.4	27.1	18.6	12.9	5.7	14.3	0.0	2.9
	本荘地区 (n=66)	39.4	27.3	6.1	34.8	13.6	7.6	16.7	9.1	4.5	4.5
	新郷地区 (n=26)	42.3	26.9	11.5	26.9	3.8	3.8	15.4	19.2	3.8	7.7
	北潟地区 (n=31)	32.3	16.1	9.7	32.3	16.1	6.5	9.7	16.1	3.2	6.5
	波松地区 (n=16)	43.8	37.5	6.3	12.5	12.5	18.8	0.0	12.5	0.0	6.3
	金津地区 (n=286)	42.3	29.0	8.0	24.8	19.6	5.2	15.4	10.8	1.0	6.6
	伊井地区 (n=57)	43.9	24.6	5.3	26.3	19.3	3.5	19.3	21.1	3.5	3.5
	坪江地区 (n=61)	59.0	26.2	3.3	27.9	13.1	6.6	9.8	13.1	0.0	6.6
	劔岳地区 (n=24)	37.5	25.0	16.7	45.8	16.7	4.2	12.5	12.5	0.0	4.2
	細呂木地区 (n=73)	39.7	26.0	9.6	32.9	24.7	8.2	17.8	8.2	0.0	2.7
	吉崎地区 (n=12)	33.3	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	25.0	8.3	8.3	16.7

7 あわら市のまちづくりの方向性について

問 32 あなたは、これからのあわら市をどのようなまちにしたいですか。(選択は3つまで)

「子どもからお年寄りまで、健康に暮らせて福祉が充実した『健康と福祉のまち』」が 63.9%と最も高く、次いで「防災・防犯対策が充実した『安全・安心のまち』」が 35.4%、「北陸新幹線の開業により多くの人が訪れる『観光と交流のまち』」が 31.1%となっています。



●クロス集計

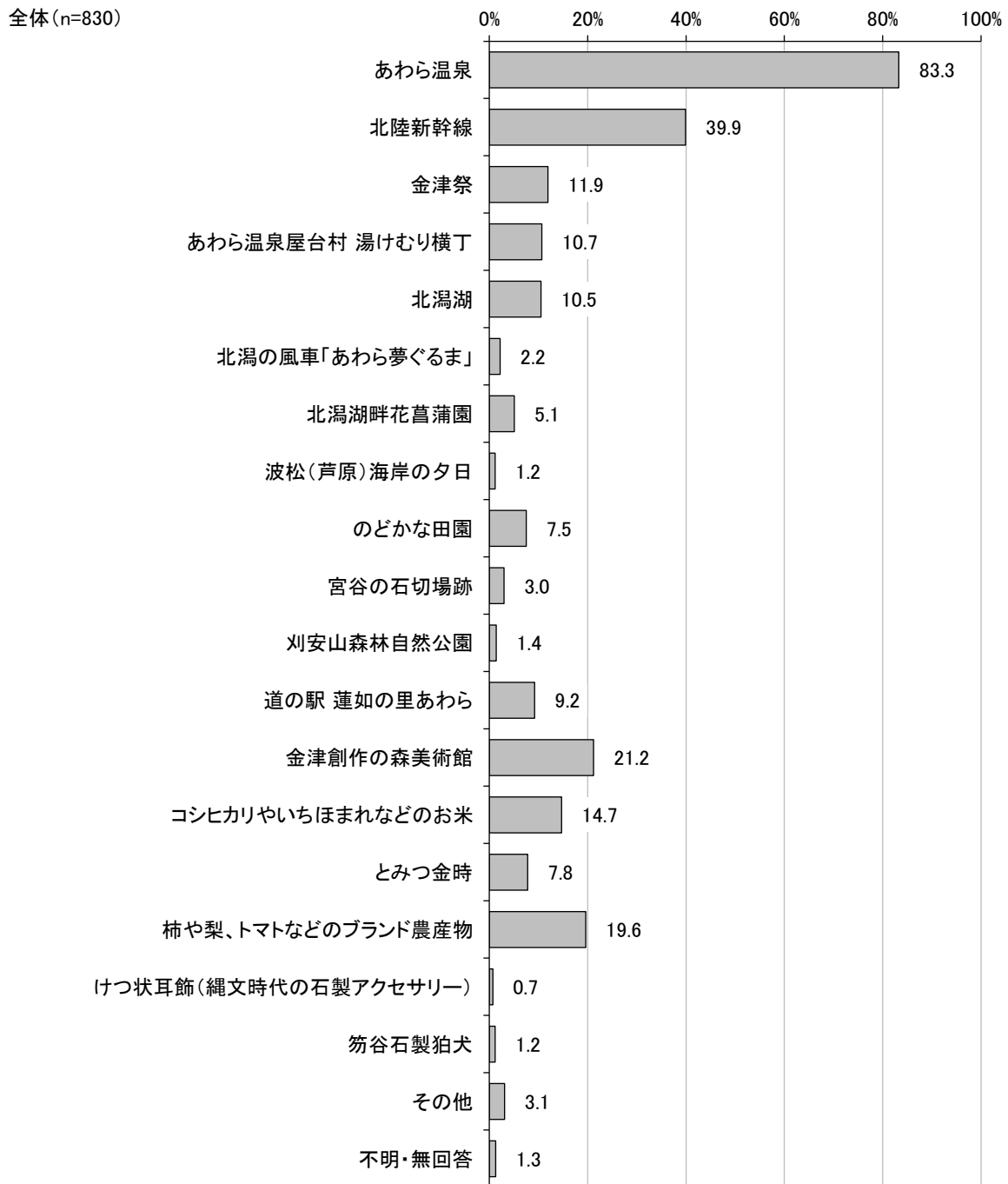
性別・地区別にみると、すべての区分で「子どもからお年寄りまで、健康に暮らせて福祉が充実した『健康と福祉のまち』」が最も高くなっています。

年代別にみると、[18～29歳]では「北陸新幹線の開業により多くの人が訪れる『観光と交流のまち』」、その他の区分では「子どもからお年寄りまで、健康に暮らせて福祉が充実した『健康と福祉のまち』」が最も高くなっています。

単位: %		福祉が充実した「子どもからお年寄りまで、健康に暮らせて福祉のまち」	公園や緑が多く、暮らしやすい「住環境に優れたまち」	海や山などの自然を活かした「自然と共生するまち」	古いまち並みや伝統的な祭りなどを大切に「歴史と伝統文化のまち」	文化・芸術とふれあい、学習の機会に恵まれた「文化と生涯学習のまち」	余暇をより健康で豊かに過ごせる「スポーツ・レクリエーションのまち」	北陸新幹線の開業により多くの人が訪れる「観光と交流のまち」	地元の産業や商店が活気にあふれた「産業振興のまち」	まちづくりの担い手として市民が積極的に参加する「市民参加と協働のまち」	防災・防犯対策が充実した「安全・安心のまち」	子育てと教育環境が充実した「子育てと教育のまち」	その他	不明・無回答
全体 (n=830)		63.9	17.3	14.2	12.5	7.1	13.0	31.1	23.1	7.5	35.4	26.9	1.2	2.0
性別	男性 (n=361)	60.7	18.0	16.9	12.2	6.4	14.1	29.6	24.7	8.9	35.2	27.1	1.9	1.7
	女性 (n=447)	66.7	17.0	12.1	12.1	7.4	12.5	33.1	21.9	5.8	35.3	27.5	0.4	2.5
年代別	18～29歳 (n=61)	47.5	26.2	9.8	11.5	4.9	31.1	54.1	18.0	4.9	26.2	31.1	1.6	1.6
	30～40歳代 (n=167)	51.5	26.3	13.2	13.2	5.4	15.0	40.7	18.6	6.0	28.1	37.7	2.4	0.6
	50～60歳代 (n=369)	65.9	16.3	16.3	9.8	7.0	10.8	31.4	22.8	7.0	36.6	24.9	0.8	2.2
	70歳以上 (n=217)	74.7	11.1	13.4	14.7	8.3	10.6	17.5	28.1	9.2	41.9	21.7	0.5	3.2
地区別	温泉地区 (n=91)	62.6	15.4	9.9	18.7	4.4	14.3	41.8	23.1	9.9	23.1	33.0	1.1	3.3
	山方・里方地区 (n=70)	68.6	15.7	22.9	15.7	10.0	10.0	32.9	18.6	7.1	40.0	22.9	0.0	1.4
	本荘地区 (n=66)	57.6	19.7	18.2	7.6	6.1	13.6	31.8	21.2	4.5	34.8	33.3	3.0	1.5
	新郷地区 (n=26)	76.9	11.5	3.8	7.7	3.8	34.6	30.8	19.2	3.8	46.2	30.8	0.0	0.0
	北潟地区 (n=31)	58.1	19.4	19.4	9.7	0.0	3.2	16.1	19.4	12.9	22.6	22.6	3.2	12.9
	波松地区 (n=16)	50.0	6.3	25.0	12.5	12.5	0.0	31.3	12.5	6.3	25.0	31.3	6.3	6.3
	金津地区 (n=286)	62.9	20.6	12.6	13.3	7.7	14.3	30.8	21.3	6.6	39.5	26.9	0.7	1.0
	伊井地区 (n=57)	71.9	26.3	3.5	12.3	7.0	15.8	21.1	35.1	3.5	47.4	22.8	0.0	0.0
	坪江地区 (n=61)	75.4	14.8	19.7	3.3	6.6	6.6	27.9	27.9	11.5	36.1	19.7	0.0	1.6
	剣岳地区 (n=24)	54.2	4.2	16.7	25.0	4.2	16.7	37.5	25.0	12.5	20.8	37.5	4.2	0.0
	細呂木地区 (n=73)	61.6	12.3	15.1	4.1	9.6	15.1	32.9	26.0	6.8	31.5	27.4	1.4	2.7
	吉崎地区 (n=12)	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	16.7	0.0	33.3	8.3	0.0	8.3

問 33 あなたは、あわら市のことをあまり知らない人に紹介するとき、どのようなことを話題にしますか。あるいは、あわら市を象徴するものは何だと思いますか。(選択は3つまで)

「あわら温泉」が83.3%と最も高く、次いで「北陸新幹線」が39.9%、「金津創作の森美術館」が21.2%となっています。



●クロス集計

性別・年代別にみると、すべての区分で「あわら温泉」が最も高くなっています。

地区別にみると、〔吉崎地区〕では「あわら温泉」「道の駅 蓮如の里あわら」、その他の区分では「あわら温泉」が最も高くなっています。

単位: %		あわら温泉	北陸新幹線	金津祭	むり横丁 あわら温泉屋台村 湯け	北潟湖	北潟の風車「あわら夢ぐるま」	北潟湖畔花菖蒲園	波松（芦原）海岸の夕日	のどかな田園	宮谷の石切場跡	刈安山森林自然公園	道の駅 蓮如の里あわら
全体 (n=830)		83.3	39.9	11.9	10.7	10.5	2.2	5.1	1.2	7.5	3.0	1.4	9.2
性別	男性 (n=361)	79.8	39.9	13.6	11.4	10.0	1.9	4.4	1.7	8.6	2.5	2.5	9.7
	女性 (n=447)	87.2	40.7	10.3	10.7	10.7	2.0	5.8	0.9	6.5	2.9	0.4	8.3
年代別	18～29歳 (n=61)	88.5	57.4	8.2	29.5	11.5	3.3	0.0	0.0	4.9	3.3	0.0	4.9
	30～40歳代 (n=167)	90.4	43.7	13.8	13.2	9.6	3.6	1.8	1.8	9.0	2.4	0.6	7.8
	50～60歳代 (n=369)	85.9	39.0	10.6	10.6	11.4	1.1	3.5	1.6	7.0	2.4	0.5	8.7
	70歳以上 (n=217)	72.8	34.6	13.4	4.6	8.3	2.8	11.5	0.5	7.8	4.1	4.1	11.1
地区別	温泉地区 (n=91)	92.3	37.4	3.3	25.3	3.3	3.3	3.3	0.0	11.0	2.2	1.1	5.5
	山方・里方地区 (n=70)	92.9	37.1	2.9	10.0	12.9	1.4	12.9	2.9	4.3	2.9	1.4	8.6
	本荘地区 (n=66)	93.9	42.4	1.5	10.6	4.5	1.5	3.0	0.0	13.6	1.5	0.0	4.5
	新郷地区 (n=26)	84.6	42.3	0.0	11.5	15.4	0.0	3.8	0.0	19.2	0.0	0.0	11.5
	北潟地区 (n=31)	74.2	19.4	0.0	9.7	38.7	16.1	9.7	0.0	6.5	6.5	3.2	3.2
	波松地区 (n=16)	87.5	25.0	0.0	12.5	18.8	0.0	0.0	12.5	0.0	6.3	0.0	6.3
	金津地区 (n=286)	79.0	44.8	25.2	9.8	8.4	1.0	4.2	1.7	4.2	2.4	2.1	8.7
	伊井地区 (n=57)	93.0	50.9	12.3	5.3	8.8	0.0	7.0	0.0	8.8	1.8	0.0	5.3
	坪江地区 (n=61)	83.6	32.8	4.9	8.2	14.8	3.3	3.3	0.0	11.5	0.0	0.0	16.4
	劔岳地区 (n=24)	83.3	33.3	0.0	8.3	8.3	4.2	0.0	0.0	4.2	4.2	12.5	4.2
	細呂木地区 (n=73)	72.6	38.4	11.0	5.5	9.6	1.4	5.5	1.4	8.2	9.6	0.0	9.6
	吉崎地区 (n=12)	50.0	33.3	0.0	0.0	33.3	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

単位: %		金津創作の森美術館	コシヒカリやいちほまれなどのお米	とみつ金時	柿や梨、トマトなどのフルーツ農産物	石製アークセサリー（縄文時代のけつ状耳飾）	劔谷石製狛犬	その他	不明・無回答
全体 (n=830)		21.2	14.7	7.8	19.6	0.7	1.2	3.1	1.3
性別	男性 (n=361)	20.2	12.7	7.5	16.9	0.0	1.7	3.6	1.9
	女性 (n=447)	22.1	16.3	8.3	21.7	1.3	0.9	2.9	0.7
年代別	18～29歳 (n=61)	14.8	6.6	9.8	8.2	0.0	0.0	4.9	0.0
	30～40歳代 (n=167)	16.8	13.8	11.4	11.4	1.2	1.2	4.2	0.0
	50～60歳代 (n=369)	21.4	15.7	6.8	20.1	1.1	1.4	3.0	0.8
	70歳以上 (n=217)	26.3	16.6	6.5	28.6	0.0	1.4	2.3	3.7
地区別	温泉地区 (n=91)	8.8	14.3	9.9	17.6	0.0	0.0	3.3	2.2
	山方・里方地区 (n=70)	20.0	20.0	11.4	30.0	2.9	1.4	0.0	0.0
	本荘地区 (n=66)	13.6	18.2	10.6	15.2	0.0	4.5	0.0	0.0
	新郷地区 (n=26)	15.4	23.1	0.0	19.2	0.0	0.0	7.7	3.8
	北潟地区 (n=31)	6.5	22.6	35.5	25.8	0.0	0.0	3.2	0.0
	波松地区 (n=16)	18.8	0.0	6.3	25.0	0.0	6.3	0.0	6.3
	金津地区 (n=286)	23.4	11.2	5.2	17.8	1.0	1.4	4.2	1.0
	伊井地区 (n=57)	26.3	17.5	3.5	14.0	0.0	0.0	7.0	0.0
	坪江地区 (n=61)	34.4	18.0	3.3	23.0	0.0	1.6	1.6	1.6
	劔岳地区 (n=24)	20.8	25.0	8.3	8.3	0.0	0.0	4.2	4.2
	細呂木地区 (n=73)	31.5	12.3	6.8	23.3	1.4	0.0	1.4	2.7
	吉崎地区 (n=12)	8.3	8.3	25.0	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0

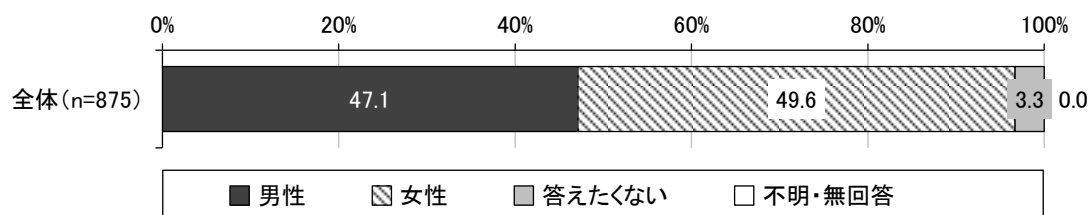
Ⅲ 小・中学生アンケート調査結果

1 回答者のことについて

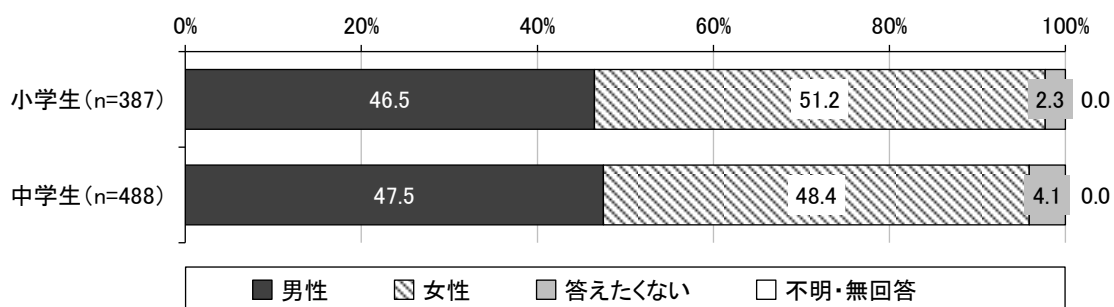
問1 あなたの性別は、次のどれにあてはまりますか。(ひとつだけ選択)

「女性」が49.6%と最も高く、次いで「男性」が47.1%、「答えたくない」が3.3%となっています。

学年別にみると、小学生、中学生ともに「女性」が最も高く、次いで「男性」、「答えたくない」となっています。



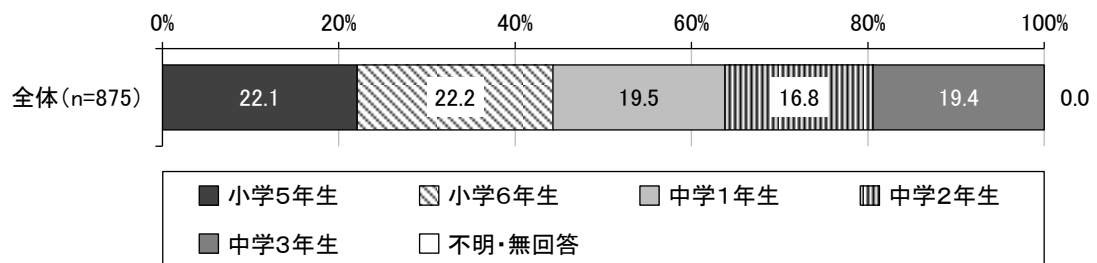
●クロス集計(学年別)



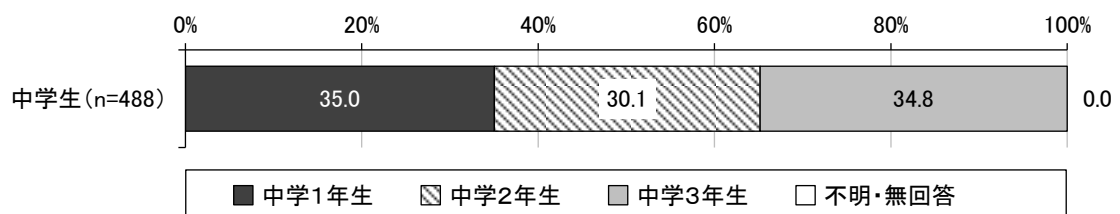
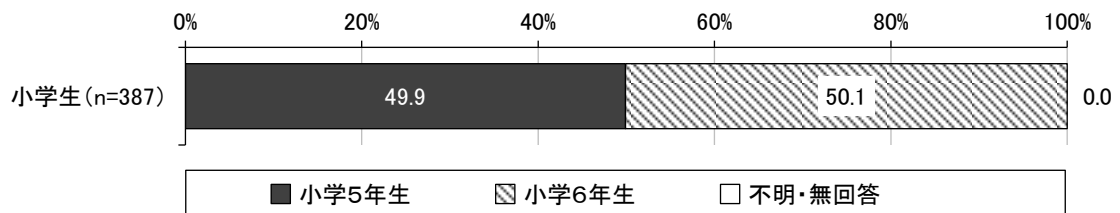
問2 あなたの学年を教えてください。(ひとつだけ選択)

「小学6年生」が22.2%と最も高く、次いで「小学5年生」が22.1%、「中学1年生」が19.5%となっています。

学年別にみると、小学生では「小学6年生」が「小学5年生」を上回っています。中学生では「中学1年生」が最も高く、次いで「中学3年生」、「中学2年生」となっています。



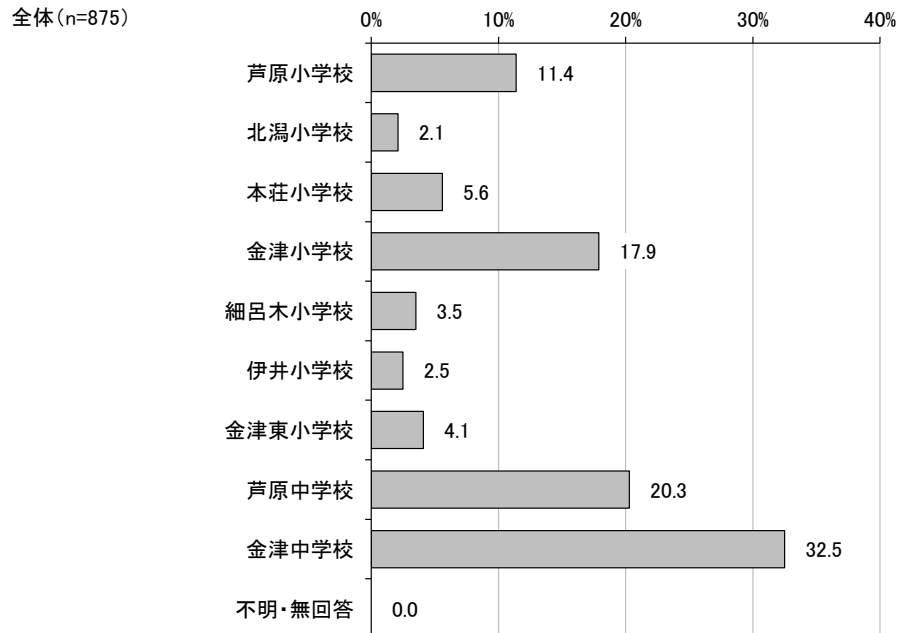
●クロス集計(学年別)



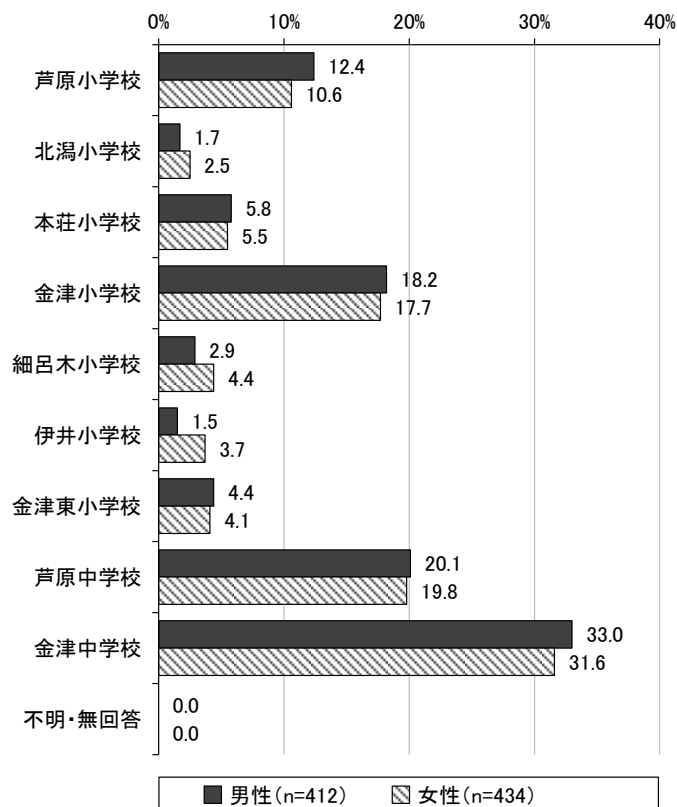
問3 あなたが現在通う学校を教えてください。(ひとつだけ選択)

「金津中学校」が32.5%と最も高く、次いで「芦原中学校」が20.3%、「金津小学校」が17.9%となっています。

性別にみると、男女ともに「金津中学校」が最も高く、次いで「芦原中学校」、「金津小学校」となっています。



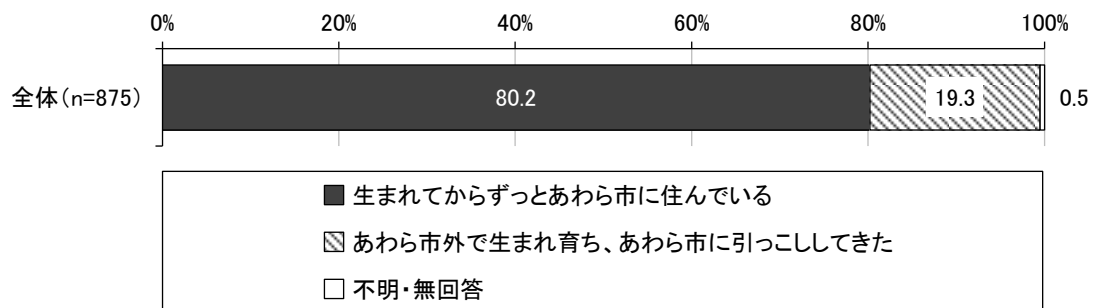
●クロス集計(性別)



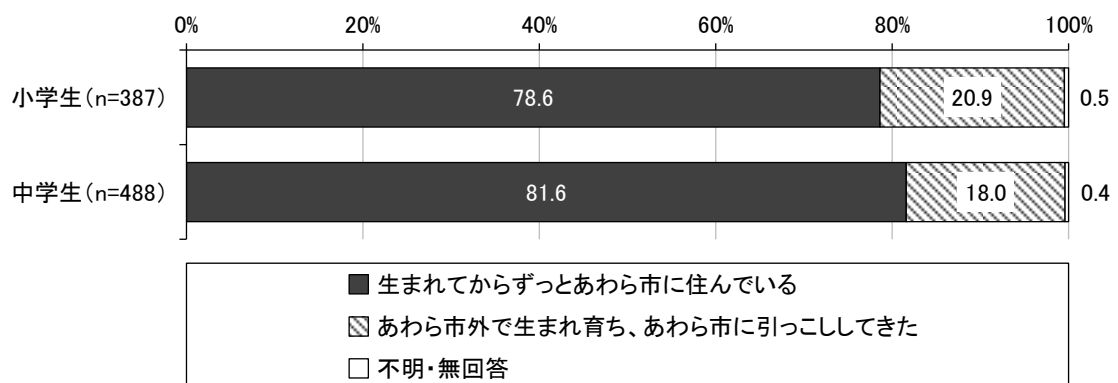
問4 あなたがあわら市でお住まいの経験はどれに当てはまりますか。(ひとつだけ選択)

「生まれてからずっとあわら市に住んでいる」が80.2%と「あわら市外で生まれ育ち、あわら市に引っ越ししてきた」の19.3%を上回っています。

学年別にみると、小学生、中学生ともに「生まれてからずっとあわら市に住んでいる」が「あわら市外で生まれ育ち、あわら市に引っ越ししてきた」を上回っています。



●クロス集計(学年別)

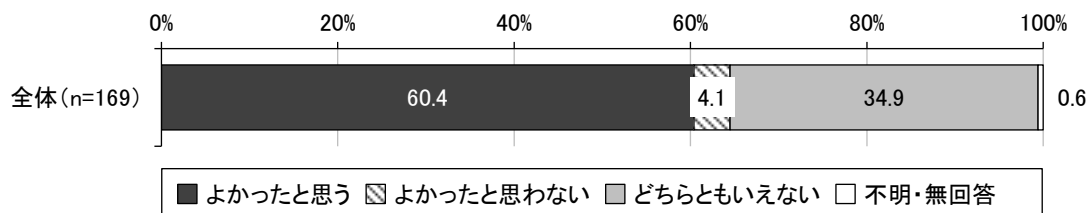


問4で「あわら市外で生まれ育ち、あわら市に引っこしてきた」を回答した方

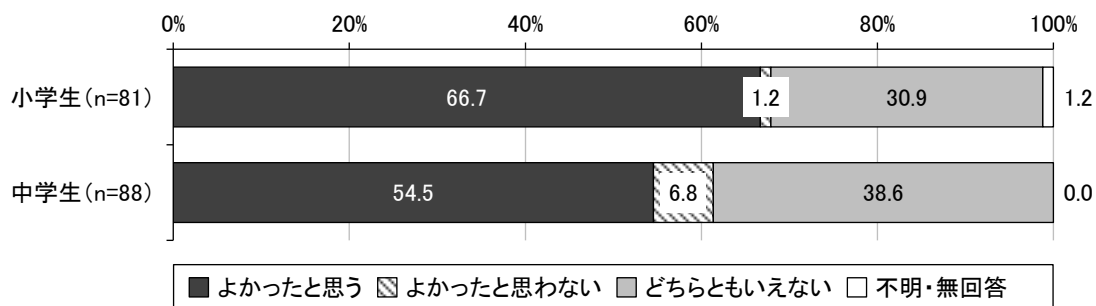
問4-1 あなたは、あわら市に引っこしてきてよかったと思いますか。(ひとつだけ選択)

「よかったと思う」が60.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が34.9%、「よかったと思わない」が4.1%となっています。

学年別にみると、小学生、中学生ともに「よかったと思う」が最も高く、次いで「どちらともいえない」、「よかったと思わない」となっています。



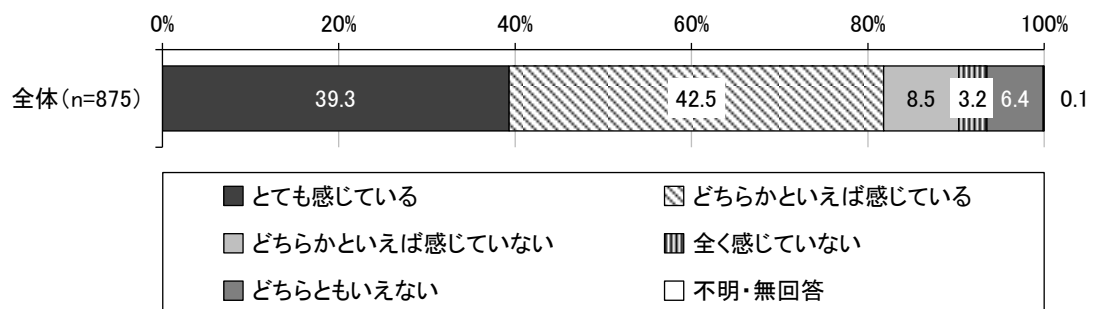
●クロス集計(学年別)



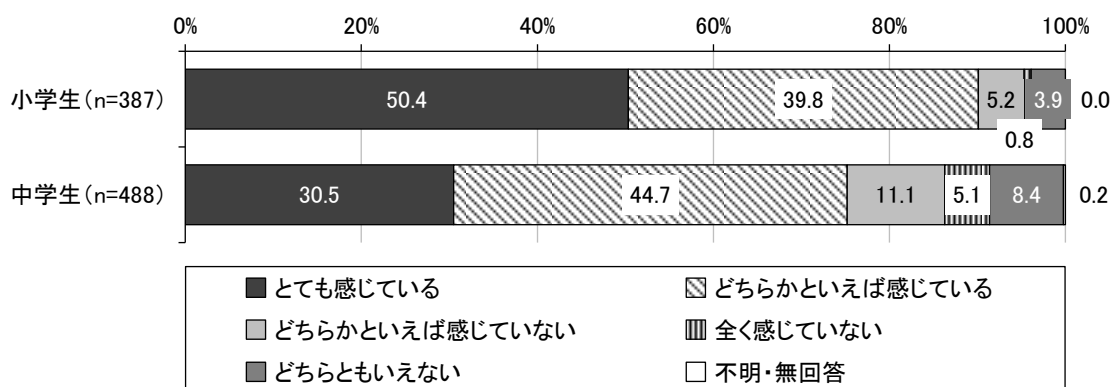
問5 あなたはあわら市に愛着を感じていますか。(ひとつだけ選択)

「どちらかといえば感じている」が42.5%と最も高く、次いで「とても感じている」が39.3%、「どちらかといえば感じていない」が8.5%となっています。

学年別にみると、小学生では「とても感じている」が最も高く、次いで「どちらかといえば感じている」、「どちらかといえば感じていない」となっています。中学生では「どちらかといえば感じている」が最も高く、次いで「とても感じている」、「どちらかといえば感じていない」となっています。



●クロス集計(学年別)

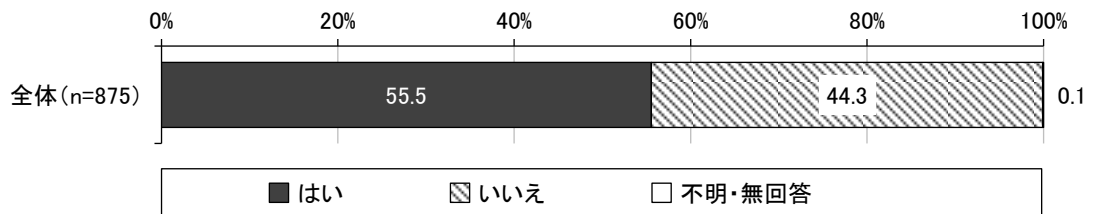


問6 あなたは、この先ずっとあわら市に住み続けたいと思いますか。(ひとつだけ選択)

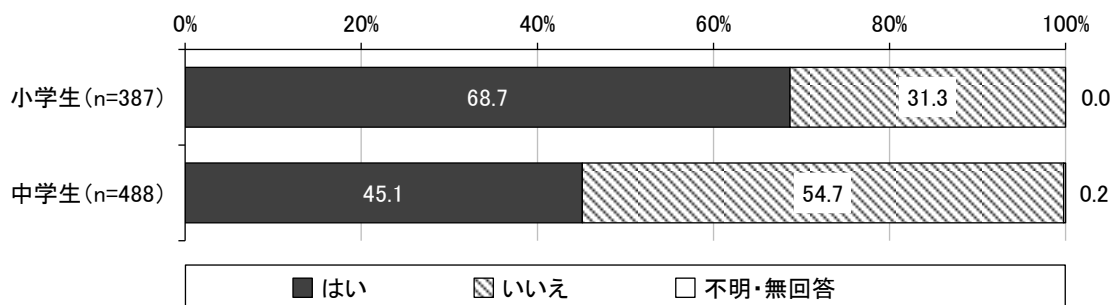
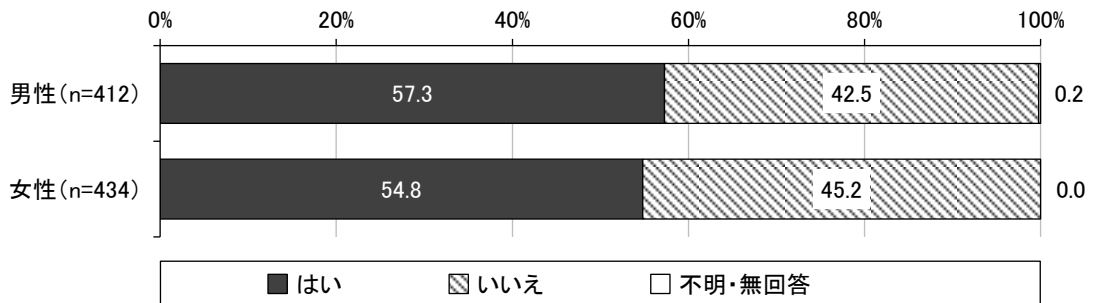
「はい」が55.5%と「いいえ」の44.3%を上回っています。

性別にみると、男女ともに「はい」が「いいえ」を上回っています。

学年別にみると、小学生では「はい」が「いいえ」を上回っています。中学生では「いいえ」が「はい」を上回っています。



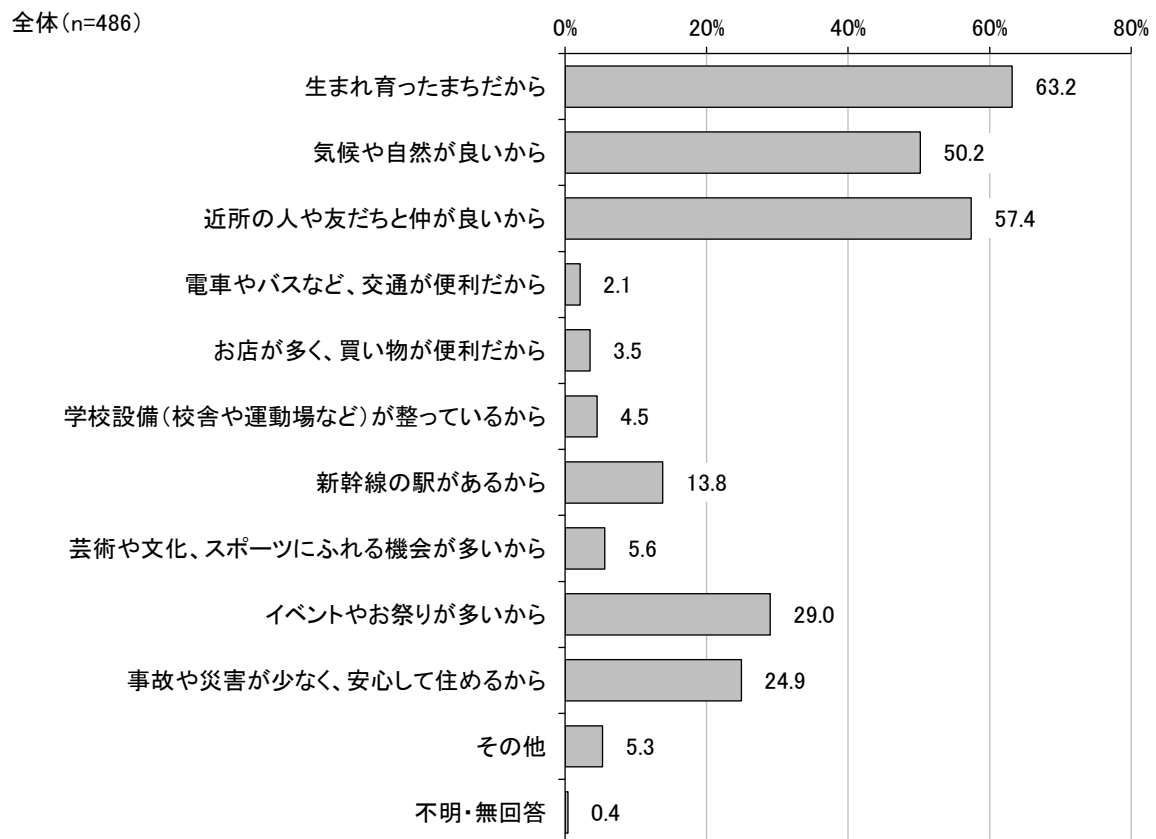
●クロス集計(性別、学年別)



問6で「はい」を回答した方

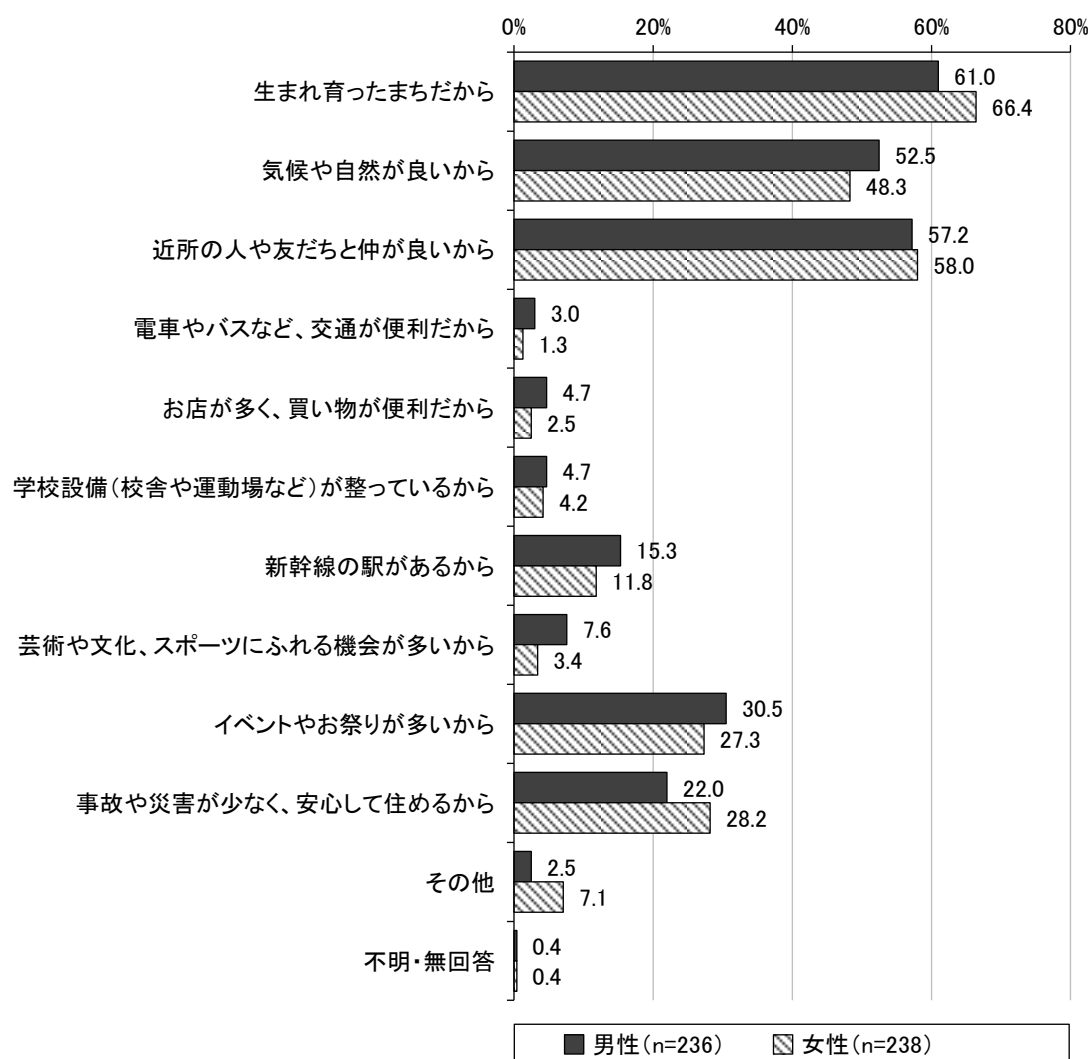
問6-1 あわら市に住み続けたいと思う理由は何ですか。(選択は3つまで)

「生まれ育ったまちだから」が 63.2%と最も高く、次いで「近所の人や友だちと仲が良いから」が 57.4%、「気候や自然が良いから」が 50.2%となっています。



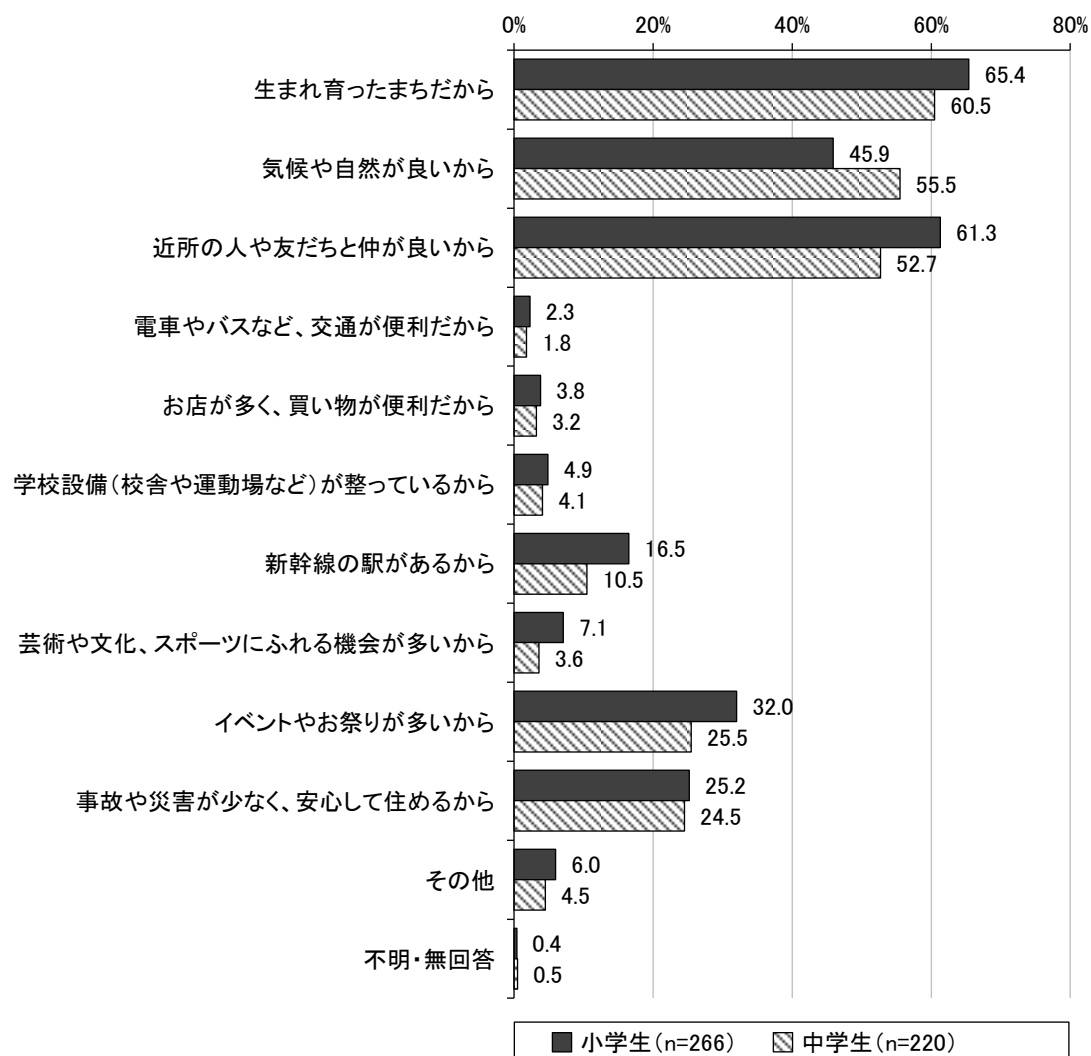
●クロス集計(性別)

性別にみると、男女ともに「生まれ育ったまちだから」が最も高く、次いで「近所の人や友達と仲が良いから」、「気候や自然が良いから」となっています。



●クロス集計(学年別)

学年別にみると、小学生では「生まれ育ったまちだから」が最も高く、次いで「近所の人や友達と仲が良いから」、「気候や自然が良いから」となっています。中学生では「生まれ育ったまちだから」が最も高く、次いで「気候や自然が良いから」、「近所の人や友達と仲が良いから」となっています。

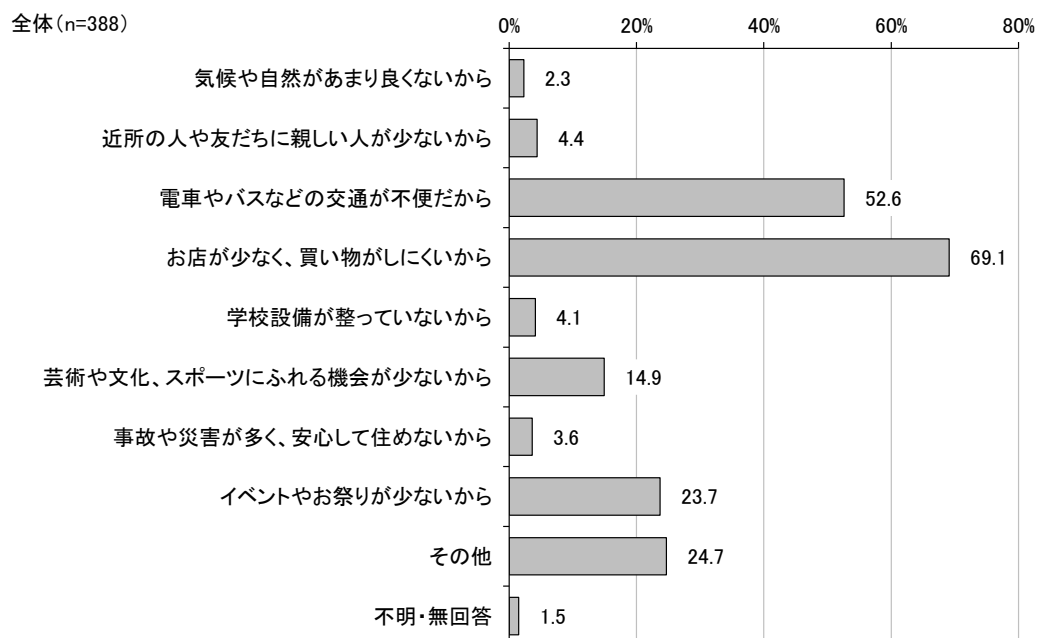


問6で「いいえ」を回答した方

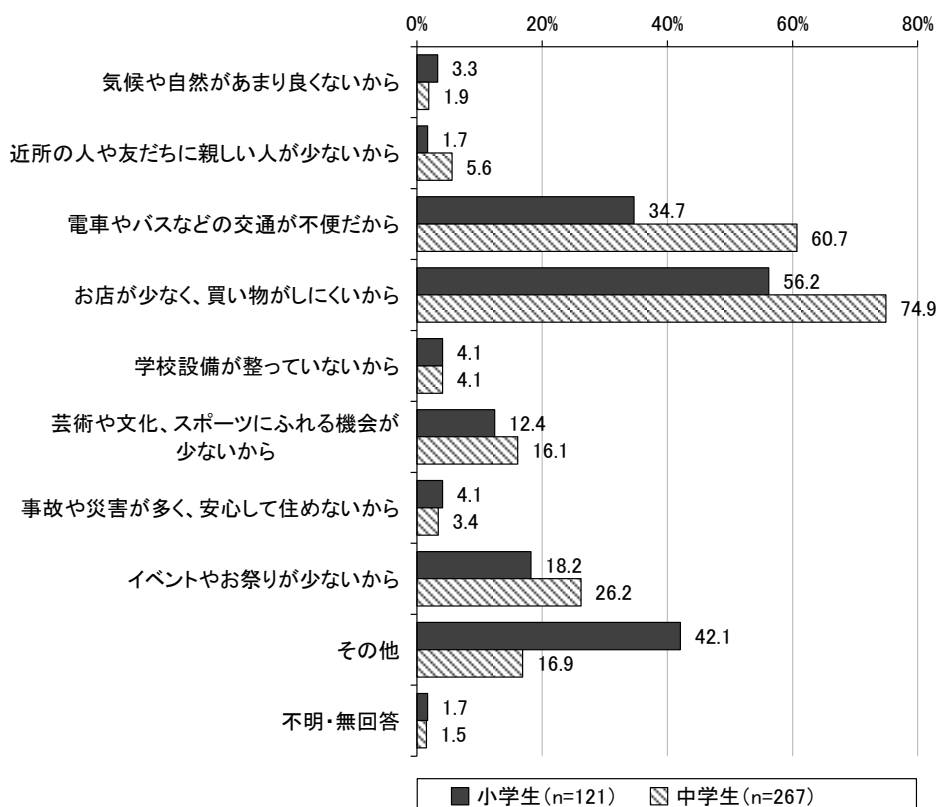
問6-2 あわら市に住み続けたくないと思う理由は何ですか。(選択は3つまで)

「お店が少なく、買い物がしにくいから」が69.1%と最も高く、次いで「電車やバスなどの交通が不便だから」が52.6%、「イベントやお祭りが少ないから」が23.7%となっています。

学年別にみると、小学生、中学生ともに「お店が少なく、買い物がしにくいから」が最も高く、次いで「電車やバスなどの交通が不便だから」、「イベントやお祭りが少ないから」となっています。



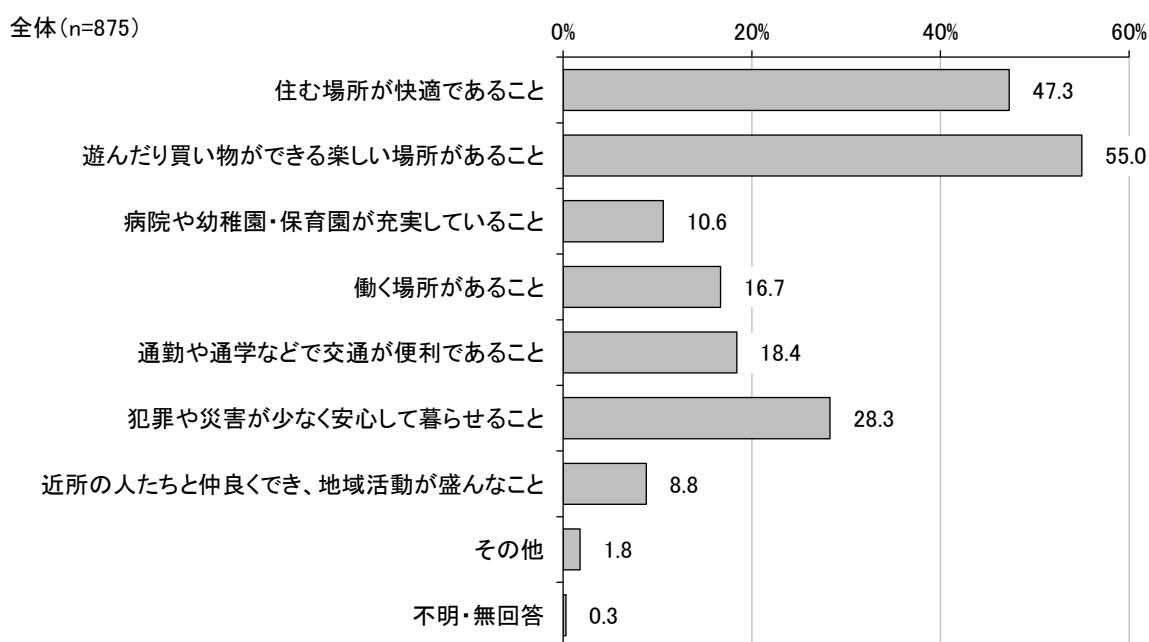
●クロス集計(学年別)



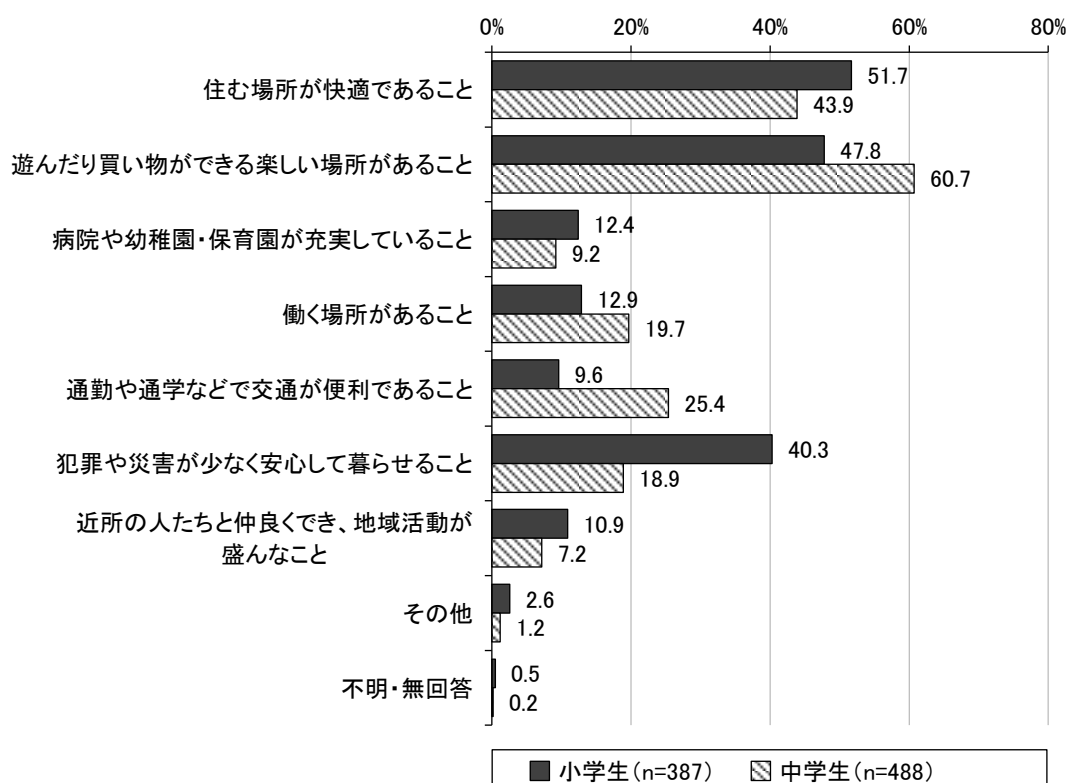
問7 あなたは、あわら市に住み続けるために必要なことは何だと思いますか。(選択は2つまで)

「遊んだり買い物ができる楽しい場所があること」が55.0%と最も高く、次いで「住む場所が快適であること」が47.3%、「犯罪や災害が少なく安心して暮らせること」が28.3%となっています。

学年別にみると、小学生では「住む場所が快適であること」が最も高く、次いで「遊んだり買い物ができる楽しい場所があること」、「犯罪や災害が少なく安心して暮らせること」となっています。中学生では「遊んだり買い物ができる楽しい場所があること」が最も高く、次いで「住む場所が快適であること」、「通勤や通学などで交通が便利であること」となっています。



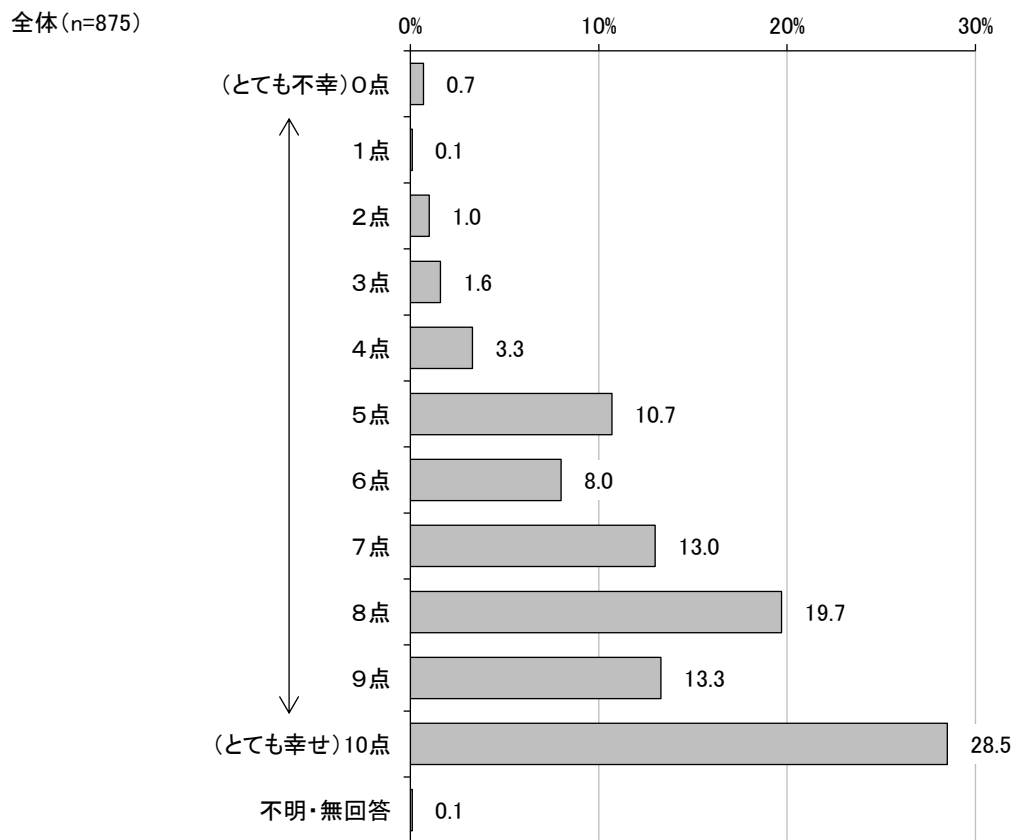
●クロス集計(学年別)



問8 現在、あなたはどれくらい幸せですか。(ひとつだけ選択)

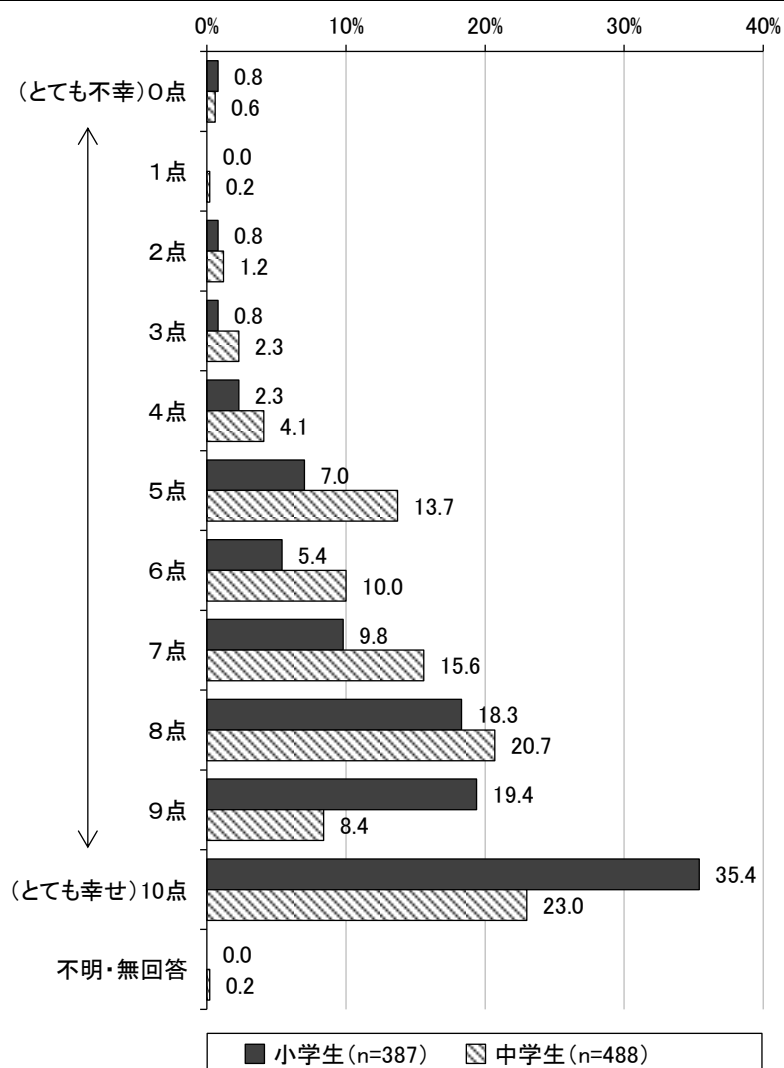
「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、選んでください。

「10点」が28.5%と最も高く、次いで「8点」が19.7%、「9点」が13.3%となっています。



●クロス集計(学年別)

学年別にみると、小学生では「10点」が最も高く、次いで「9点」、「8点」となっています。中学生では「10点」が最も高く、次いで「8点」、「7点」となっています。

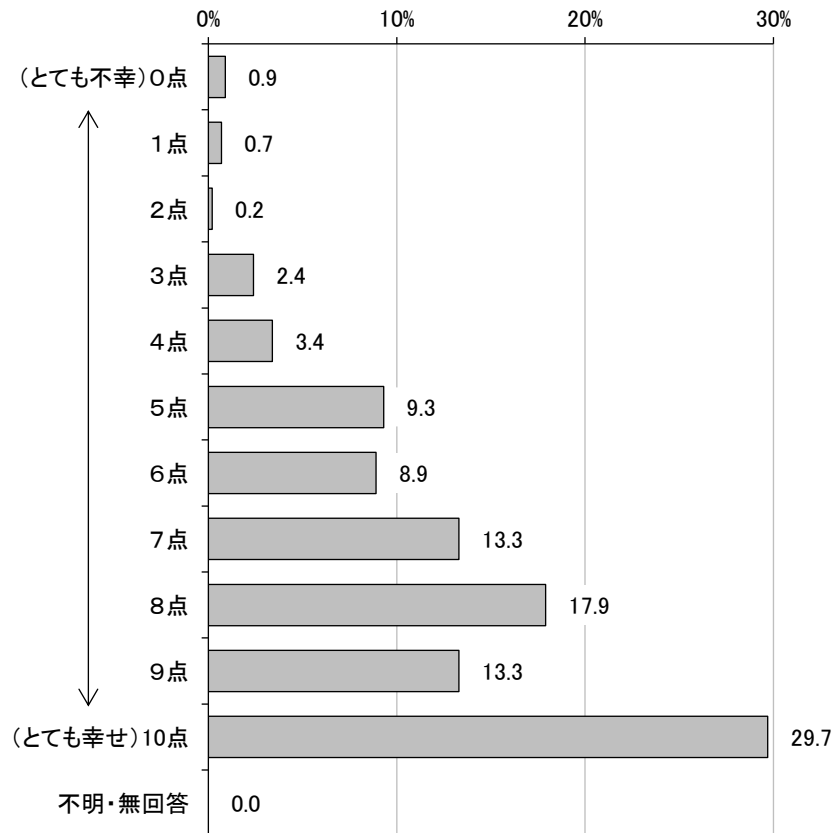


問9 あなたの想像では、5年後どの程度幸せになっていると思いますか。(ひとつだけ選択)

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、選んでください。

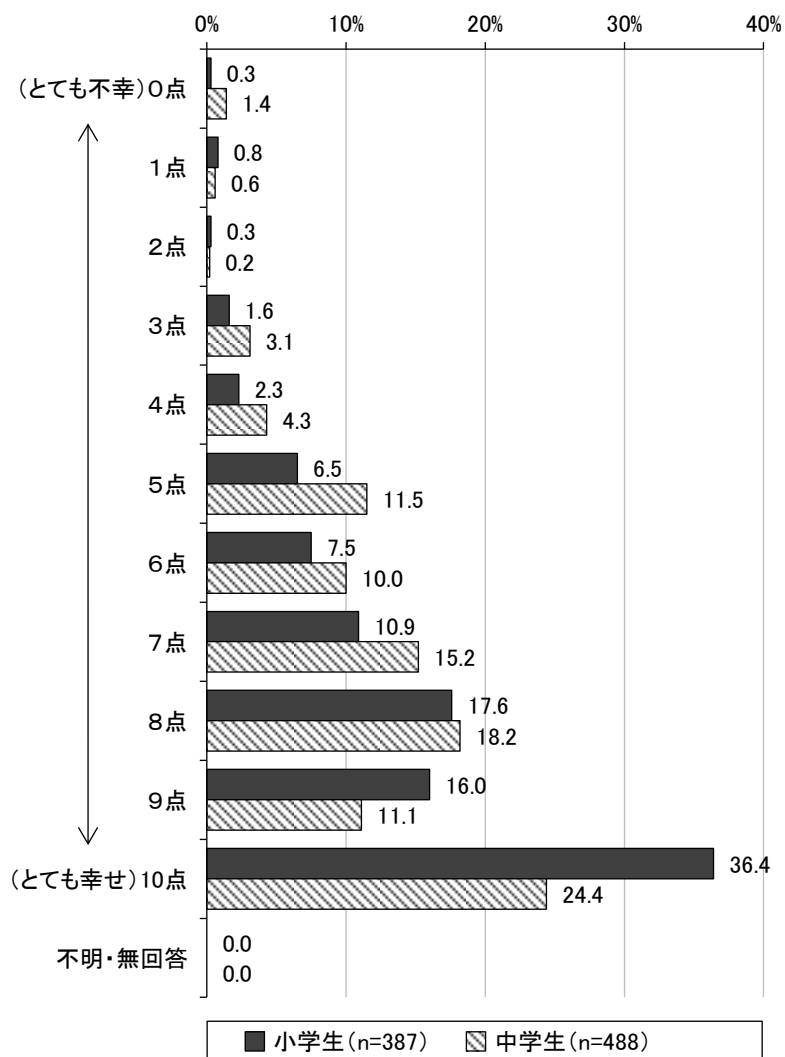
「10点」が29.7%と最も高く、次いで「8点」が17.9%、「9点」「7点」が13.3%となっています。

全体(n=875)



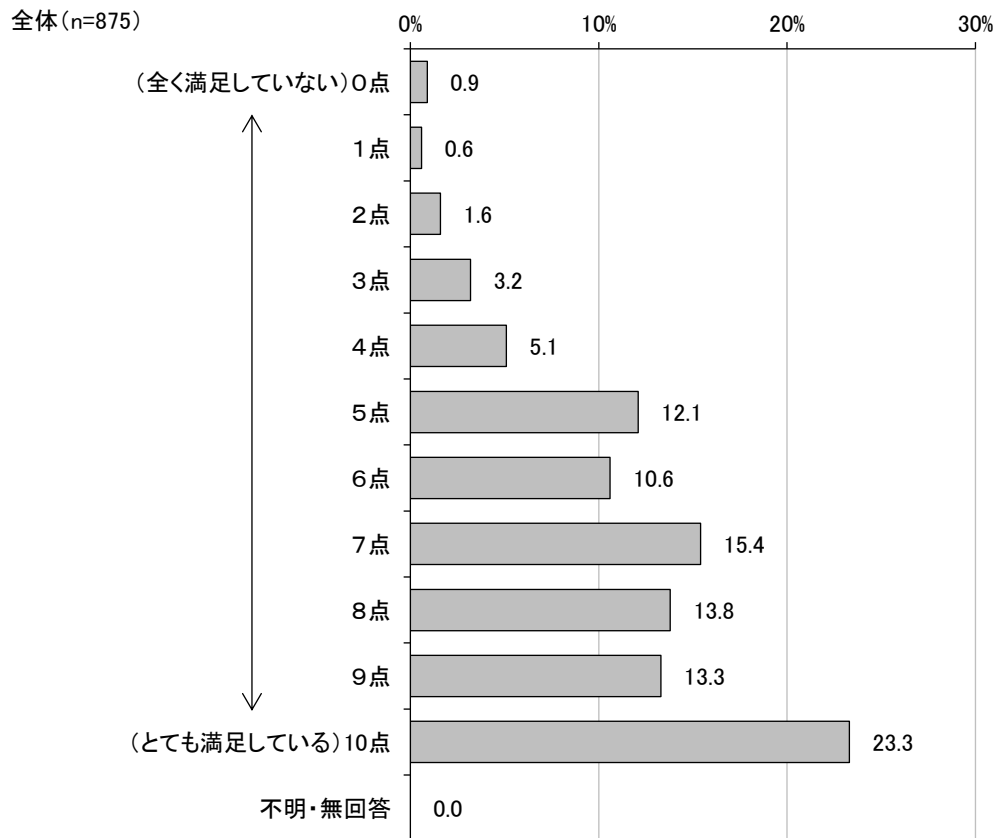
●クロス集計(学年別)

学年別にみると、小学生では「10点」が最も高く、次いで「8点」、「9点」となっています。中学生では「10点」が最も高く、次いで「8点」、「7点」となっています。



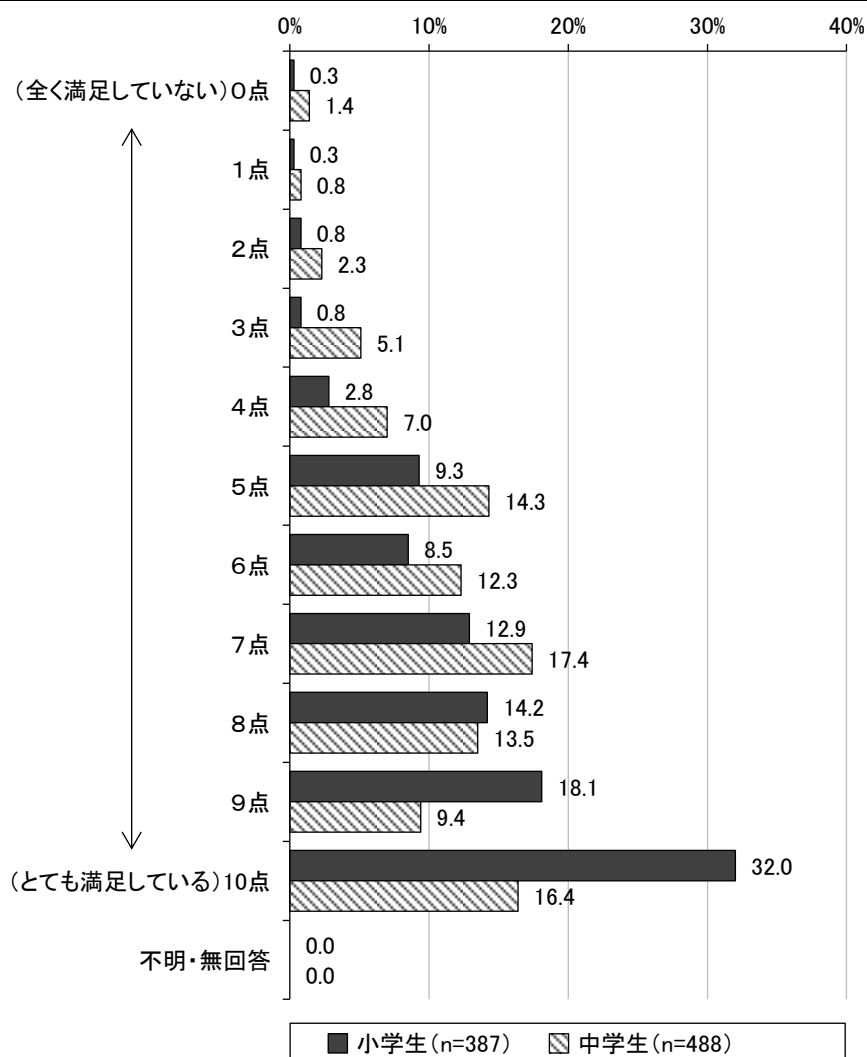
問 10 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどれくらい満足していますか。(ひとつだけ選択)
「全く満足していない」を0点、「とても満足している」を 10 点として、選んでください。

「10 点」が 23.3%と最も高く、次いで「7 点」が 15.4%、「8 点」が 13.8%となっています。



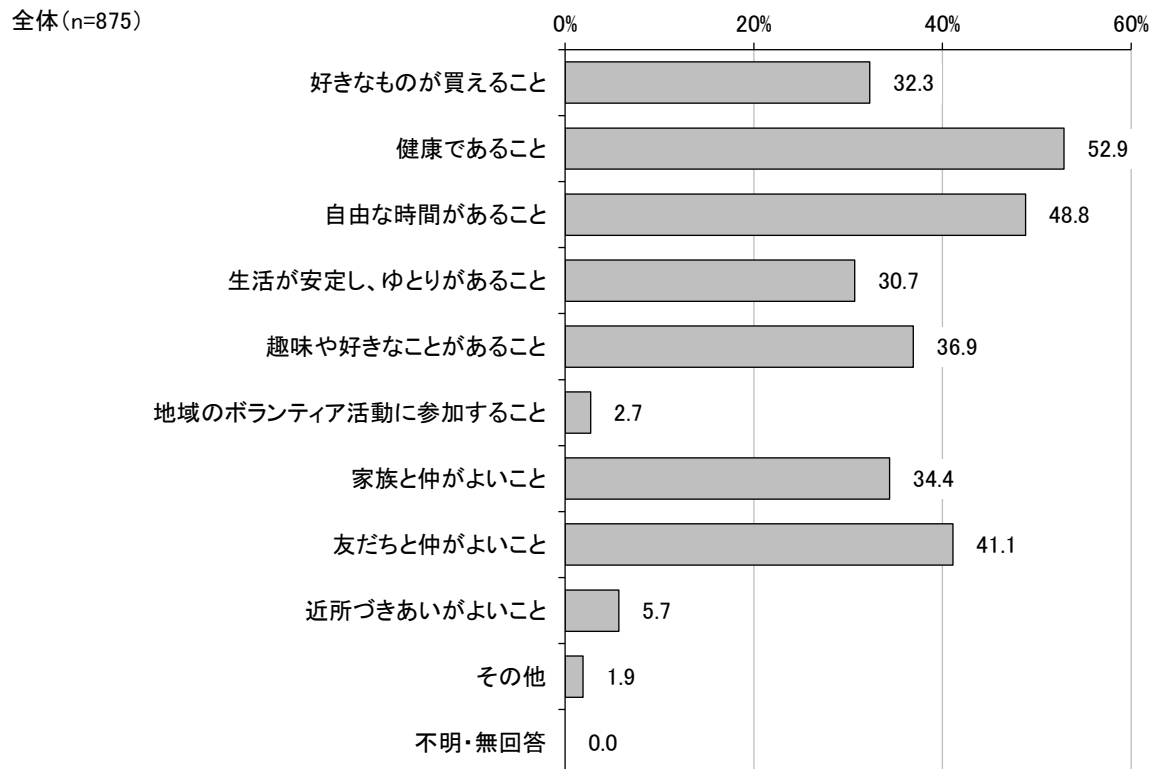
●クロス集計(学年別)

学年別にみると、小学生では「10点」が最も高く、次いで「9点」、「8点」となっています。中学生では「7点」が最も高く、次いで「10点」、「5点」となっています。



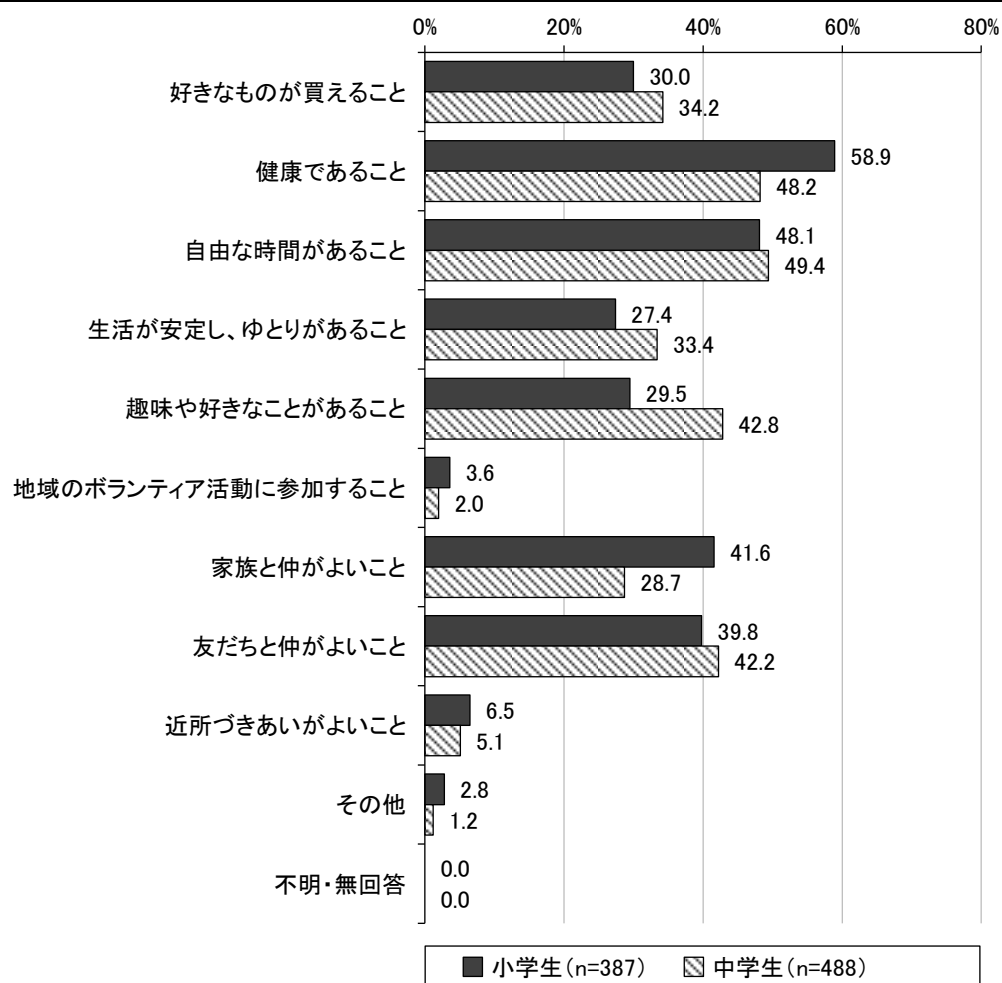
問 11 幸せであるために重要だと思うことは何ですか。(選択は3つまで)

「健康であること」が52.9%と最も高く、次いで「自由な時間があること」が48.8%、「友だちと仲がよいこと」が41.1%となっています。



●クロス集計(学年別)

学年別にみると、小学生では「健康であること」が最も高く、次いで「自由な時間があること」、「家族と仲がよいこと」となっています。中学生では「自由な時間があること」が最も高く、次いで「健康であること」、「趣味や好きなことがあること」となっています。

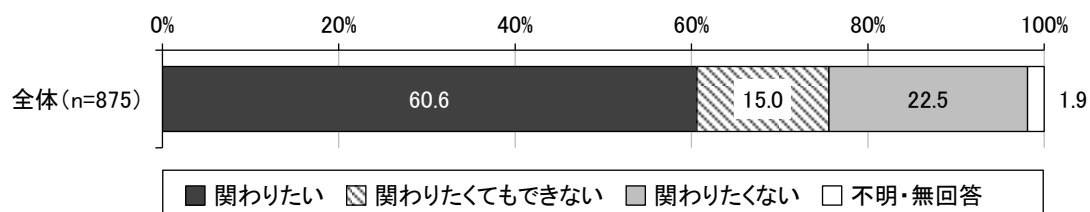


2 あわら市のまちづくりについて

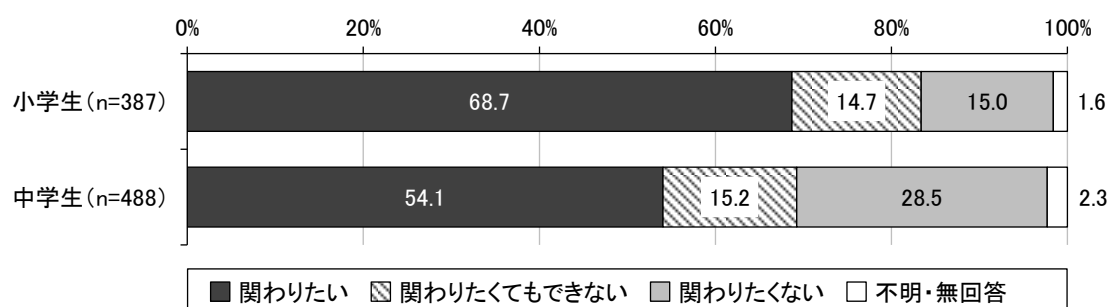
問 12 あなたは学校以外で行う地域の活動や行事に関わりたいと思いますか。(ひとつだけ選択)

「関わりたい」が60.6%と最も高く、次いで「関わりたくない」が22.5%、「関わりたくてもできない」が15.0%となっています。

学年別にみると、小学生、中学生ともに「関わりたい」が最も高く、次いで「関わりたくない」、「関わりたくてもできない」となっています。



●クロス集計(学年別)

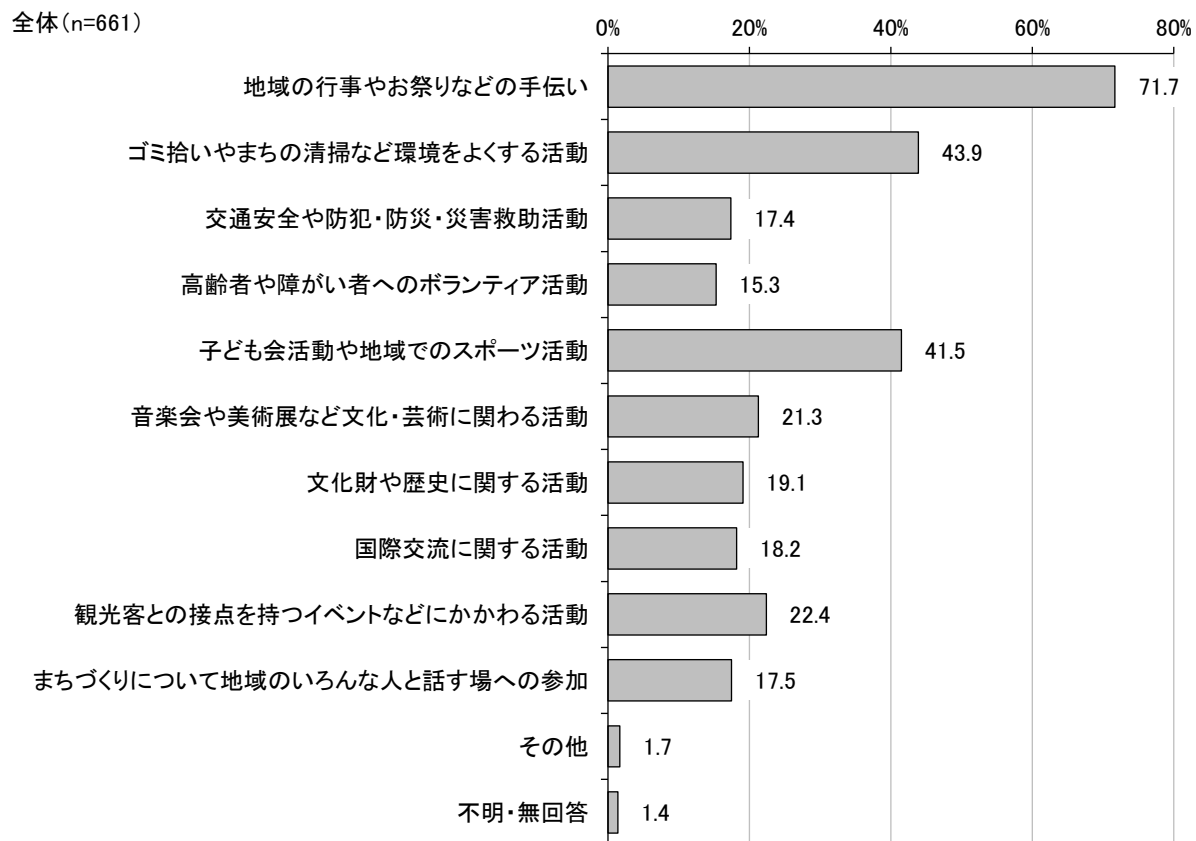


問 12 で「関わりたい」または「関わりたいくてもできない」を回答した方

問 12-1 あなたがまちづくりに関われるとしたら、どのような機会に参加したいですか。

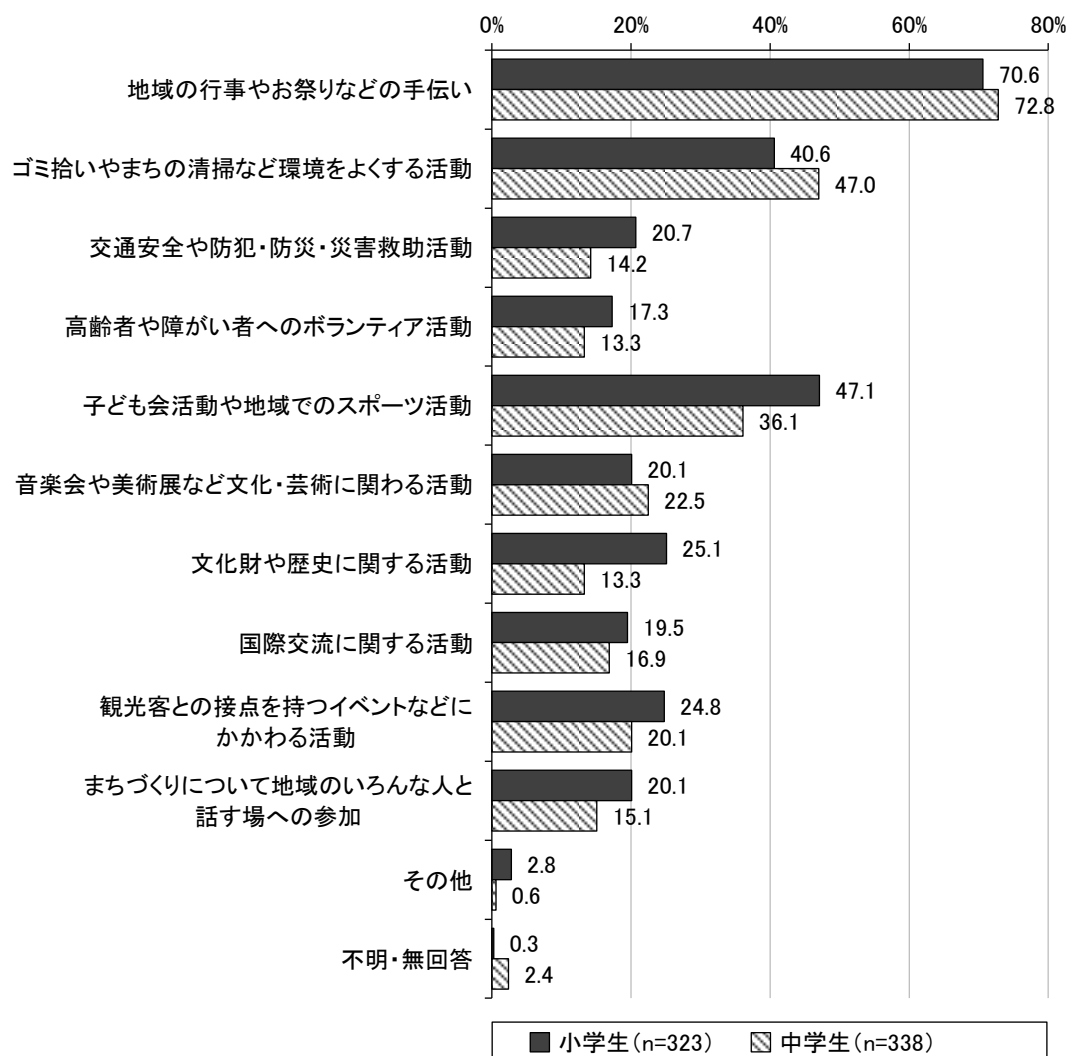
(あてはまるものすべてを選択)

「地域の行事やお祭りなどの手伝い」が71.7%と最も高く、次いで「ゴミ拾いやまちの清掃など環境をよくする活動」が43.9%、「子ども会活動や地域でのスポーツ活動」が41.5%となっています。



●クロス集計(学年別)

学年別にみると、小学生では「地域の行事やお祭りなどの手伝い」が最も高く、次いで「子ども会活動や地域でのスポーツ活動」、「ゴミ拾いやまちの清掃など環境をよくする活動」となっています。中学生では「地域の行事やお祭りなどの手伝い」が最も高く、次いで「ゴミ拾いやまちの清掃など環境をよくする活動」、「子ども会活動や地域でのスポーツ活動」となっています。

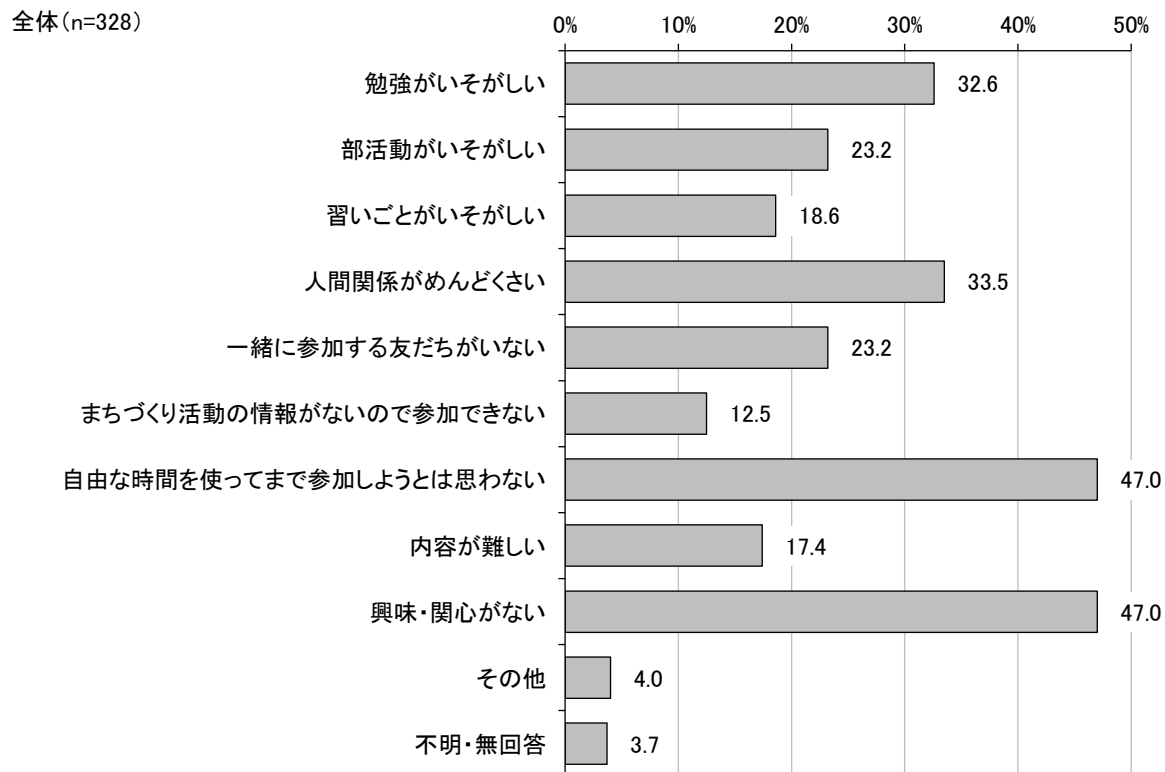


問 12 で「関わりたくてもできない」または「関わりたくない」を回答した方

問 12-2 あなたが関わりたくてもできない、関わりたくない理由は何ですか。

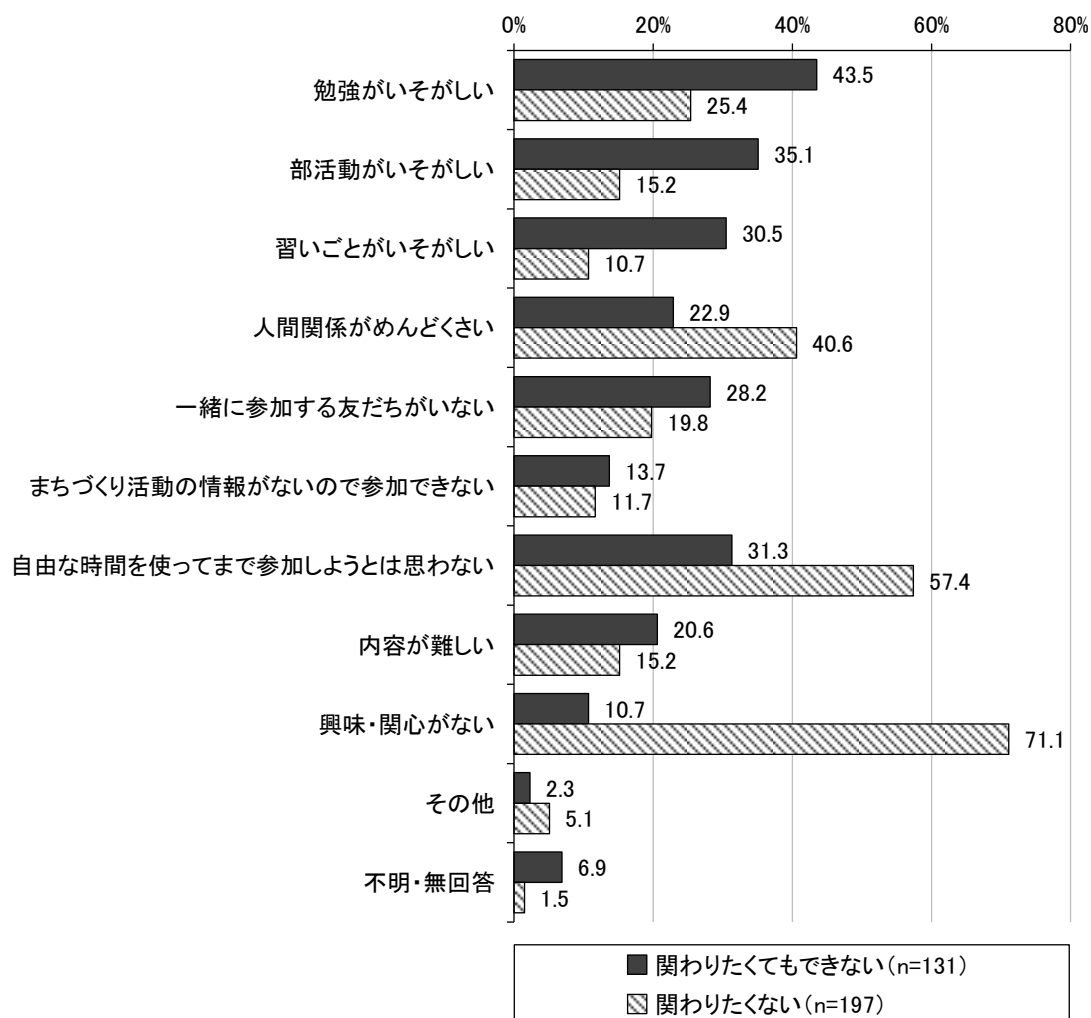
(あてはまるものすべてを選択)

「自由な時間を使ってまで参加しようとは思わない」「興味・関心がない」が 47.0%と最も高く、次いで「人間関係がめんどくさい」が 33.5%となっています。



●クロス集計(地域活動の参加意向別)

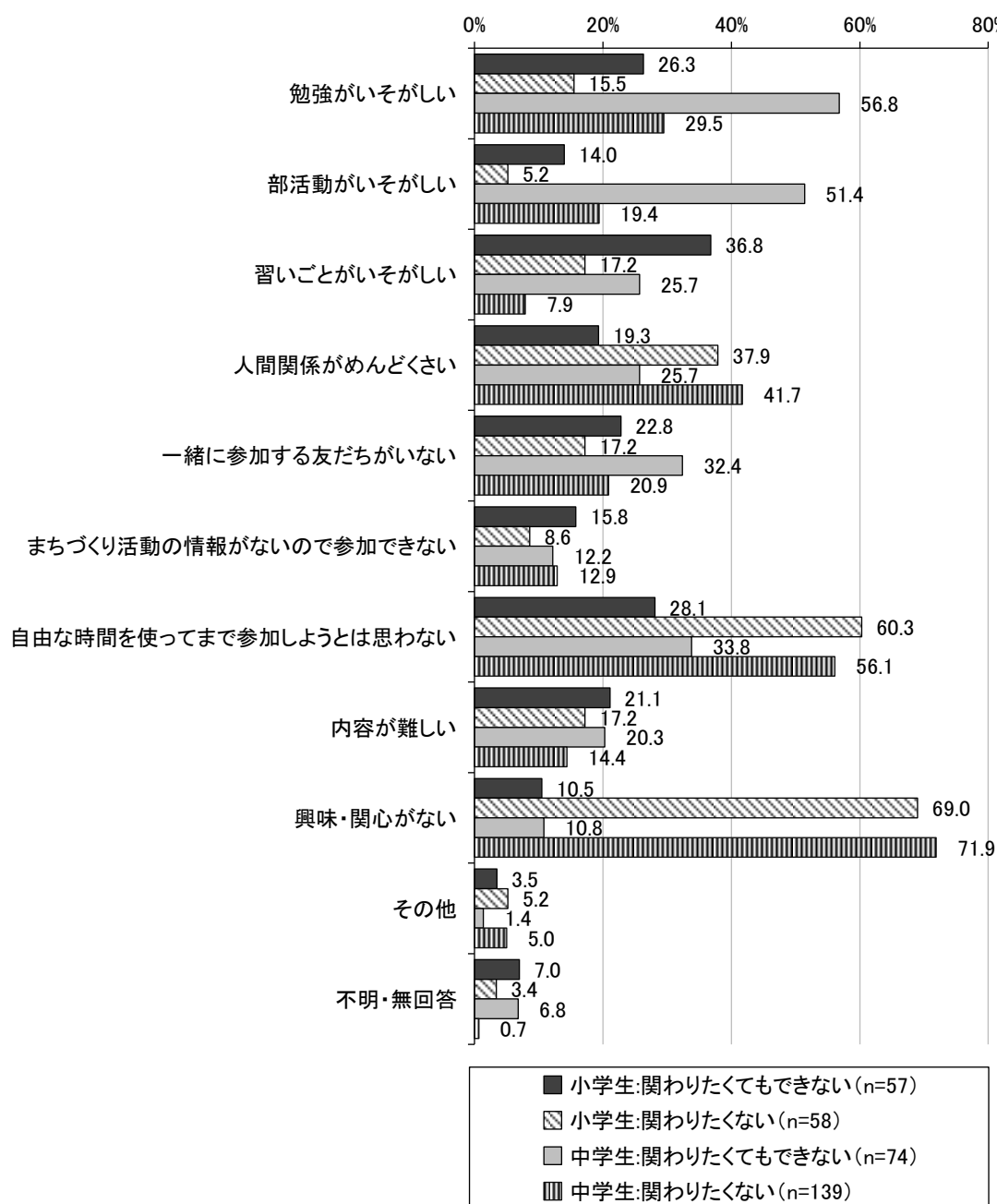
地域活動の参加意向別にみると、[関わりたくてもできない]では「勉強がいそがしい」が最も高く、次いで「部活動がいそがしい」、「習いごとがいそがしい」となっています。[関わりたくない]では「興味・関心がない」が最も高く、次いで「自由な時間を使ってまで参加しようとは思わない」、「人間関係がめんどくさい」となっています。



※限定設問であり、[関わりたい]は(n=0)のため省略。

●クロス集計(学年別×地域活動の参加意向別)

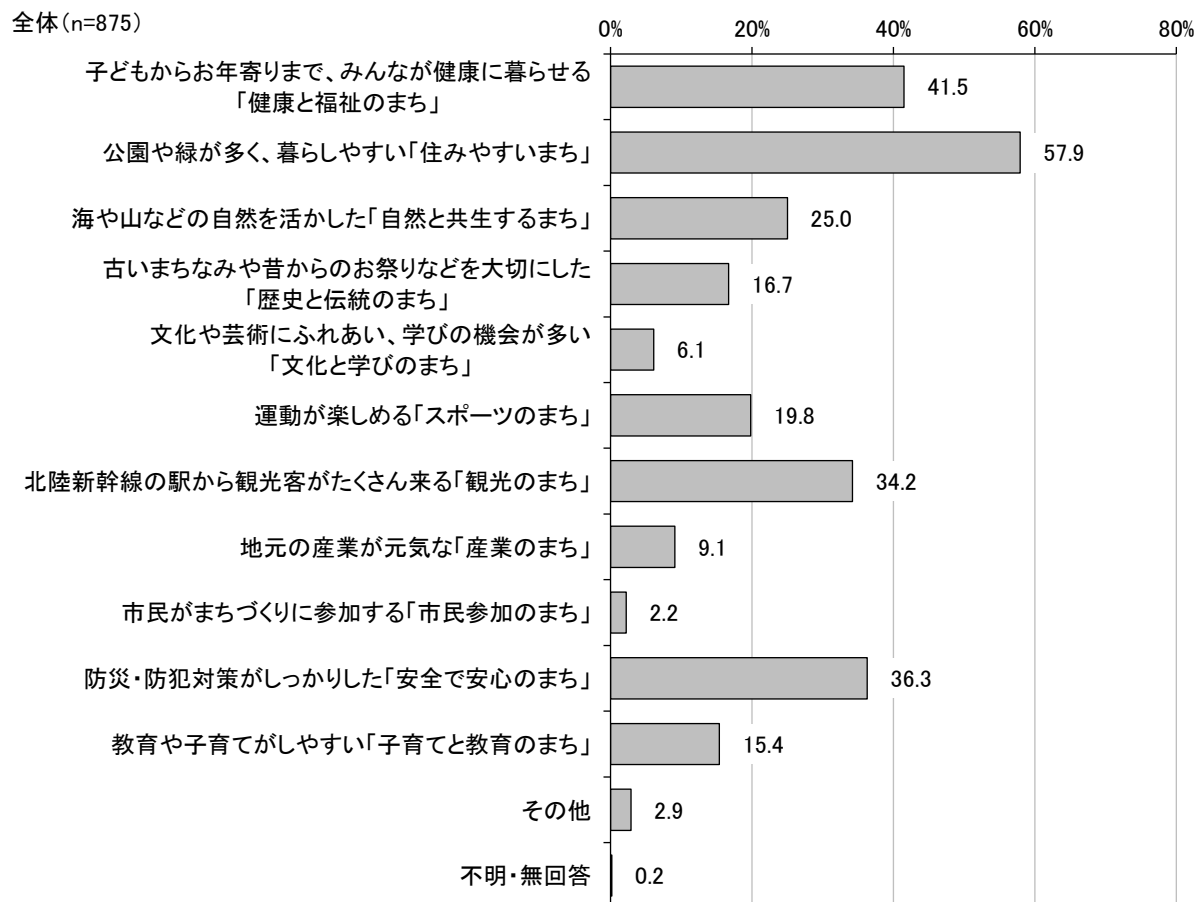
学年別で、地域活動の参加意向別にみると、小学生においては、[関わりたくてもできない]では「習いごとがいそがしい」が最も高く、次いで「自由な時間を使ってまで参加しようとは思わない」、「勉強がいそがしい」となっています。[関わりたくない]では「興味・関心がない」が最も高く、次いで「自由な時間を使ってまで参加しようとは思わない」、「人間関係がめんどくさい」となっています。中学生においては、[関わりたくてもできない]では「勉強がいそがしい」が最も高く、次いで「部活動がいそがしい」、「自由な時間を使ってまで参加しようとは思わない」となっています。[関わりたくない]では「興味・関心がない」が最も高く、次いで「自由な時間を使ってまで参加しようとは思わない」、「人間関係がめんどくさい」となっています。



※限定設問であり、[小学生：関わりたい][中学生：関わりたい]は(n=0)のため省略。

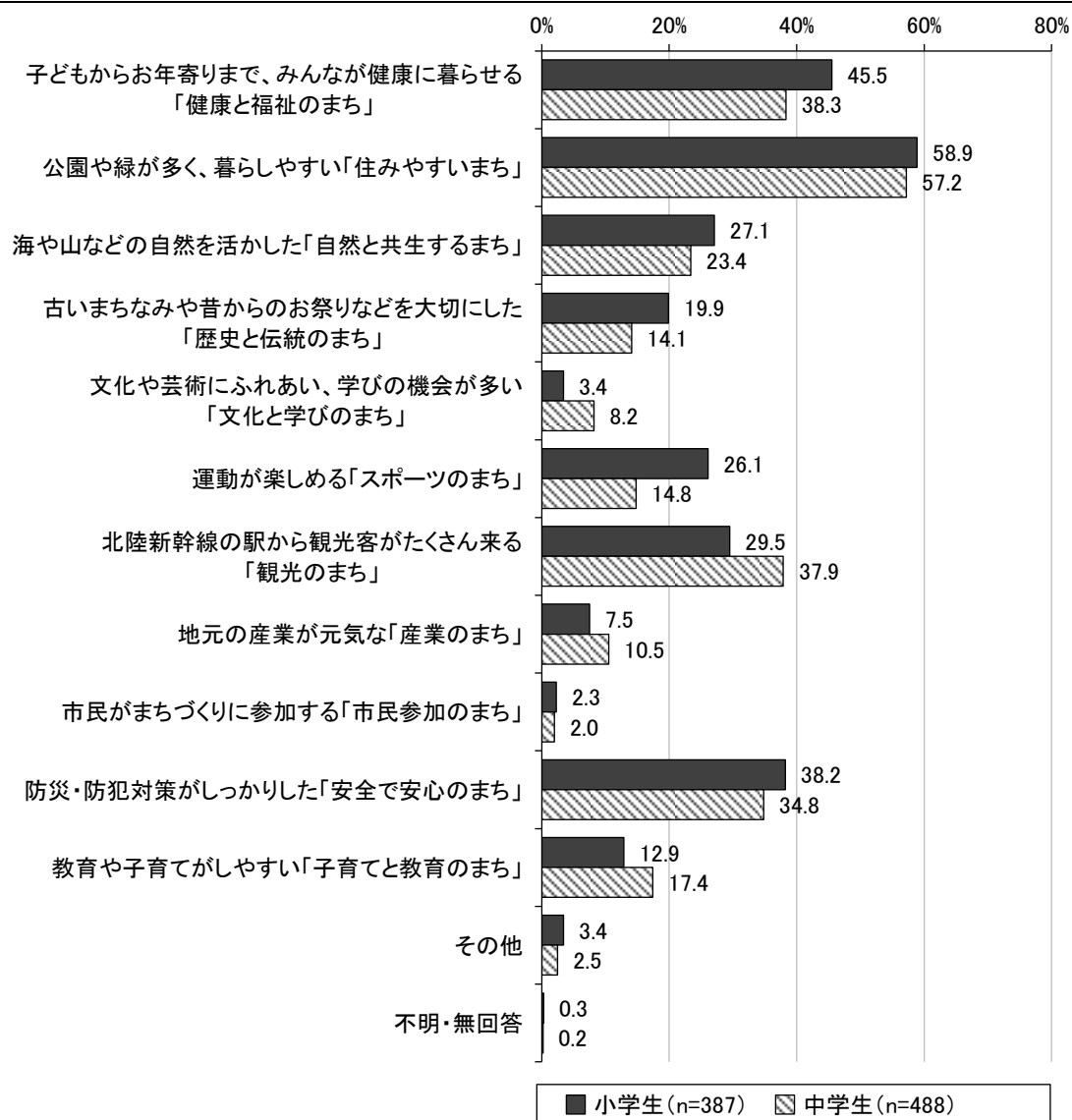
問13 あなたは、これからのあわら市はどのようなまちになってほしいですか。(選択は3つまで)

「公園や緑が多く、暮らしやすい『住みやすいまち』」が57.9%と最も高く、次いで「子どもからお年寄りまで、みんなが健康に暮らせる『健康と福祉のまち』」が41.5%、「防災・防犯対策がしっかりした『安全で安心のまち』」が36.3%となっています。



●クロス集計(学年別)

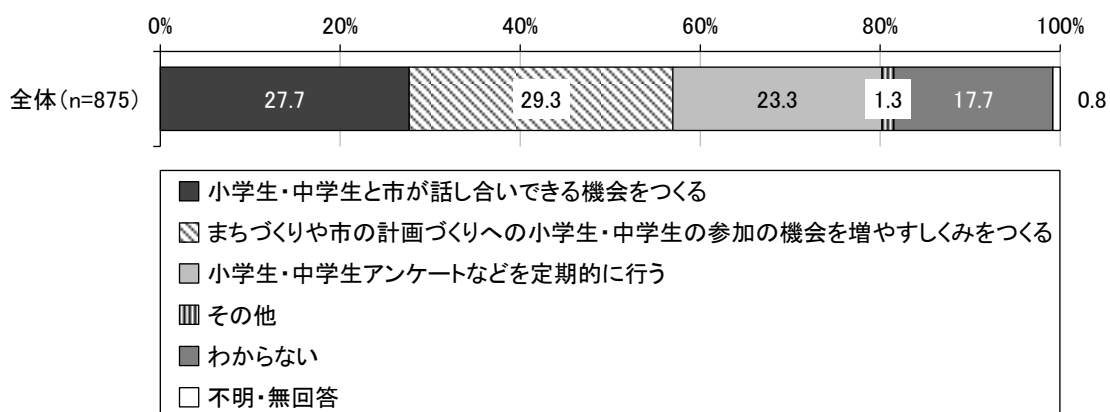
学年別にみると、小学生では「公園や緑が多く、暮らしやすい『住みやすいまち』」が最も高く、次いで「子どもからお年寄りまで、みんなが健康に暮らせる『健康と福祉のまち』」、「防災・防犯対策がしっかりした『安全で安心のまち』」となっています。中学生では「公園や緑が多く、暮らしやすい『住みやすいまち』」が最も高く、次いで「子どもからお年寄りまで、みんなが健康に暮らせる『健康と福祉のまち』」、「北陸新幹線の駅から観光客がたくさん来る『観光のまち』」となっています。



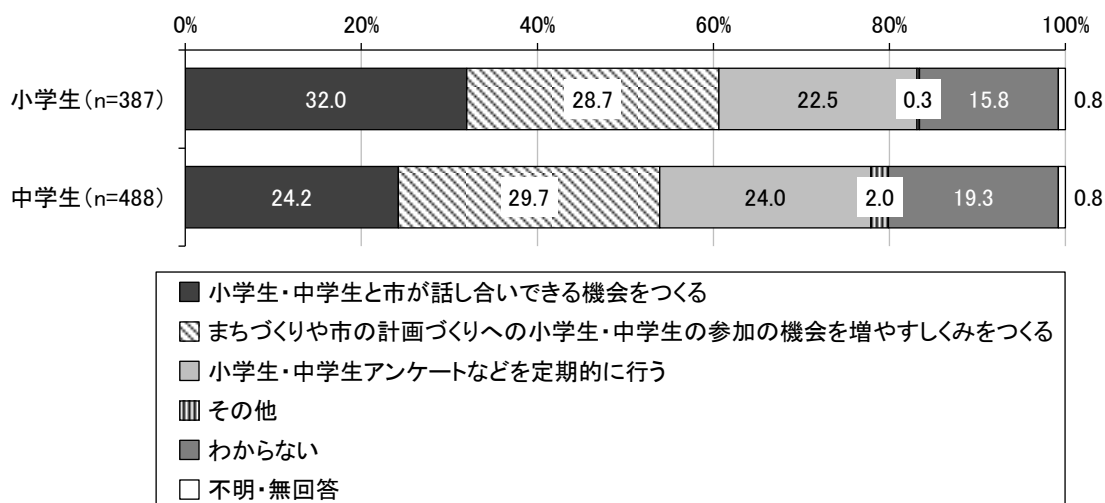
問 14 あなたは、みなさんの意見をあわら市のまちづくりに活かす方法として、どれが有効だと思いますか。(ひとつだけ選択)

「まちづくりや市の計画づくりへの小学生・中学生の参加の機会を増やすしくみをつくる」が29.3%と最も高く、次いで「小学生・中学生と市が話し合いできる機会をつくる」が27.7%、「小学生・中学生アンケートなどを定期的に行う」が23.3%となっています。

学年別にみると、小学生では「小学生・中学生と市が話し合いできる機会をつくる」が最も高く、次いで「まちづくりや市の計画づくりへの小学生・中学生の参加の機会を増やすしくみをつくる」、「小学生・中学生アンケートなどを定期的に行う」となっています。中学生では「まちづくりや市の計画づくりへの小学生・中学生の参加の機会を増やすしくみをつくる」が最も高く、次いで「小学生・中学生と市が話し合いできる機会をつくる」、「小学生・中学生アンケートなどを定期的に行う」となっています。



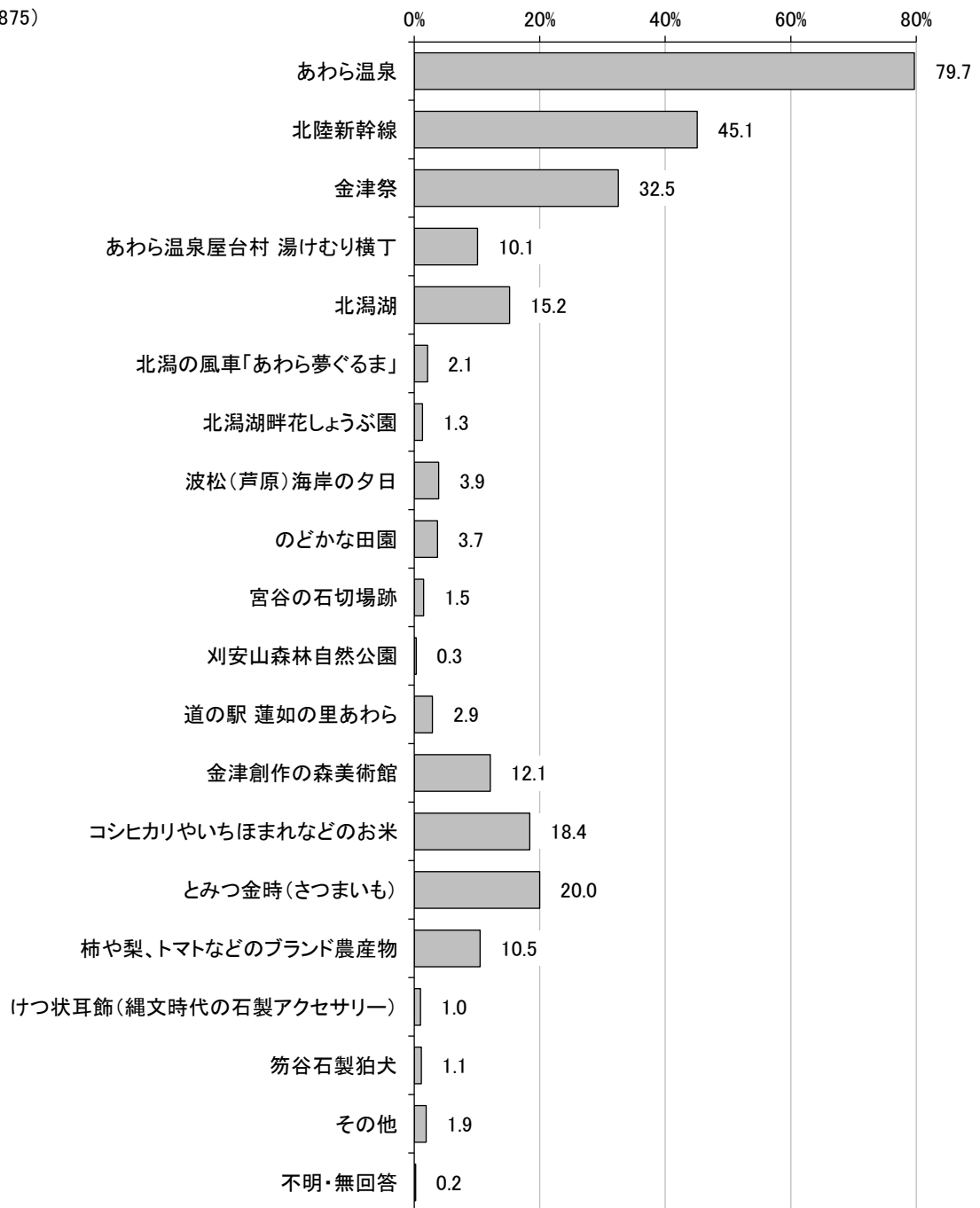
●クロス集計(学年別)



問 15 あなたは、あわら市のことをあまり知らない人に紹介するとき、どのようなことを話題にしますか。あるいは、あわら市を代表するものは何だと思いますか。(選択は3つまで)

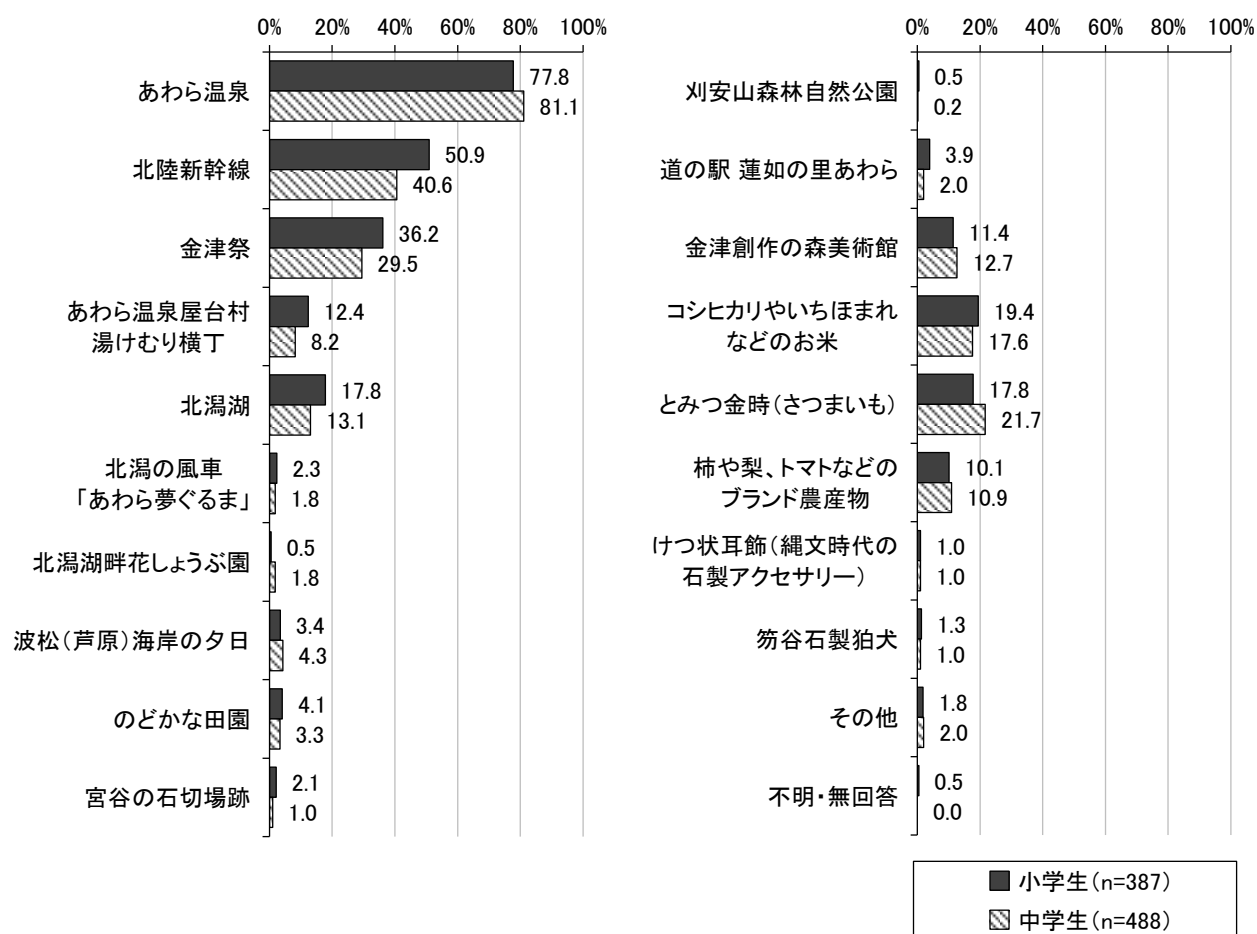
「あわら温泉」が79.7%と最も高く、次いで「北陸新幹線」が45.1%、「金津祭」が32.5%となっています。

全体(n=875)



●クロス集計(学年別)

学年別にみると、小学生、中学生ともに「あわら温泉」が最も高く、次いで「北陸新幹線」、「金津祭」となっています。



第3次あわら市総合計画策定のための
アンケート調査
結果報告書

発行：あわら市役所 創造戦略部 政策広報課
TEL:0776-73-8034
FAX:0776-73-8034

発行年月：令和7年4月